

# 岩手県教育年報

平成21年度版

岩手県教育委員会



## 序

本県教育委員会は、教育委員会制度発足以来、毎年、教育年報を  
発刊し、本県教育の動向を把握して参りました。

この教育年報は、学校教育の充実、生涯学習の振興、スポーツ・  
文化の振興等の重点施策をはじめ、教育施策の概要、実績等を幅広  
く収録しております。

この年報が、教育に直接携わる方々はもとより、関係各位に広く  
御活用いただければ幸いです。

平成23年 3 月

岩手県教育委員会

教育長 法 貴 敬

## 平成21年度版 岩手県教育年報について

岩手県教育委員会では、「いわて県民計画」（平成21年12月策定：計画期間 平成21年度～平成30年度）に掲げる教育政策のうち、教育委員会が所管する分野の今後10年間の基本方向について、より理解を深めるためのガイドラインとして、平成22年3月に「岩手の教育振興」を策定しました。

平成21年度版岩手県教育年報は、この「岩手の教育振興」の施策の体系を基礎として作成しています。

# 目 次

## 第 1 章 教育行財政

### 第 1 節 教育行政

第 1	平成21年度 岩手県教育委員会経営計画	1
第 2	岩手県教育委員会	8
第 3	表彰及び栄典	9

### 第 2 節 教育財政

[附]	市町村教育委員会	16
-----	----------	----

## 第 2 章 教育施策の推進状況

### 第 1 節 社会の変化に対応する教育の推進

第 1	目標達成型の学校教育の推進	19
第 2	社会人として自立できる能力の育成	21
第 3	児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進	29
第 4	教員の適正配置	30
第 5	教員研修の充実	31
第 6	教員研究等の充実	33

### 第 2 節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

第 1	学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成	35
第 2	学習面における基礎・基本の定着	35
第 3	学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進	37

### 第 3 節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第 1	道徳教育、体験活動・読書活動の推進	39
第 2	生活面における基礎・基本の定着	41
第 3	問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実	42

### 第 4 節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第 1	体力向上や運動に親しむ態度の育成	46
第 2	健康教育の充実	47
第 3	指導者の資質向上・授業力向上	50

### 第 5 節 「共に学び、共に育つ」教育の推進

第 1	「就学指導」から「就学支援」へ	53
第 2	幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実	53
第 3	特別支援教育の理解促進	54
第 4	特別支援学校生徒の就労支援の充実	55

### 第 6 節 学校教育を支える教育環境の充実

第 1	県立高校の望ましい教育環境の整備	56
第 2	学校施設の耐震化の推進	61
第 3	修学資金の支援等	62
第 4	教育環境の整備	66

<b>第7節</b>	<b>教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進</b>	
第1	学校・地域・家庭が連携するための仕組みづくり	76
第2	多様な体験学習の充実（学習機会の確保）	81
第3	地域の教育課題の解決・家庭教育の充実	84
<b>第8節</b>	<b>広がりと深まりのある生涯学習の振興</b>	
第1	多様な学習活動を支援する環境の整備充実	87
第2	生涯にわたる学習機会の充実	89
	（1 県立生涯学習推進センター）	97
	（2 県立図書館）	100
	（3 県立青少年の家）	104
	（4 市町村の社会教育施設：公民館）	108
	（5 県立博物館）	109
[参考]	博物館等設置状況	114
<b>第9節</b>	<b>地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興</b>	
第1	文化振興基金を活用した支援等	115
第2	中学生・高校生に対する文化活動支援	124
第3	文化芸術による地域振興体制づくりへの支援	127
<b>第10節</b>	<b>郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産と伝統文化の振興</b>	
第1	世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用	129
第2	伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	131
<b>第11節</b>	<b>生涯スポーツの振興</b>	
第1	運動・スポーツに親しむ人々の広がり	135
第2	運動・スポーツに親しめる場の広がり	136
第3	ネットワークの広がり	142
<b>第12節</b>	<b>競技スポーツの強化</b>	
第1	中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成	143
第2	競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援	144
第3	広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援	145
第4	スポーツ医・科学サポート体制の充実	145
[附]	私立学校	146
[参考]	管理部門	148
[参考]	各県営施設で開催された主な競技会・イベント等	150

## 第3章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

第1	短期給付事業	151
第2	長期給付事業	151
第3	福利厚生事業	152
第4	貸付事業	153
第5	宿泊施設	153

## 第2節教職員互助会

第1	短期給付事業	154
第2	長期給付事業	154
第3	厚生福利事業	154
第4	特別弔慰積立事業	156
第5	貸付事業	156

### [参考資料]

1	県教育委員会機構図	157
2	県教育委員会が所管する附属機関の委員	158
3	県教育委員会会議録抄	160
4	県教育委員会関係主要行事	162
5	県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託	164
6	県教育関係諸団体	166



## 第1章 教育行財政

### 第1節 教育行政

#### 第1 平成21年度 岩手県教育委員会経営計画

子どもたちが、本県の未来を切り拓き、変容する社会の中を生き抜く力を身に付けるうえで、教育の果たす役割は極めて大きいものがあります。また、県民の教育に対する関心、期待はますます多様化、高度化しています。教育委員会では、この役割や期待に応えるため、「知・徳・体」を兼ね備えた社会に適応する総合的な「人間形成」という教育目的の実現に向けて、いわて希望創造プランをベースに、学校教育の施策の重点化を図るとともに、時代の変化に的確に対応しながら、社会教育、生涯学習、スポーツの振興、文化・芸術の振興を推進します。

また、平成21年度は新しい長期計画策定の年でもあり、概ね10年後を見据えた長期的展望に立ち、諸施策の構築を推進します。

#### 1 学校教育の充実

〔重点事項〕 学校経営改革の推進 学力・授業力向上対策の強化  
中1での少人数学級の試行 キャリア教育の推進

学校教育の根幹である学習面の基礎・基本を確実に定着させるとともに基本的な生活習慣や規範意識の確立を通して社会人になるということの意義を教えることは不易であり、最も大切なことです。

また、同時に、子ども一人一人の個性や特性等にきめ細かに対応し、小学校、中学校、高等学校の各段階を一体のものにとらえてその伸長を図ることが求められます。

##### (1) 今後の学校教育の方向性のとりまとめ

平成21年度に策定される新しい長期計画の目指す将来像を踏まえ、教育行政に関する基本的な方向性をとりまとめ、義務教育、高校教育等の各プランの連携、整合を図りながら、一体的な推進を図ります。

この際、新学習指導要領の実施に向けた学校支援を進め、また、小中高連携の強化のため、義務教育段階での9年間を見通したカリキュラムの検討や、子どもたち一人一人の進路の実現に向けた取組としてのキャリア教育の充実など小学校・中学校・高等学校の各段階での連携方策の具体化について検討を進めます。

- 新しい長期計画、アクションプランの策定
- これからの岩手の義務教育の推進
- 今後の県立高校の在り方（仮称）の策定と次期再編整備計画立案に向けた検討
- いわて特別支援教育推進プラン（仮称）の策定
- いわてのキャリア教育の在り方（仮称）の策定

## (2) 学校経営改革の推進

### ア 家庭・地域と連携・協働した学校づくり

家庭や地域社会がそれぞれの教育的機能を発揮し、学校と一体となって子どもたちの教育に当たるよう、家庭や地域社会の教育力向上のための支援を充実します。

「学校経営計画」「まなびフェスト」等の推進に当たっては、全体的な質の向上を図り、すべての学校で、家庭・地域との協働、PDCAサイクルの確立等の具体的な行動を促し、それぞれに特色ある目標達成型の学校経営を実現します。

なお、義務教育においては、これまでのいわて型コミュニティ・スクール構想の取組を踏まえ、一層の質の向上を促すため研修の充実を図り、さらには、教育振興運動との連携や学校支援地域本部の活用促進、積極的な情報提供を図ります。

### イ 学校経営の裁量拡大等

各学校が、地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう学校経営の裁量拡大に向けた見直しを進めます。併せて、多忙化解消の観点から教職員が仕事をしやすい環境整備、仕組みづくりに取り組めます。

## (3) 学力・授業力向上対策の強化

子どもたちがもつ可能性を十分に引き出し、自分の将来を自ら切り拓いていけるよう、少人数教育の一層の推進などにより、子どもたちに学習面の基礎・基本の確実な定着を図るとともに、教員研修の充実により授業力の向上を図ります。

### ア 学力向上対策

数学（算数）、英語の学力向上のため小学校・中学校・高等学校が連携して教員の指導力向上につながる研修の充実に取り組めます。

学習定着度調査等の分析結果を踏まえた課題を解決するため、小中高の指導内容の系統性を踏まえた指導方法の工夫と授業改善を行います。

さらに、家庭学習の習慣化が重要であることから、取組の在り方や課題の与え方、取り組んだ内容の生かし方などの検討を進め、学校における推進を強化するとともに、教育振興運動と連携して子どもたちの基本的な生活習慣の定着と家庭学習の啓発を進めます。

### イ 少人数学級の試行

現在、小学校第1・2学年において35人学級を実施していますが、新たに中学校第1学年にも試行として導入し、学級担任や教科担任ができる限り生徒一人一人に目の届く環境を整え、基礎学力の向上を図ります。

### ウ 教員研修体系の見直し

平成21年度からの教員免許更新制の導入を機に、社会の変化をとらえた本県の教育課題の解決能力を高め、授業力、指導力、マネジメント力の育成に資するカリキュラムを構築します。また、教員の負担の軽減を図りながらも効率的、効果的で有用感の高い研修としていきます。

エ 授業力向上研修（仮称）の円滑な実施

教育目標の実現のため、教科、領域における授業力、指導力の育成に資する研修を実施します。

(4) キャリア教育の推進

ア 進路実現の支援

子どもたちが身に付けた能力や態度を自己の生き方や将来の選択に生かしていけるよう、勤労観、職業観の理解促進につながるキャリア教育の充実を図り、自己の希望が満たされるような進路実現を支援するための取組を進めます。

イ 「いわてのキャリア教育の在り方（仮称）」の策定

現行のキャリア教育の一層の充実に取り組みながら、これからのいわてのキャリア教育の在り方を策定するとともに、地域ぐるみで推進できる体制整備をさらに進めます。

(5) 生徒指導の充実

ア 学級経営、学級集団づくりの充実

教職員の学級経営、HR運営の資質向上を図り、児童生徒理解を進め、好ましい人間関係や規範意識の醸成に努めます。

イ 中1ギャップの解消

中学校第1学年での少人数学級の試行を踏まえ、生徒個々に対するきめ細かな指導体制を整備し、小学校と中学校の連携のもと、中学校に入学後の学校不適應の問題の解消に努めます。

ウ 情報モラル教育の推進

情報機器利用における危険性や問題点を理解させる情報モラルに関する指導の充実と保護者への啓発活動を推進して、携帯電話等による問題行動の防止を図ります。

エ 問題行動等への対応

暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校などの学校不適應の状況を適切に把握し、教職員が一体となって生徒指導に当たる学校体制の整備に努め、また、スクールカウンセラーや相談員を活用し、関係機関と連携しながら問題行動等への早期対応を図ります。

(6) 特別支援教育体制の充実・強化

ア 「いわて特別支援教育推進プラン（仮称）」の策定

特別支援教育について重点施策を計画的に推進するため「いわて特別支援教育推進プラン（仮称）」を策定し、幼稚園、小、中、高等学校における特別支援教育校内体制を確立するとともに、教職員の特別支援教育への理解を深めます。

イ 「共に学び、共に育つ教育」の充実

就学指導委員会について、「就学指導」から「就学支援」への転換を図るための調査研究を行います。また、特別支援学校、特別支援学級等、障がいのある児童生徒との交流及び共同学習の推進を図ります。

ウ 各校種における特別支援教育の充実

高等学校への特別支援教育支援員の配置を促進するとともに、小中学校等も含めた支援員の専門性向上のための研修機会の充実を図ります。

また、特別支援学校における地域支援機能の充実を図り、小中学校等における「個別の指導計画」の作成推進など具体的な支援の充実を図ります。

エ 新たな教育観（インクルーシブ教育）に関する研修、啓発の充実

インクルーシブ教育についての県民理解を増進するため、関係機関と連携しながらボランティア養成講座、セミナー等の開催などにより啓発活動の充実を図ります。

(7) 健康教育の充実と体力向上

肥満傾向や体力低下の改善などに向けて、家庭における生活習慣の改善や食育の充実、さらには体育実技アシスタント派遣などによる体育の授業力向上、学校における体力アップ運動などの取組を強化します。

2 社会教育の充実と生涯学習の振興

〔重点事項〕 教育振興運動の活性化 家庭教育の積極的支援 読書活動の推進

県内各地域の現状把握に努めながら、学校、家庭、地域住民等の連携協力による家庭や地域の教育力向上に重点を置いた社会教育の充実に取り組みます。

また、県民の学習意欲や成果が地域で生かされる環境づくりを進めます。

(1) 教育振興運動といわて型コミュニティ・スクールの連携

教育振興運動といわて型コミュニティ・スクールの取組とが連動した実践活動や学校支援地域本部の活用等により、家庭・地域の教育力の向上を図りながら、家庭学習の充実や豊かな心を育てる読書活動の推進といった今日的な教育課題の解決に努めます。

(2) 家庭教育の充実

家庭教育や子育てについて、孤立しがちな家庭と地域との連携の充実など他者や地域との関わりをより多く持つことができる仕組みづくりを進めます。

(3) 社会教育施設におけるサービス向上

図書館、博物館、美術館、青少年の家等県立の各種社会教育施設における県民サービスの向上を図り、また、県民の多様なニーズに適切に対応し、生涯学習の推進に努めます。

3 スポーツの振興

〔重点事項〕 平成28年国体に向けた競技力強化

スポーツの振興を図ることは、県民に大きな希望と夢を与え、スポーツへの意欲・関心を高め、心身ともに活力ある健全な生活を送る上でも大きな意義を有しています。

特に、平成28年国民体育大会の本県開催に向けて、県民意識の高揚を図り、競技力強化のための体制整備の取組を本格化させます。

#### (1) インターハイ等に向けた取組

本県で開催する平成21年度全国中学校スキー大会、平成22年度スキーインターハイ、平成23年度に北東北3県で開催するインターハイの大会運営と競技力強化に向けた諸準備を進めます。

#### (2) 国体に向けた競技力の強化等

平成28年国民体育大会に向けて、「各競技団体の組織体制の強化」「スーパーキッズ発掘育成事業など中長期的な視点に立った選手の育成」「選手の能力を最大限に引き出すトップコーチの養成」などによる競技力向上の取組を推進していきます。

また、県営運動公園にスポーツ医・科学機能を備えた多目的屋内練習施設（ドーム）を設置し、将来にわたっての競技スポーツ強化の拠点及び県民の健康づくりの拠点となるようその整備を進めます。

#### (3) 生涯スポーツの振興

総合型地域スポーツクラブの創設・育成など県民の生涯スポーツの取組を促進します。

### 4 文化・芸術の振興

〔重点事項〕 岩手県文化芸術振興指針元年 「平泉の文化遺産」の世界遺産登録

地域に伝わる歴史、文化等を正しく理解することは、地域の価値を再認識し、人と人とのつながりを通じて地域社会の活性化にもつながっていくなど、大きな意義を有しています。

このことから、県民が地域に誇りや愛着を持ち伝統文化が暮らしに根付くよう取組を進め、文化の継承と振興を図ります。

#### (1) 岩手県文化芸術振興指針の推進

岩手県文化芸術振興指針元年として、指針が目指す「豊かさを感じ伝える国“いわて”」の実現に向け、文化振興基金の効果的な活用を図りながら、豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援、情報発信などにより、地域の文化の理解が進むよう戦略的に取り組みます。

#### (2) 世界遺産登録の推進

平泉の文化遺産について、平成23年の世界遺産登録を確実なものとするよう推薦書の作成や県民にわかりやすい情報発信等に努めます。

### 5 業務推進の基本姿勢

#### (1) 行動規範の確保

岩手県職員憲章及び岩手県教職員コンプライアンス・マニュアルに則り、教育に携わる職員としての自信と誇りを持ち、質の高い教育活動を創出します。

教職員による不祥事は、その根絶を目指します。

## (2) 現場支援としての事務局体制確立

いうまでもなく教育は学校現場、子どもが主役であることを基底として、事務局の価値は現場支援にあることを再認識し、現場の実態に即した解決が図られるよう、現場主義を一層徹底します。

## (3) 組織横断的な業務推進

組織の枠を越えた対応が必要な事案や教育委員会のみでは対応し切れない業務課題が増えており、関係機関と緊密な連携関係を構築します。

福祉・商工労働・地域振興部門やPTA等各種団体、市町村との連携、役割分担の明確化により課題解決に向けた取組を進めます。

## (4) 業務の効率化の推進

それぞれの職場で事務事業の効率化に継続的に取り組み、それぞれの顧客に対する満足度を高めていきます。教育現場においては、教員が子ども一人一人に向き合う時間が最大限確保されるよう、常に工夫・改善に努めます。

## (5) 評価から施策への反映

P D C Aサイクルを踏まえた評価に組み込み、その達成度を確認しながら常に必要な改善策を講じ、次年度以降の計画立案、施策への反映ができる業務遂行に努めます。

## (6) いわて希望創造プランの着実な推進

いわて希望創造プランに掲げる別記の各目標の実現に向けて、毎年度の政策評価・分析を的確に行い、着実に達成できるよう各事業に取り組みます。

## 第1章 教育行財政

### 第1節 教育行政

#### 第1 平成21年度 岩手県教育委員会経営計画

(別記) いわて希望創造プランに掲げる目標

#### ◆ 家庭・地域と協働する目標達成型の学校経営への改革

家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営に取り組む学校の割合

(現状：H18) — → (目標：H22) 100%

#### ◆ 児童生徒の学力向上

① 学習定着度状況調査における定着の分布の状況 (小中学校)

[分布割合・中央値]

[分布割合・中央値]

小5・国語 (現状：H19) 24%・75% → (目標：H22) 21%・80%

小5・算数 (現状：H19) 24%・78% → (目標：H22) 21%・80%

中2・国語 (現状：H19) 24%・69% → (目標：H22) 21%・70%

中2・数学 (現状：H19) 36%・60% → (目標：H22) 33%・70%

中2・英語 (現状：H19) 30%・58% → (目標：H22) 27%・70%

② 各学校が設定した進路目標を達成した学校の割合 (高等学校)

(現状：H18) — → (目標：H22) 100%

#### ◆ 豊かな心を育む教育の推進

「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合

小学校 (現状：H17) 87% → (目標：H22) 90%

中学校 (現状：H17) 80% → (目標：H22) 85%

高等学校 (現状：H17) 70% → (目標：H22) 75%

#### ◆ 児童の体力向上

① 「体力・運動能力調査」における全国平均を上回る項目の割合

(現状：H18) 65.6% → (目標：H22) 100%

② 「体力・運動能力調査」における総合評価のD・E段階の児童の割合 (小学6年生)

(現状：H19) 22.1% → (目標：H22) 18%以下

③ 肥満傾向児の割合 (小学6年生)

(現状：H18) 14.9% → (目標：H22) 10.8%

#### ◆ 特別支援教育の充実

① 特別支援学校の対象児を在籍させる小・中学校

(現状：H18) 13% → (目標：H22) 15%

② 特別支援学級の対象児を通常の学級に在籍させる小・中学校

(現状：H18) 25% → (目標：H22) 35%

③ 特別支援学校の高等部卒業生のうち一般就労を希望する者の就労達成率

(現状：H18) 72% → (目標：H22) 90%

#### ◆ 競技スポーツの強化

① 本県出身の国際大会日本代表者数

(現状：H18) 23人 → (目標：H22) 70人 (累計値)

② 国民体育大会天皇杯得点順位

(現状：H18) 34位 → (目標：H22) 25位以内

#### ◆ 歴史遺産の継承と伝統文化の振興

本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持つ県民の割合

(現状：H18) — → (目標：H22) 70%

第2 岩手県教育委員会

1 教育委員会委員及び教育長（平成22年3月31日現在）

職名	氏名	就任年月日
委員長 (平成21年10月10日～)	八重樫 勝	平成19年10月11日
委員長職務代理者[第1順位](平成21年10月10日～)	藤波 洋香	平成16年10月1日
委員長職務代理者[第2順位](平成21年10月10日～)	村井 三郎	平成20年10月1日
委員	坂本 ゆり	平成14年10月1日
委員	小平 忠孝	平成21年10月11日
委員・教育長	法 貴 敬	平成20年4月1日

2 事務局及び学校以外の教育機関の職員の異動状況（平成21年度定期人事異動、単位：人）

職の区分	異動区分	退職	転出	昇任	配置換等	転入	採用	計
指導主事、社会教育主事等の専門職員		0	5	17	55	44	0	121
教育長・事務職員	教育長	0	0	0	0	0	0	0
	室長級	0	2	0	1	2	0	5
	総括課長級	3	3	1	10	7	0	24
	担当課長級	1	2	2	0	3	0	8
	主任主査級	0	5	7	1	3	0	16
	主査級	0	6	7	5	16	0	34
	主事級	0	4	0	7	7	1	19
	小計	4	22	17	24	38	1	106
技能労務職員		0	0	0	0	0	0	0
計		4	27	34	79	82	1	227

3 教育委員会議開催状況（平成21年度）

区分	開催回数（回）
定例会	12
臨時会	2
委員協議会	7

### 第3 表彰及び栄典

#### 1 平成21年度文部科学大臣表彰（本県関係）

##### (1) 教育者表彰

伊藤 勝（岩手県立水沢高等学校長）  
篠田 宣道（盛岡市立厨川中学校長）  
新沼 敏哉（盛岡市立桜木小学校長）

##### (2) 優秀教員表彰（本県関係）

久保 紀子（盛岡市立杜陵小学校）  
八重樫 剛（岩手県立花巻農業高等学校）

##### (3) 地方教育行政功労者表彰

近藤 道雄（前 葛巻町教育委員会委員長）  
松尾 光信（前 山田町教育委員会教育長）  
浅沼 敬治（遠野市教育委員会委員長）

##### (4) 優良PTA表彰

越中畑小学校PTA（西和賀町）  
赤浜小学校PTA（大槌町）

##### (5) 社会教育功労者表彰

遠山 豊（遠野ユネスコ協会会長）

##### (6) 優良公民館表彰

一関市立小梨公民館  
一戸町立小鳥谷地区公民館

##### (7) 地域文化功労者表彰

柴内 啓子（盛岡洋舞協会事務局長）  
高橋 昭治（元 岩手県文化財保護指導員）

##### (8) 生涯スポーツ功労者表彰

佐々木 隆夫（岩手県バドミントン協会顧問）  
村井 良和（岩手県水泳連盟副会長）

##### (9) 学校保健及び学校安全表彰

川村 英一（学校医）  
川上 榮一（学校歯科医）  
二戸市立金田一小学校（団体）

##### (11) 視聴覚教育功労者表彰

小原 雪男（一関市）

##### (12) 体育指導委員功労者

下村 惠壽（釜石市）

##### (13) 子どもの読書活動優秀実践表彰

ア 団体（者）表彰  
図書ボランティアサークル「ちえの輪」（花巻市）

- イ 図書館表彰  
釜石市立図書館
- ウ 学校表彰  
川井村立川井小学校  
陸前高田市立高田小学校  
一関市立興田小学校

## 2 平成21年度岩手県教育表彰

### (1) 事績顕著者

本県教育文化の発展向上に尽力した功労者37名、6団体を表彰した。

#### ア 学校教育

一関市立桜町中学校

#### イ 学校保健

- 佐藤 護 人 (学校医)
- 渡辺 保 次 (学校医)
- 松田 恭 一 (学校医)
- 大沼 一 夫 (学校医)
- 李 春 財 (学校医)
- 村上 耕 喜 (学校医)
- 野手 清 (学校歯科医)
- 近藤 聖 二 (学校歯科医)
- 金野 昌 英 (学校歯科医)
- 植村 和 雄 (学校歯科医)
- 佐藤 正 俊 (学校歯科医)
- 阿部 ま な (学校歯科医)
- 佐藤 良 雄 (学校歯科医)
- 加藤 文 明 (学校歯科医)
- 佐藤 敏 明 (学校歯科医)
- 橋本 涉 (学校歯科医)
- 佐々木 敬 (学校歯科医)
- 宮手 義 和 (学校薬剤師)
- 東 金 一 (学校薬剤師)
- 及川 静 子 (学校薬剤師)
- 関 俊 昭 (学校薬剤師)
- 伊藤 文 子 (学校薬剤師)
- 熊谷 玲 子 (学校薬剤師)
- 中島 和 子 (学校薬剤師)
- 小保内 みつゑ (学校薬剤師)

#### ウ 社会教育

- 和川 時 章 (宮古市子ども会育成会連合会事務局長)
- 一関小学校PTA
- 種市小学校父母と教師の会 (PTA)
- 岩手県立盛岡第四高等学校PTA

エ 社会体育

太田 利彦 (岩手県ハンドボール協会会長)  
 小野寺 吾老 (岩手県サッカー協会前会長)  
 佐藤 健三 (岩手県ソフトボール協会副会長)  
 伊藤 周一 ((社)一関市体育協会前副会長兼千厩支部長)  
 小野寺 俊朗 (盛岡市アマチュアボクシング協会前会長)  
 開 正夫 ((財)岩手県スキー連盟(盛岡中央高校コーチ))  
 目時 隆士 (県立黒沢尻北高等学校教頭兼主任指導教諭)  
 畠山 長太 (スキー)  
 永井 健弘 (スキー)  
 菊池 民彌 (遠野市体育協会会長)  
 高砂スポーツ少年団(久慈市)

オ 学術、文化

吉田 義昭 (盛岡市文化財保護審議会副会長)  
 村崎野大乘神楽保存会(北上市)

(2) 永年勤続者 474人

3 平成21年度叙勲(本県関係)

春秋の別	職名等	氏名	年齢	勲等
春	岩手県バドミントン協会会長	竹林 克彦	74	旭日双光章
春	元 岩手県立雫石高等学校長	藤原 博	83	瑞宝小綬章
春	元 岩手県立大東高等学校長	近江 昭	81	瑞宝小綬章
春	元 岩手県立盛岡第三高等学校長	沖田 岑夫	77	瑞宝小綬章
春	元 二戸市立下斗米小学校長	相馬 福太郎	79	瑞宝双光章
春	元 一関市立桜町中学校長	瀬川 欽一	78	瑞宝双光章
春	元 盛岡市立厨川中学校長	渡邊 満夫	76	瑞宝双光章
春	元 盛岡市立仙北小学校長	矢羽々 昭夫	75	瑞宝双光章
春	学校歯科医	天日常光	76	瑞宝双光章
春	あけぼの幼稚園園長	山折 昭磨	75	瑞宝单光章
秋	元 滝沢村教育委員会委員長	高田 裕功	74	旭日双光章
秋	岩手県弓道連盟会長	菊池 スエ	83	旭日单光章
秋	元 岩手県立大迫高等学校長	梅津 修甫	83	瑞宝小綬章
秋	元 岩手県立みたけ養護学校長	千田 辰雄	81	瑞宝双光章
秋	元 江刺市立稲瀬小学校長	高橋 光雄	80	瑞宝双光章
秋	元 久慈市立久慈小学校長	佐々木 六郎	79	瑞宝双光章
秋	元 二戸市立石切所小学校長	三浦 豊治	79	瑞宝双光章
秋	元 紫波町立日詰小学校長	森田 誠喜	79	瑞宝双光章
秋	元 宮古市立宮古小学校長	太田 嘉吉	76	瑞宝双光章
秋	元 盛岡市立桜城小学校長	向田 實雄	75	瑞宝双光章
秋	学校薬剤師	高橋 清人	80	瑞宝双光章



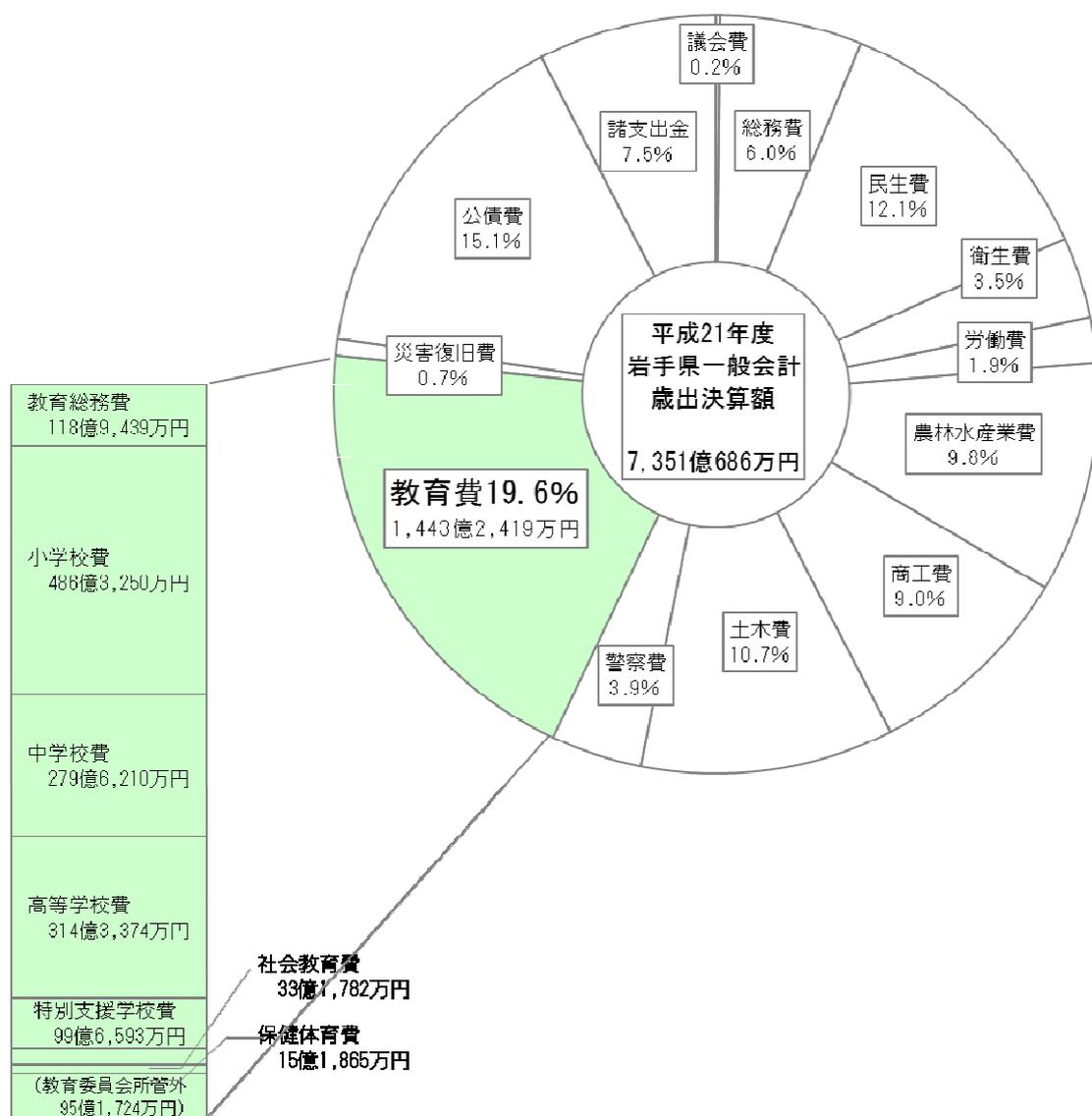
## 第2節 教育財政

### ○ 平成21年度岩手県一般会計決算と教育費決算の概要

平成21年度の岩手県一般会計歳入歳出決算額は、歳入7,482億6,014万円、歳出7,351億686万円であり、これを前年度決算額に比べると、歳入9.5%、歳出9.2%とそれぞれ増加した。

一般会計歳出決算額のうち教育委員会所管分は、教育費1,443億4,241万円のうち1,348億2,517万円及び災害復旧費51億564万円のうち2,833万円の計1,348億5,350万円であり、一般会計歳出決算額に占める割合は、18.3%となっている。

#### 【平成21年度岩手県一般会計歳出決算額 目的別構成比】



第1章 教育行財政  
第2節 教育財政

【平成21年度 教育費 歳出予算・決算額】

区 分	最終予算額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不 用 額 (A-B-C)
一般会計総額	776,289,606,527	735,106,860,752	35,967,742,891	5,215,002,884
教育費（教委所管分）	139,215,649,835	134,825,170,651	3,703,459,000	687,020,184
教育総務費	12,574,439,000	11,894,398,912	381,839,000	298,201,088
教育委員会費	15,505,000	15,194,490	0	310,510
事務局費	1,980,667,000	1,968,277,574	0	12,389,426
教職員人事費	8,398,072,000	8,131,922,132	0	266,149,868
教育指導費	1,092,713,000	1,077,867,577	1,803,000	13,042,423
教育センター費	863,940,000	482,220,261	380,036,000	1,683,739
幼稚園費	0	0	0	0
恩給及び退職年金費	223,542,000	218,916,878	0	4,625,122
小学校費	48,805,765,000	48,732,507,509	0	73,257,491
教職員費	48,805,765,000	48,732,507,509	0	73,257,491
中学校費	27,996,155,000	27,962,103,692	0	34,051,308
教職員費	27,986,937,000	27,953,035,187	0	33,901,813
学校管理費	9,218,000	9,068,505	0	149,495
高等学校費	32,979,255,710	31,433,747,392	1,427,912,000	117,596,318
高等学校総務費	26,631,188,000	26,590,018,042	0	41,169,958
全日制高等学校管理費	1,669,328,485	1,650,601,594	0	18,726,891
定時制高等学校管理費	113,637,000	65,092,939	47,358,000	1,186,061
教育振興費	2,275,578,000	1,667,937,449	584,504,000	23,136,551
学校建設費	2,283,028,225	1,453,759,125	796,050,000	33,219,100
通信教育費	6,496,000	6,338,243	0	157,757
特別支援学校費	10,556,070,125	9,965,935,119	558,691,000	31,444,006
特別支援学校費	10,556,070,125	9,965,935,119	558,691,000	31,444,006
社会教育費	3,488,965,000	3,317,827,162	124,612,000	46,525,838
社会教育総務費	1,266,624,000	1,226,166,193	19,043,000	21,414,807
視聴覚教育費	0	0	0	0
文化財保護費	449,995,000	424,451,083	20,524,000	5,019,917
芸術文化振興費	668,946,000	661,019,061	0	7,926,939
図書館費	200,544,000	162,633,161	37,274,000	636,839
博物館費	401,631,000	346,407,290	47,771,000	7,452,710
美術館費	501,225,000	497,150,374	0	4,074,626
保健体育費	2,815,000,000	1,518,650,865	1,210,405,000	85,944,135
保健体育総務費	604,957,000	555,947,436	0	49,009,564
体育振興費	434,855,000	402,127,385	12,500,000	20,227,615
体育施設費	1,775,188,000	560,576,044	1,197,905,000	16,706,956
災害復旧費（教委所管分）	31,789,000	28,335,300	0	3,453,700
教育施設災害復旧費	31,789,000	28,335,300	0	3,453,700
学校施設災害復旧費	0	0	0	0
教育センター災害復旧費	31,789,000	28,335,300	0	3,453,700
社会教育施設災害復旧費	0	0	0	0
（教育委員会所管分計）	139,247,438,835	134,853,505,951	3,703,459,000	690,473,884

第1章 教育行財政  
第2節 教育財政

[単位：円、%]

区 分	前年度最終予算額 (D)	対前年比(金額) E (A-D)	対前年比(増減率) E/D
一般会計総額	705,414,812,188	70,874,794,339	10.0
教育費(教委所管分)	146,532,707,100	△ 7,317,057,265	△ 5.0
教育総務費	14,464,009,000	△ 1,889,570,000	△ 13.1
教育委員会費	16,611,000	△ 1,106,000	△ 6.7
事務局費	2,022,926,000	△ 42,259,000	△ 2.1
教職員人事費	10,780,997,000	△ 2,382,925,000	△ 22.1
教育指導費	808,237,000	284,476,000	35.2
教育センター費	508,953,000	354,987,000	69.7
幼稚園費	65,151,000	△ 65,151,000	皆減
恩給及び退職年金費	261,134,000	△ 37,592,000	△ 14.4
小学校費	50,698,045,000	△ 1,892,280,000	△ 3.7
教職員費	50,698,045,000	△ 1,892,280,000	△ 3.7
中学校費	28,644,114,000	△ 647,959,000	△ 2.3
教職員費	28,644,114,000	△ 657,177,000	△ 2.3
学校管理費	0	9,218,000	皆増
高等学校費	36,963,588,000	△ 3,984,332,290	△ 10.8
高等学校総務費	27,791,592,000	△ 1,160,404,000	△ 4.2
全日制高等学校管理費	1,726,693,000	△ 57,364,515	△ 3.3
定時制高等学校管理費	55,339,000	58,298,000	105.3
教育振興費	1,143,307,000	1,132,271,000	99.0
学校建設費	6,240,054,000	△ 3,957,025,775	△ 63.4
通信教育費	6,603,000	△ 107,000	△ 1.6
特別支援学校費	10,675,946,000	△ 119,875,875	△ 1.1
特別支援学校費	10,675,946,000	△ 119,875,875	△ 1.1
社会教育費	3,520,194,100	△ 31,229,100	△ 0.9
社会教育総務費	1,262,464,000	4,160,000	0.3
視聴覚教育費	45,000	△ 45,000	皆減
文化財保護費	508,134,100	△ 58,139,100	△ 11.4
芸術文化振興費	686,912,000	△ 17,966,000	△ 2.6
図書館費	174,967,000	25,577,000	14.6
博物館費	362,887,000	38,744,000	10.7
美術館費	524,785,000	△ 23,560,000	△ 4.5
保健体育費	1,566,811,000	1,248,189,000	79.7
保健体育総務費	639,319,000	△ 34,362,000	△ 5.4
体育振興費	332,216,000	102,639,000	30.9
体育施設費	595,276,000	1,179,912,000	198.2
災害復旧費(教委所管分)	79,647,000	△ 47,858,000	△ 60.1
教育施設災害復旧費	79,647,000	△ 47,858,000	△ 60.1
学校施設災害復旧費	28,604,000	△ 28,604,000	皆減
教育センター災害復旧費	37,270,000	△ 5,481,000	△ 14.7
社会教育施設災害復旧費	13,773,000	△ 13,773,000	皆減
(教育委員会所管分計)	146,612,354,100	△ 7,364,915,265	△ 5.0

## [附] 市町村教育委員会

## 1 市町村教育委員会委員長（平成22年3月31日現在）

市町村名	委員長		委員長の任期
盛岡市	川村 登	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
八幡平市	田村 善男	(新)	平成21年11月15日～平成22年11月14日
雫石町	沼尻 洋一	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
葛巻町	千葉 洋一	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
岩手町	橋本 壽美男	(再)	平成21年7月21日～平成22年7月20日
滝沢村	内村 宣夫	(再)	平成21年12月25日～平成22年12月22日
紫波町	中野 英明	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
矢巾町	合田 武	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
花巻市	高橋 豊	(再)	平成22年3月25日～平成23年3月24日
遠野市	浅沼 敬治	(再)	平成21年11月26日～平成22年11月25日
北上市	池田 道雄	(新)	平成21年6月1日～平成22年5月31日
西和賀町	須藤 繁	(新)	平成21年12月1日～平成22年11月30日
奥州市	千葉 啓一	(新)	平成22年3月31日～平成23年3月30日
金ヶ崎町	及川 紀美子	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
一関市	鈴木 功	(再)	平成21年10月29日～平成22年10月28日
平泉町	畠山 昭	(新)	平成21年11月1日～平成22年10月31日
藤沢町	高橋 義太郎	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
大船渡市	佐藤 浩一	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
陸前高田市	村上 サキ	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
住田町	千葉 英夫	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
釜石市	多田 彰一	(再)	平成21年10月2日～平成22年9月30日
大槌町	藤井 達也	(再)	平成21年9月25日～平成22年9月24日
宮古市	佐々木 敏男	(新)	平成21年8月30日～平成22年8月29日
山田町	馬場 善也	(再)	平成21年10月19日～平成22年10月18日
岩泉町	伊東 勝幸	(新)	平成21年12月21日～平成22年12月20日
田野畑村	佐々木 源良	(再)	平成21年11月1日～平成22年10月31日
久慈市	鹿糠 敏文	(新)	平成21年5月9日～平成22年5月8日
洋野町	青澤 侑子	(新)	平成22年2月16日～平成23年2月15日
野田村	大沢 伸子	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
普代村	道合 多喜夫	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
二戸市	柴田 孝夫	(再)	平成22年2月22日～平成23年2月21日
軽米町	菅原 皓文	(再)	平成21年10月1日～平成22年9月30日
九戸村	千葉 和彦	(再)	平成21年8月12日～平成22年8月11日
一戸町	下田 和夫	(再)	平成21年12月25日～平成22年12月24日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成21年4月1日から平成22年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

2 市町村教育委員会教育長（平成22年3月31日現在）

市町村名	教 育 長		教育長の任期
盛岡市	八 卷 恒 雄		平成20年10月1日～平成24年9月30日
八幡平市	高 橋 北 英	(再)	平成21年11月15日～平成25年11月14日
雫石町	村 上 功	(再)	平成21年12月26日～平成25年12月25日
葛巻町	村 木 登	(再)	平成21年12月25日～平成25年12月24日
岩手町	佐々木 恵 治		平成20年11月1日～平成24年10月31日
滝沢村	盛 川 通 正	(再)	平成21年4月2日～平成25年4月1日
紫波町	川 村 秀 彦		平成20年10月1日～平成24年9月30日
矢巾町	松 尾 光 則		平成20年10月1日～平成24年9月30日
花巻市	及 川 宣 夫		平成18年4月1日～平成22年3月31日
遠野市	藤 澤 俊 明	(新)	平成21年11月26日～平成25年11月25日
北上市	高 橋 一 臣		平成19年6月1日～平成23年5月31日
西和賀町	野 中 孝 勇	(新)	平成21年12月25日～平成25年12月24日
奥州市	(不 在)		
金ヶ崎町	新 田 章		平成20年10月1日～平成24年9月30日
一関市	藤 堂 隆 則	(再)	平成21年10月29日～平成25年10月28日
平泉町	南 舘 廣太郎	(新)	平成21年4月1日～平成22年12月31日
藤沢町	岩 渕 英 生		平成20年10月1日～平成24年9月30日
大船渡市	(不 在)		
陸前高田市	伊 藤 壽		平成20年10月1日～平成24年9月30日
住田町	佐 賀 篤	(新)	平成22年1月2日～平成26年1月1日
釜石市	河 東 眞 澄		平成20年10月1日～平成24年9月30日
大槌町	伊 藤 正 治		平成20年4月2日～平成24年3月30日
宮古市	中 屋 定 基		平成18年8月30日～平成22年8月29日
山田町	岩 船 敏 行		平成20年10月30日～平成24年10月29日
岩泉町	下 川 克 彦	(再)	平成21年4月1日～平成25年3月31日
田野畑村	石 岡 三 郎	(再)	平成21年10月1日～平成25年9月30日
久慈市	末 崎 順 一		平成20年3月18日～平成22年4月27日
洋野町	小 森 重 則		平成21年2月14日～平成25年2月13日
野田村	大 崎 英 雄		平成21年1月1日～平成24年12月31日
普代村	熊 坂 伸 子		平成18年4月1日～平成22年3月31日
二戸市	鳩 岡 矩 雄	(新)	平成22年2月22日～平成26年2月21日
軽米町	中 野 新 一		平成19年6月17日～平成23年6月16日
九戸村	千 葉 利 夫		平成20年7月9日～平成24年7月8日
一戸町	遠 藤 裕 一		平成18年4月1日～平成22年3月31日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成21年4月1日から平成22年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

### 3 市町村教育委員等研修

- 平成21年度市町村教育委員会研究協議会（第一ブロック）  
【平成21年11月16日、栃木県総合文化センターサブホール】
  - ・行政説明「初等中等教育をめぐる課題と動向」  
：文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長 関 靖直氏
  - ・講演「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得に向けて～その必要性と推進方策～」  
：宇都宮大学教授 松本 敏氏
  - ・パネルディスカッション「教育委員会に期待される役割について～家庭教育の充実に向けた取組とその方策」
- 【平成21年11月17日、栃木県総合文化センター第2会議室～第4会議室】
  - ・分科会「家庭学習の習慣化に向けた取組について」  
「学校教育における学力向上に向けた取組について」  
「地域における学校支援の方策について」

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第1 目標達成型の学校経営の推進

各学校がそれぞれの学校の現状と地域の状況などを踏まえながら、中長期的な目標のもと、毎年度の達成目標とその実現方策を明らかにした学校経営計画を定め、実行し、その成果と課題を検証していくというPDCAサイクルに基づく学校経営の取組を推進した。

##### 1 目標達成型の学校経営の推進

校長のリーダーシップのもと、家庭・地域との協働の強化を図り、学校経営計画の方針策定や実行プロセスへの校内教職員の参画、学校内外の評価なども取り入れたPDCAサイクルに基づく学校経営を推進した。

- 重視する教育活動について、目指すべき成果やそれに向けた取組の具体的な目標を定めた「まなびフェスト」の公立小中学校における作成状況は100%であった。

##### 2 家庭・地域社会との協働の促進

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの生きる力を育むため、学校では、家庭や地域と協働する「いわて型コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、家庭や地域との相互交流を積極的に促進するとともに、学校運営についても、家庭や地域の願い・意見等を把握しながら絶えず見直し、改善の努力をしていく「開かれた学校づくり」を推進した。

##### 3 「開かれた学校づくり」の推進

###### (1) 地域連携の窓口となる教員の配置

地域や学校の実態に応じて、地域連携の窓口となる教員を配置し、積極的に地域社会と連携した開かれた学校づくりを推進した。

配置の状況は、小中学校 100%、高校84.9%、特別支援学校92.9%であった。

###### (2) 学校評議員の設置

児童生徒や保護者、地域住民の学校教育に対する意向を把握するとともに、学校運営などについて説明責任を果たすため、学校評議員の設置を推進した。全ての県立学校で設置され、小中学校においても8割以上で設置されている。

#### 【目標】

児童・生徒や保護者、地域住民の意向を把握するとともに、学校運営などの説明責任を果たすため、全ての県立学校において学校評議員を設置することとする。

なお、小中学校に対しては、各学校の実情に応じた積極的な取組について指導する。

第2章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第1 目標達成型の学校経営の推進

<b>【進捗状況】</b>			<b>【今後の取組】</b> 学校評議員の積極的な活用を図るため、各校に学校評議員の活用状況等に係る情報を提供するとともに、各市町村教育委員会に対して設置の働きかけを行う。
	H20岩手県	H20全国平均	
公立小学校	341校(81.4%)	91.1%	
公立中学校	159校(82.8%)	91.6%	
県立学校	90校(100%)	96.8%	

(3) 学校評価の実施

<b>【目標】</b> 平成19年に改正された学校教育法及び施行規則等の規定に沿った学校評価の実施を推進する。 (1) 学校は自ら評価を行い、その結果を公表する（義務規定）。 (2) 学校は、学校関係者評価を行い、その結果を公表するよう務める（努力規定）。 (3) 学校は、自己評価及び学校関係者評価を行った場合は、その結果を設置者に報告する。						
<b>【実施状況】</b> (平成20年度)	自己評価の実施		自己評価結果の公表		学校関係者評価の実施	
	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国
公立小学校	418校(99.8%)	99.9%	337校(80.6%)	89.7%	276校(65.9%)	84.9%
公立中学校	192校(100%)	99.9%	154校(80.2%)		126校(65.6%)	84.3%
県立学校	91校(100%)	100%	76校(83.5%)		72校(79.1%)	90.9%

学校運営の改善や活性化を進め、教育活動に係る家庭や地域等への説明責任を果たすため、学校自己評価及び評価結果の公表を推進するとともに、自己評価結果に対する学校関係者評価を推奨している。ほとんどの学校が自己評価を行ったが、学校関係者評価については小中学校で66%程度の実施にとどまっている。

(4) ホームページの開設

学校からの情報発信力を強化するため、全ての県立学校においてホームページを開設しているが、小中学校における開設状況は5割弱程度にとどまっている。

<b>【目標】</b> 全学校でのホームページの開設及び学校情報の発信に取り組む。		
<b>【進捗状況】</b>	H21岩手県(全国)	<b>【今後の取組】</b>
公立小学校	46.2%(84.6%)	学校運営等の積極的な情報発信の趣旨からもその充実を図るため、運用に際しての掲載すべき内容を指導するとともに、先進事例を紹介する。
公立中学校	49.7%(83.6%)	
県立学校	100%(99.9%)	

4 地域との交流の促進

地域におけるボランティア活動、伝統芸能等の継承、行事や祭事への積極的な参加、社会福祉施設との連携等、地域に開かれた学校づくりを実践的に推進した。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第1 目標達成型の学校経営の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

### 5 地域の人材の活用

地域の伝統文化・芸能の継承活動等において、保護者や地域の方々を指導者として招き、児童生徒が地域を理解する学習の推進を図った。

また、日常の各教科や総合的な学習の時間等においても、保護者や地域の専門的な知識・技能を有する方々をゲストティーチャーとして積極的に活用するなど、地域の人材の活用を積極的に推進した。

### 6 学校の開放

地域住民の交流や学習の拠点としての役割を担う観点から、学校の体育施設等や学校図書館、空き教室等の積極的な開放を行った。

## 第2 社会人として自立できる能力の育成

社会の仕組みや経済社会の構造、高度情報化社会の特性、持続可能な社会をつくる取組等について、国際理解教育、情報教育、環境教育等を推進することにより、高校卒業までに、社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得させ、自ら学ぶ態度を養うよう努めた。

さらに、児童生徒の発達の段階に応じた課題解決がなされるように、地域や産業界等、学校外の教育資源を活用した体験的活動の機会の拡充を図るなど、いわてのキャリア教育に基づいた取組を進め、児童生徒が将来、社会人、職業人として自立できるための能力の育成に取り組んだ。

### 1 児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実

各学校が児童生徒の実態等に応じて、わかる授業を基盤とした、習熟の程度に応じた指導などの少人数指導や繰り返し学習などきめ細かな指導ができるように、児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実に努めた。

### 2 社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造等

各学校が総合的な学習の時間などを中心に体験的な学習を積極的に取り入れ、児童生徒の関心・意欲や思考力、判断力、表現力を育成し、社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造に取り組むことができるよう、支援・指導の充実に努めた。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

### 3 学校裁量を生かした創意工夫

#### (1) 平成21年度文部科学省・岩手県教育委員会研究指定校（高等学校を除く）

##### 文部科学省指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名
学力向上実践研究推進事業（確かな学力育成のための実践研究事業）〔平成20～22年度〕	盛 岡	水分小、上平沢小、片寄小、紫波第三中
	奥 州	水沢小、佐倉河小、水沢中
豊かな体験活動推進事業 〔平成21年度〕	盛 岡	一方井小、御明神小、吉ヶ沢小
	花 巻	宮守小
	宮 古	田野畑小、沼袋小、羅賀小、机小、浜岩泉小、島越小
	久 慈	戸呂町小 大川目小
発達段階に応じたキャリア教育支援事業 〔平成21年度〕	一 関	一関市 （南小、一関中、本寺小、本寺中、摺沢小、大東中）
	二 戸	軽米町（軽米小、軽米中、小軽米小、小軽米中） 九戸村（江刺家小、九戸中）
道徳教育実践研究事業 〔平成20・21年度〕	大船渡	吉浜小、吉浜中
道徳教育実践研究事業 〔平成21・22年度〕	盛 岡	盛岡市（河北小）
	北 上	西和賀町（湯田中）
	奥 州	奥州市（姉体小、東水沢中）
我が国の伝統文化を尊重する教育に関する 実践モデル事業〔平成20・21年度〕	大船渡	大船渡中
問題を抱える子ども等の自立支援事業 〔平成21年度〕	盛 岡	盛岡市、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、雫石町
	花 巻	花巻市
	北 上	北上市
	奥 州	奥州市
	宮 古	宮古市
	久 慈	久慈市、洋野町

#### (2) 教科書関係

##### ア 採択の概要

平成16年度に小学校用教科書の採択替えを行い、平成17年度に中学校用教科書の採択替えを行った。

##### イ 教科用図書選定審議会

県教育委員会は、市町村教育委員会及び国立、私立学校の校長の行う教科書採択が円滑適正になされるよう指導、助言、又は援助をするために、平成18年度使用教科用図書選定審議会委員を委嘱した。

教科用図書選定審議会に対し、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条第1項の規定により、次の事項について諮問し、その答申を受けて各採択権者に対し、指導、助言、援助を行った。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

(ア) 平成21年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書を各採択権者が採択する場合における採択基準について

(イ) 教科用図書選定のための資料について

#### ウ 教科書展示会

教科書の発行に関する臨時措置法第5条第1項の規定により、平成22年度使用教科書展示会を、平成21年6月19日から14日間、次の19カ所の教科書センターにおいて開催した。

【教科書センター】岩手中央／盛岡／八幡平／葛巻／花巻／北上／奥州／金ヶ崎／一関／川崎／大船渡／陸前高田／遠野／釜石／宮古／岩泉／久慈／久慈東／二戸

### (3) 高等学校教育全般

平成21年度の高等学校教育指導指針は、本県学校教育が目指す基本方針「創造性と進取の気性に富み、社会の変化に主体的に対応できる能力と国際的視野をもった心豊かな人間を育成する」を基調としている。

学校教育全般にわたる指導の要点を次の18項目とし、教育の本質に根ざした学力の向上と健全育成を目指す学校教育の充実推進に努めた。

【各校共通して取り組む内容の指導の要点】学校経営計画／学力・授業力向上／キャリア教育／豊かな人間性の育成／特別支援教育／健康教育、【各学校の経営計画により取り組む内容の指導の要点】特別活動／総合的な学習の時間／国際理解教育／環境教育／ボランティア教育／情報教育／読書指導／交流及び共同学習／定時制・通信制教育／研修・研究、【スポーツや伝統・文化に関わって各学校が取り組む内容の指導の要点】競技スポーツの強化／伝統文化の教育

また、下表のとおり研究指定校を指定（いずれも文部科学省指定）するとともに、学習指導・授業研修等による訪問や生徒指導等による訪問を行い、指導した。

#### 【平成21年度 岩手県公立高等学校等教育研究指定校】

研究主題	研究校	年度
スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（理数系教育）	水沢	平成18～22年度
高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究	花泉・大槌	平成19～21年度
原子力・エネルギーに関する教育支援事業	黒沢尻北・黒沢尻工業・水沢工業・一関工業・千厩・釜石商工	平成21年度
地域産業の担い手育成プロジェクト（ものづくり分野）	盛岡工業・花北青雲・黒沢尻工・水沢工業・一関工業・千厩	平成21年度
地域産業の担い手育成プロジェクト（農業分野）	盛岡農業・花巻農業・水沢農業	平成21～22年度
地域産業の担い手育成プロジェクト（水産分野）	宮古水産	平成21～22年度
環境のための地球学習観測プログラム（グローブ）	遠野	平成21～22年度
教育課程研究指定校事業	盛岡商業・福岡工業	平成21～22年度
学力向上実践研究推進事業（数学）	岩泉	平成21～23年度

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

#### (4) 定時制・通信教育

平成21年度における定時制課程の学校数は、11校（独立本校1校、併置校8校、分校2校）であり、通信制課程は、杜陵高校通信制1校である。

昭和56年度から定時制高校と県立高等職業訓練校（1年課程）7校との間に技能連携教育が始まり、さらに昭和57年度には雇用促進事業団立総合高等職業訓練校（2年課程）2校が加わった。

この制度により高校を卒業した生徒は541人にのぼっているが、平成14年度に技能連携生5人が入学したのを最後に、平成15年度以降は在籍がゼロとなっている。

昭和63年4月には杜陵高校定時制に全国初の単位制を導入し、平成5年度からは3部制にし、多様な生徒の学習ニーズに対応している。

定時制・通信制課程の生徒数全体は、平成14年度以降は減少傾向となっていたが、平成20年度からは増加傾向にある。

#### ア 定時制、通信制学科別入学及び在籍生徒数

(ア) 入学生徒数（平成21年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	機械科	電気科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	560	224	—	—	—	—	12	—	—	236	42.1
通信制	300	188	—	—	—	—	—	—	—	188	62.7
合計	860	412	—	—	—	—	12	—	—	424	49.3

[平成20年5月1日現在の生徒数計は、定時制243人、通信制209人、合計452人であり、それぞれ7人減、21人減、28人減]

(イ) 在籍生徒数（平成21年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	機械科	電気科	工学科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	2,240	650	—	—	—	—	39	22	29	740	33.0
通信制	—	1,746	—	—	—	—	—	—	—	1,746	—
合計	—	2,396	—	—	—	—	39	22	29	2,486	—

[平成20年5月1日現在の生徒数計は、定時制729人、通信制1,914人、合計2,643人であり、それぞれ11人増、168減、157減]

#### イ 就学奨励事業

就学促進のための施策の一環として「高等学校定時制課程及び通信制就学奨励費貸付事業」を実施し、関連事業として、教科書の無償給与、夜間定時制高校生徒夜食費補助等も実施した。

#### ウ 主な事業（主催及び共催）

(ア) 岩手県高等学校定時制通信制教育振興会理事会・総会

期日……………平成21年5月15日

会場……………杜陵高校

参加者……………46人

(イ) 第59回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

期日……………平成21年9月27日

会場……………大船渡市三陸公民館

参加者等……………100人（発表14人）

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

## 4 情報教育の充実

社会の情報化に対応した教育を行うため、「教育の情報化」を推進することとし、情報機器の整備促進及びその活用充実等のための研修や、IT活用能力及び指導力の向上のための各種研修を積極的に実施した。

### (1) 情報関連機器の整備状況（平成22年3月現在）

[単位：人、%]

学校種別	コンピュータ1台あたりの児童生徒数		普通教室における校内LAN整備率		超高速インターネット接続率	
	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均
小学校	6.3	8.1	47.8	67.2	51.6	65.6
中学校	5.0	6.7	49.5	69.0	50.8	66.9
高等学校	4.4	4.9	99.2	91.9	67.6	65.1
特別支援学校	2.2	3.7	93.0	82.3	78.6	65.0
合計	5.3	6.8	59.0	72.2	53.6	65.9

(参考) 平成18年度から平成22年度までの新基準（文部科学省）

コンピュータ1台あたりの児童生徒数	普通教室における校内LAN整備率	超高速インターネット接続率
3.6人	概ね100%	概ね100%

(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校共通)

### (2) 教員の指導力の向上

ア 教員のICT活用指導力の状況（平成22年3月現在）

「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合[単位:%]	岩手県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	79.6	73.9
授業中にICTを活用して指導する能力	66.1	58.5
児童・生徒のICT活用を指導する能力	67.2	60.3
情報モラルなどを指導する能力	73.8	68.6
校務にICTを活用する能力	76.0	69.4

イ 教員情報活用能力向上のための研修

小中高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、総合教育センターで各種研修を行った。

ウ 初任者研修

初任者研修において、情報モラル指導や教育の情報化のための研修を行った。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

## 5 国際理解教育の充実

国際化の進展に対応し、国の外国青年招致事業であるJETプログラムにより外国青年を招聘し、中・高校における外国語教育や国際理解教育の充実を図った。

### (1) 外国青年招致事業

ア 招致人員 14人

イ 国籍

米国、英国、カナダ、シンガポール

ウ 配置先

学校教育室 1人

総合教育センター 1人

県立高校等 12人

#### 【配置高校名】

盛岡北、盛岡南、不来方、花巻北、黒沢尻北、北上翔南、水沢、一関第一、高田、住田、釜石商工、遠野緑峰

### (2) 外国語教育推進事業

これまで活用してきた語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）における外国語指導助手に関する事業について、より効率的かつ効果的な運用により、外国語指導の向上を目的として、一部の業務を民間業者に委託した。

- ・平成20年8月21日 22人（教育事務所：3 事務所 3人 県立学校：40校19人）
- ・平成20年9月1日 24人（教育事務所：5 事務所 5人 県立学校：43校19人）
- ・平成20年10月31日 25人（教育事務所：6 事務所 6人 県立学校：46校19人）
- ・平成21年4月1日 26人（教育事務所：7 事務所 7人 県立学校：43校19人）
- ・平成21年7月31日 33人（教育事務所：9 事務所 9人 県立学校：62校24人）

※ 県立学校の人数＝総数－教育事務所の人数（兼務のため）

## 6 キャリア教育の推進

近年の社会構造や就業形態の複雑化を背景として、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や勤労観・職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題となっており、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育の重要であることから、「いわてキャリア教育指針」を策定し、本県のキャリア教育の方向性を示し、各学校におけるキャリア教育推進の支援に努めた。

### (1) 「いわてキャリア教育指針」の策定

平成21年6月から平成22年2月まで、5回の「いわてのキャリア教育推進検討委員会」を開催し、本県におけるキャリア教育の方向性などについて検討いただき、平成22年3月に、「いわてキャリア教育指針」を策定した。

指針では、本県におけるキャリア教育を「児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を学校教育活動全体で計画的・組織的に育むこと」と定義した。

### (2) 発達段階に応じたキャリア教育推進事業の実施

小中学校において、学ぶことや働くこと、生きることについて考えさせ、学ぶ意欲の向上を図り、将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育て、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を効果的・効率的に実施するため、3市町村（一関市・軽米町・九戸村）が文部科学省の指定を受け、研究事業を実施した。

### (3) 小中高キャリア教育研究協議会の開催

小学校のキャリア教育担当教員及び中学校・高等学校の進路指導主事を対象に、小・中・高等学校におけるキャリア教育の在り方について研修し、各校のキャリア教育の改善・充実と担当者の資質の向上を図った。

地区名	期 日	会 場	担当教育事務所
盛岡（北）	平成21年8月5日（水）	盛岡市洪民公民館	盛岡教育事務所
久慈	平成21年12月4日（金）	久慈地区合同庁舎	久慈教育事務所
一関	平成22年2月10日（水）	一関市立川崎公民館	一関教育事務所

### (4) 高等学校キャリア教育調査研究事業の実施

高等学校、特に普通科高校におけるキャリア教育を充実させるため、花泉高校及び大槌高校が文部科学省から推進校の指定を受け、①高等学校におけるキャリア教育、②高等学校卒業生及び中退者への各支援の在り方についての検討を行った。

### (5) キャリア教育指導者養成研修の受講

キャリア教育を担当する指導主事や小・中・高等学校のキャリア教育担当者・進路指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育、キャリア・カウンセリング等について必要な知識を習得させることをねらいとした文部科学省主催の講座であり、小学校2人、中学校3人、高等学校2人が受講した。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

#### (6) キャリアアップサポート事業の実施

岩手県産業教育振興会が主催する「産業教育フォーラム」や各学校が実施する外部講師による講演会、生徒の企業見学、教員研修等を支援した。

## 7 職業教育の充実

### (1) 職業教育の現状

本県における職業教育は、専門高校を中心に行われており、有為な職業人を育成するために、望ましい勤労観や職業観を培い、創造性を身に付けた総合的な人間育成の場としても大きな役割を果たしている。

また、近年、社会や産業構造、就労環境等も変化してきており、専門高校の教育内容等の一層の改善が求められているところである。

今後は、キャリア教育がさらに進展していくとすれば、普通高校における職業教育の充実も求められていくものと考えられる。

### (2) 職業教育の活性化に向けて

#### ア 新しい教育課程の実施

高等学校における職業教育のスタート段階では、専門分野の基礎的・基本的な知識・技能を定着させることが重要であり、平成21年3月に告示された新学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各教科・科目の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに、「課題研究」等の実践をとおした問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を進め、職業教育の活性化に努めた。

また、地域の産業や社会を担う人材を育成するためには、さらに、産業界と連携しながら、体験的な学習を推進していく必要がある。

#### イ 地域産業の担い手育成プロジェクトの活用

文部科学省と経済産業省、農林水産省、水産庁との連携による「地域産業の担い手育成プロジェクト」を活用し、企業内実習や企業技術者による学校での実践的指導、日本版デュアルシステムなどの実施により生徒の実践力の向上が図られた。

分野	所管省庁	事業期間	対象校
ものづくり分野	文部科学省・ 経済産業省	平成19年度～21年度	盛岡工業高校、花北青雲高校、黒沢尻工業高校、水沢工業高校、一関工業高校、千厩高校
農業分野	文部科学省・ 農林水産省	平成20年度～22年度	盛岡農業高校、花巻農業高校、水沢農業高校
水産分野	文部科学省・ 水産庁	平成21年度～22年度	宮古水産高校

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

社会の変化の中で、児童生徒の健やかな成長を支援するため、教員の資質と能力の向上を図るとともに、少人数教育の充実に努めた。

#### 1 特色ある学校づくり

各学校は、児童生徒一人ひとりが在り方生き方を自覚し、将来の目標の設定や自己実現を図ることができるような、魅力ある学校づくりを進める必要がある。

そこで、平成21年度から、家庭、地域と協働して岩手の特色ある産業、文化を支える人材を育成するなど、生徒一人一人の多様な進路実現に向けた学校の取組を支援する「いわて未来創造人サポート事業」を実施している。

#### 2 小規模校の振興

本県のへき地指定校は、平成21年5月1日現在小学校119校、中学校43校となっており、全学校に占める割合は、小学校29.0%、中学校22.5%で、小中学校全体では26.9%となっている。

また、複式学級を有する学校は、小学校140校（34.1%）、中学校10校（5.2%）である。

##### (1) 複式指導資料の作成

へき地・小規模複式指導DVDを作成し、複式学級における学習指導の充実に図った。

##### (2) 複式指導等改善巡回講座の実施

複式学級の特性を生かした学習指導の充実に図るため、県下5地区7会場において、複式学級の実態に即した研修を実施し、指導力の向上を図った。

教育事務所	学校名	期 日	研修内容
盛 岡	盛岡市立上長山小学校	平成21年6月3日	授業、講義、協議、実技指導
大船渡	陸前高田市立矢作小学校	平成21年6月16日	授業、講義・演習、協議
宮 古	山田町立大浦小学校	平成21年6月16日	授業、講義、協議、演習
	岩泉町立釜津田小学校	平成21年6月24日	授業、講義、協議、演習
久 慈	久慈市立来内小学校	平成21年4月27日	授業、講義、協議
	洋野町立林郷小学校	平成21年4月28日	授業、講義、協議
二 戸	軽米町立山内小学校	平成21年6月16日	授業、講話、協議

第2章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第4 教員の適正配置

第4 教員の適正配置

1 教員採用試験の改善等

教員としての資質・能力のみならず、多角的な視点から判断できるような面接試験、論文試験を行っている。

また、実践的、専門的な技術、技芸等を教えることができる人材を確保するため、スポーツ・芸術・社会人特別選考を実施し、学校活性化のための人材の確保に努めた。

2 人事管理の改善

義務教育諸学校においては第6次配置改善計画、高等学校においては第5次配置改善計画により、ティームティーチングや多様な教科・科目の開設など指導方法の改善に伴う加配措置がなされ成果を上げてきた。第7次配置改善計画においては、きめ細やかな指導と基礎学力の向上を図るため、少人数指導を可能にする加配措置がなされた。

また、学級編制については、平成18年度から小学校1年生に35人学級編制を導入し、平成19年度には小学校2年生まで拡大した。平成21年度には、中学校1年生における35人学級編制を導入し、市町村教育委員会の意向を踏まえ選択的に実施した。

3 司書教諭の養成

平成15年4月1日から12学級以上の学校には司書教諭を配置することになったため、計画的な司書教諭の養成に努めた。

【平成21年度図書館司書教諭有資格者数】

小学校	474人
中学校	158人
高等学校	123人
特別支援学校	83人

4 教職員の養成・免許・検定

領域別免許状の保有状況等を勘案し、平成21年度は特別支援学校の教員を対象とした認定講習を開催するなど県として条件整備に努めた。

(1) 免許法認定講習

会場	盛岡市内3会場
期日	平成21年7月27日～8月8日
受講者	120人
単位授与者	120人
開設講座	3講座

(2) 教育職員の免許状授与状況

(右表のとおり)

【教育職員の免許状授与状況(単位:件)】

免許状の種類	平成21年度	平成20年度
授与・再交付・書換え		
普通免許状		
小学校教諭	316	354
中学校教諭	340	382
高等学校教諭	388	447
養護教諭	21	25
特別支援学校教諭	94	109
自立教科教諭(理療)	1	0
特別支援自立活動	2	0
幼稚園教諭	454	478
栄養教諭	49	60
計	1,665	1,855
臨時免許状		
小学校助教諭	8	10
中学校助教諭	6	1
高等学校助教諭	53	54
養護助教諭	1	1
特別支援学校助教諭	3	1
自立教科助教諭(理療)	3	1
幼稚園助教諭	2	1
計	76	69
特別免許状	2	0
再交付・書換え		
再交付	121	190
書換え	272	331
計	393	521
合計	2,136	2,445
免許状授与証明書	389	1,386

## 第5 教員研修の充実

平成21年本県教員のより一層の資質向上と教育課題の解決を図るため、これまでの研修体系を見直し、「授業力向上研修」を中心とする教員のキャリア・ライフステージに沿った新しい研修体系を平成21年度に策定し、研修を実施した。

特に、新学習指導要領の趣旨や内容の徹底を図るとともに、児童生徒の学力向上・健全育成を中心課題として、教員の指導力の向上を図った。

### 1 平成21年度研修実績

#### (1) 管理職研修

[単位：人]

講座名	受講対象	講座内容	日数等	研修者数
校長研修講座	小中学校長	学校管理運営上の諸問題、指導行政上の諸問題研究協議、講話、演習	2 (5会場)	233
副校長研修講座	小中学校副校長	講話、サービス管理上の諸問題説明、実践発表、演習	1 (10会場)	574
新任校長研修講座	小中学校新任校長	指導行政の課題と学校経営、管理職としての心がまえ、新任校長に望む、学校組織マネジメント、教職員のメンタルヘルス、発表と研究協議	2	79
新任副校長研修講座	小中学校新任副校長	副校長の役割、新任副校長に望む、指導行政の重点、教職員のメンタルヘルス、学校組織マネジメント、発表と研究協議、学校経営上の諸問題、サービス規演習、学校事務の概要	4	77
新任校長研修講座	県立学校新任校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、学校経営、教育法規演習、危機管理の在り方、コンプライアンス、新任校長に期待する	3	19
新任副校長研修講座	県立学校新任副校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、学校経営、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、コンプライアンス、新任副校長に期待する	2	21

#### (2) 初任者研修（小学校・中学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数	
初任者研修講座	総合教育センター研修	学習指導要領、年間指導計画の作成、教育相談、学級経営、教科・道徳・特別活動、総合的な学習の時間の意義と進め方、情報モラル 等	I	4	65
			II	4	64
			III	3	64
			宿泊研修	3	65
	教育事務所研修	身分とサービス、教育課程の編成、授業実習と授業研究、課題研修の進め方、社会奉仕体験の心構え 等			
市町村教育委員会研修	各市町村の教育課題、教科・領域授業研究、各実践課題への取組 等				
校内研修	各種教育指導、学級経営、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導、生徒指導の実際 等	300時間程度			

第2章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

(3) 初任者研修（高等学校・特別支援学校、新採用教員対象） [単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等		研修者数
初任者研修	本庁研修	学習指導要領解説、教科・教育の現状と課題、授業参観、授業研究、他校種授業参観	6		56 (高校36、特支20)
	総合教育センター研修	任用・服務、勤務、学習指導、生徒指導、接遇、総合的な学習の時間、ボランティア活動、校務における情報活用、情報モラル、教育相談、授業改善の事例発表 等	教職基礎	2	69
			教科別	4	56
			領域実技Ⅰ	4	55
			領域実技Ⅱ	3	36
			特支一般	3	19
			課題研究	3	55
	宿泊研修	3	54		
所属校研修	基礎的素養、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導 等	300時間程度		56	

(4) 新任教務主任研修（小学校・中学校、新任教務主任対象） [単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	教務主任の役割、教育活動と教育法規、教育課程の編成、高校教育の現状と課題、文書事務等	2	96（小69、中27）

(5) 新任教務主任研修（高等学校・特別支援学校、新任教務主任対象） [単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	教務主任の役割、教育活動と教育法規、特色ある学校づくり、教務課運営の実際、文書事務等	3	25（高校23、特支2）

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第5 教員研修の充実 第6 教員研究等の充実

## 2 平成21年度研修事業受講者一覧（総合教育センター実施分）

### (1) 所属種別研修講座数、研修者数

[単位：人]

講座\所属	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
研修講座数	9	44	53	52	48	206 (延)
研修者数	133	1,853	1,160	1,169	401	4,716

### (2) 所属種別研修講座別研修者数

[単位：人]

研修名	講座名	研修者数										計	
		単 独					合 併						
		幼・保	小学校	中学校	高校	特支	幼・保	小学校	中学校	高校	特支		
基本研修	初任者研修	55	133	125	226	118							657
	教職経験5年研修		76	69	90	16							251
	教職経験10年研修	11											11
	授業力向上研修		911	508	439	130							1,988
	小 計	66	1,120	702	755	264	0	0	0	0	0	0	2,907
特別研修	新任研修	新任者						209	100	52	3		432
		免外等			68								
	養成研修	教科		29	10								427
		領域				142			93	77	62	14	
	地域・専門研修	教科			14								88
		領域					16		28	30			
	派遣研修							9	3	2	1	15	
	小 計	0	29	92	142	16	0	339	210	116	18	962	
希望研修	公開研修	教科		73	52	21			72	6	58	5	788
		領域		21			10	8	199	98	77	88	
	要請研修	1,043	2,797	1,165	952	90							6,047
	随時研修	16	51	37	42	12							158
	小 計	1,059	2,942	1,254	1,015	112	8	271	104	135	93	699	
	総 計	1,125	4,091	2,048	1,912	329	8	610	314	251	111	10,862	

## 第6 教員研究等の充実

県立総合教育センターを中心に、本県教育における重要性・緊急性が高い諸課題について、以下の調査・研究を行った。

### 1 知識・技能の活用を図る学習活動を支援する指導展開例の作成

本県の義務教育の目標は、「基礎・基本の定着を実現していく」ことであり、その実現のためには、知識や技能の習得のみに留まることのない、「活用」という側面を含んだ豊かな学習の展開をする必要がある。

この研究は、県が作成した「活用」に関する指導資料に基づいて、小学校・中学校の指導展開例を作成し、知識・技能の活用を図る学習活動の指導に役立てようとするものである。

## 2 「学力向上」を図るための家庭学習の在り方に関する研究 —「家庭学習の進め方ガイドブック」の作成と活用をとおして—

本県教育の最重要課題である「学力向上」のためには、家庭学習の習慣の定着を図ることが有効である。

この研究は、学習習慣の形成や学び方の習得、授業と家庭学習の連動させ方、学校と家庭との連携の仕方等を明らかにした「家庭学習の進め方ガイドブック」の作成と活用をとおして、児童生徒の「学力向上」に役立てようとするものである。

## 3 実践的な指導力の向上を図るこれからの教員研修の在り方に関する研究

これからの学校は、児童生徒の知・徳・体にわたるバランスの取れた成長を目指し、より一層高い資質能力を備えた教員が指導に当たり、活気ある教育活動を展開する場となる必要がある。

この研究は、このような学校づくりを進めていくために、各学校における日常的・計画的な吸引研修の在り方を明らかにした「教員研修カリキュラム」を掲示し、教員の資質能力の向上に役立てようとするものである。

## 4 「NetCommons®」を用いた情報共有サイトの活用に関する研究 —研究推進、研修推進に係る校務の効率化を目指して—

県内の小・中・高等学校、特別支援学校には、インターネットに接続できるネットワークが整備され、授業や校務への活用が進んでいる。

この研究は、「NetCommons®」を用いた情報共有サイトを構築し、その運用規定および利用マニュアルを作成して活用することにより、学校での研究推進、研修推進に係る校務の効率化を図ろうとするものである。

## 5 事例の見立てに関する一考察

学校不適應の児童生徒への指導・援助にあたっては、チームによる事例の適切な見立てが指導・援助プロセスの中核と位置付けられる。

この研究は、教育センターでの事例検討や、学校でのチーム支援におけるコンサルテーションの内容等を分析することによって、事例の見立て方のポイントを整理し、学校不適應児童生徒への指導・援助における事例の見立て方のモデルの構成を試みようとするものである。

## 6 小学校通常の学級における特別な教育的支援を必要とする児童の支援の在り方に関する研究 —校内での共通理解を促すための研修資料集の作成をとおして—

平成16年度から小学校においては、特別支援教育校内委員会の設置や特別支援教育コーディネーターの指名が行われている。

この研究は、特別な教育的支援を必要とする児童のニーズに応じた指導を行うため、個別の指導計画を活用し指導を行うための方法等について事例をとおして示し、通常の学級における児童の指導の充実を図ろうとするものである。

## 第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

### 第1 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成

学習指導要領の趣旨の確実な周知と理解を図り、移行期間における教育課程を適切に実施するとともに、本実施に向けた効果的な教育課程の編成と実践に向けた指導の在り方を支援し、地域や児童生徒の実態に即した柔軟で特色ある教育を推進するよう努めた。

また、学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした、柔軟で適切な教育課程を編成するために、9年間の義務教育を効果的なものにしていく一つの方策として、小中連携・一貫教育に関する取組への支援を進める状況を整備した。

具体的には、次のとおりである。

- ア 児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することができたこと
- イ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることができたこと
- ウ 教育課程を計画的・組織的に評価し、教育課程の見直しと改善を図ることができたこと

### 第2 学習面における基礎・基本の定着

すべての学習の基盤となる「読み書き計算」、基礎的・基本的な知識や技能、さらには、習得した知識や技能を活用し、自らの人生を切り拓いていくために必要な能力である思考力、判断力、表現力を身に付けさせるよう努めた。

このため、きめ細かな指導を通じて、児童生徒に自信と意欲をもたせるとともに、家庭と連携して学習習慣の確立を図った。

また、少人数教育による児童生徒の実態や状況に応じた柔軟な指導を推進するよう努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の学習面における基礎・基本の確実な定着

##### (1) 学習面における基礎・基本の確実な定着

各種調査により明らかになった課題を解決するための取組の推進

- ・ 授業力の向上・分析力の向上（学習定着度状況調査分析システムの活用）
- ・ 分析結果を活用した授業改善の推進（授業力向上ブラッシュアッププラン）

##### (2) 社会の状況や学校の実態を踏まえ、市町村教育委員会や関係機関などと連携した、少人数教育の推進

## 2 学力・授業力向上の取組

### (1) 学校訪問の趣旨

学習定着度状況調査の分析及び学力向上のための学校訪問指導の結果等から、数学・英語の学力向上について取り組むべき課題が明らかになっている。この対策に早急に取り組むため、学校教育室に「学力・授業力向上担当」を配置し、算数・数学、英語に携わる教員に対して授業力の向上につながる支援を行うとともに、教員一人ひとりが更なる授業改善に取り組み、授業力の向上を図ることによって、各教科の課題解決を目指すものである。

この取組は、平成21年度から23年度までの3年間で集中的に実施している。

### (2) 取組内容

授 業 力 向 上 セ ミ ナ ー
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内各地区の優れた授業実践（数学・英語）や、岩手の教育課題の解決に基づいた授業を紹介するほか、児童、生徒の学力向上に向けた授業力向上のための講義や演習の実施</li> <li>⇒モデル授業＋付箋紙ワークショップ＋講義による半日の研修会が基本</li> <li>⇒平成21年度は、各教育事務所管内において</li> <li>数学：<u>小学校1</u>，<u>中学校1～2</u>，<u>高等学校1</u> 校で実施</li> <li>英語：<u>中学校1～2</u>，<u>高等学校1</u> 校で実施</li> <li>⇒小・中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供</li> </ul>
個 別 訪 問
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【目的】 諸調査から見える県全体の課題解決と、各校の課題に応じた授業改善に向けた個別支援</li> <li>● 【訪問対象校】</li> <li>⇒フォローアップ対象者の所属する学校（※1）</li> <li>⇒訪問を希望する学校（※2）</li> <li>● 【訪問内容】</li> <li>⇒授業参観（1単位時間）の後、指導助言及び授業者と個別相談、教科部会についての協議</li> <li>⇒校長・副校長との生徒の学力向上に向けた情報交換</li> <li>⇒上記のほか、各校の実情や要望を考慮し、指導主事による模擬授業や録画した授業ビデオを使用した研修なども実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>※1 前年度初任研、5年研を受講した教員の所属する学校</li> <li>※2 個人、学校、地教委として希望することも可能</li> </ul>

## (3) 授業力向上セミナー・個別訪問実績

表-1 平成21年度 授業力向上セミナー・個別訪問 実績【2月末現在】

	授業力向上セミナー							個別訪問		
	校種	年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)	参加者(人)			年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)
					小中学校	県立学校	合計			
数 学	中学校	15	13	13	247	36	283	71	85	90
	高等学校	10	10	10	30	93	123	44	45	52
	小学校	10	9	9	265	0	265	0	0	0
	特別支援学校	1	1	1	9	6	15	0	2	2
	計	36	33	33	551	135	686	115	132	144
英 語	中学校	18	18	19	301	30	331	57	61	65
	高等学校	10	10	10	44	109	153	21	19	23
	計	28	28	29	345	139	484	78	80	88

## 第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

すべての教科等を通じて児童生徒の言語活動を充実させ、論理的に思考したり表現する力、人間関係を豊かにする力などをはぐくむよう努めた。

また、児童生徒が自ら将来を考え、希望する進路を実現するために、それぞれの学校において学力向上に取り組むとともに、自立した社会人となるための意識の醸成や、学習に主体的に取り組むための動機付けなどを積極的に推進した。

## 1 進路指導の充実

進路指導は生徒の「人間としての在り方生き方」についての指導、援助であるとともに、個々の生徒の職業的発達を促進し、主体的な進路の選択能力を育て、自己実現に最善の努力ができる人間の育成を図ることにある。このため、次のような点に留意して実施した。

- ① 校内進路指導体制の確立
- ② 年間指導計画の整備
- ③ 生徒理解の強化と生徒の自己理解の深化
- ④ 個人資料及び進路情報資料の収集と整備
- ⑤ 進路指導研修の充実と中・高連携の強化
- ⑥ 中高の望ましい接続のあり方についての研修

## 2 魅力ある学校づくりの推進

各学校が自らの裁量で創意工夫を凝らした様々な活動を通じて、学校の活性化と個性化を推進する事業であり、大学講習など進学指導に関する事業を実施した。

### 【いわて進学支援ネットワーク事業（28校）】

生徒一人ひとりの進路希望の実現とともに、医師、弁護士、高度先端技術分野の研究者や技術者等の、将来の本県を支える人材を育成するために、生徒の医学部等のいわゆる難関大学・学部等への進学希望も実現できるよう、学校の取組を支援した。

## 3 中学生用公立高等学校案内「岩手の高校」Webページの公開

- ① 設置学科等
- ② 本校のめざす生徒像
- ③ 入学者選抜方法について
- ④ 特色ある教育活動
- ⑤ 学校長から一言

### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

#### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

人間としての在り方、生き方について考える力の育成と心の教育の充実を図り、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことのできる力、自然や命あるものを大切に作る心など、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図った。

また、ボランティア活動など様々な体験活動や多様な読書活動に取り組み、物事に主体的にかかわり素直に感動できる豊かな情操を育てるよう努めた。

#### 1 道徳教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成を図った。

教員の指導力向上のため、道徳教育の中核となる指導者養成研修に教員等を派遣し、指導力の向上を図るとともに、道徳教育推進協議会を開催し、学校・家庭・地域社会の道徳教育への理解の推進を図った。

##### (1) 研修事業

- ア 平成21年度道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修）（独立行政法人教員研修センター：茨城県つくば市）  
平成21年6月8日～12日（5日間）指導主事
- イ 平成21年度道徳教育指導者養成研修（ブロック別指導者研修）（福島県福島市）  
平成21年8月4日～6日（3日間）指導主事、教諭（高等学校を含む）

##### (2) 研究推進事業

- ア 道徳教育実践研究事業（文部科学省委嘱事業）

##### ○ 岩手県道徳教育推進協議会

学校教育関係者、学識経験者、保護者、企業関係者、社会福祉関係者、行政関係者18人で構成し、道徳教育の充実のために協議し、提言をまとめた。

会 場	実施期日	人数
盛岡地区合同庁舎	平成21年6月5日	19人
県 庁 舎	平成21年11月13日	18人

##### ○ 各指定校における実践研究の推進（文部科学省委嘱事業）

研究指定校（H20・21） 大船渡市立吉浜小学校、大船渡市立吉浜中学校  
（H21・22） 盛岡市立河北小学校、西和賀町立湯田中学校  
奥州市立姉体小学校、奥州市立東水沢中学校

##### イ 児童生徒の心を耕す教育推進事業

中央指導者研修、ブロック別指導者研修への派遣研修者を活用し、授業研究会、理論研究会、教材研究の場等への講師を派遣することにより、道徳教育の質の向上を図った。

## 2 体験活動・読書活動の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした豊かな体験活動や読書活動を推進した。

### (1) 体験活動の状況

豊かな体験活動推進事業を中心とした効果的な体験活動の教育活動への位置付けと多様な推進方策についての情報提供を図るとともに、各学校においては、地域や学校の特色を生かした体験活動への取組を進めた。

文部科学省指定（文部科学省委嘱事業）

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名
豊かな体験活動推進事業 [平成21年度]	盛 岡	一方井小、御明神小、吉ヶ沢小
	花 巻	宮守小
	宮 古	田野畑小、沼袋小、羅賀小、机小、浜岩泉小、島越小
	久 慈	戸呂町小 大川目小

### (2) ボランティア教育・環境教育の状況

福祉活動や環境保護などボランティア教育に対する理解と関心を高め、社会貢献の精神を育てるとともに、児童生徒の豊かな人間性を育み、自らの生き方を主体的に考える態度の育成を図る教育を推進した。

#### ① ボランティア教育

ほぼ全ての小・中学校でボランティア活動が実施されており、特に、地域における清掃活動や募金活動を実施する学校が増えてきた。老人施設・福祉施設・特別支援学校等での交流活動や介護体験、キャップハンディー体験等を、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動に積極的に取り入れ、体験的な学習としてボランティア活動に取り組むことが広まっている。

- ・社会福祉協議会等関係機関との連携による、ボランティア教育の推進

- ・県社会福祉協議会指定により市町村社会福祉協議会で実施する「地域で育む福祉教育推進モデル事業」における、学校と関係諸団体の協働による地域型福祉教育の推進

※ 平成20年度指定地域4か所（北上市、奥州市、大船渡市、宮古市）

#### ② 環境教育

かつてない広がりや複雑さをもって環境問題が顕在化している現状を踏まえ、将来を生きる児童生徒が、この問題に関する正しい理解を深め、環境保全に参加する態度及び問題解決能力などを身に付け、責任をもって環境を守るための行動ができるよう指導を行った。

### (3) 読書活動の状況

読書活動については、学校図書館担当者研修を実施し、児童生徒の読書活動を支援し、より豊かなものとしていくための環境整備に努めた。

- ・花巻、北上、釜石、二戸教育事務所管内において学校図書館担当者の研修を実施

- ・平成16年3月に策定された、子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境作りを進めるための「いわて子ども読書プラン」に基づく読書活動を推進

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

#### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進 第2 生活面における基礎・基本の充実

### 3 幼児教育の推進

幼稚園教育要領に基づく教育の充実のために、幼稚園教育課程説明会を開催するとともに、中央協議会への参加を支援し、幼稚園教育要領の理解を推進した。

また、教員の資質の向上を図るため、幼稚園等新規採用教員研修、教職経験者10年研修、各種協議会の内容を充実させるとともに、「岩手の幼稚園教育」を発刊した。

#### (1) 幼稚園等新規採用教員研修（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

区分	会場	実施期日	参加人数		
			公立	私立	合計
センター研修Ⅰ	総合教育センター	平成21年6月3日～6月4日	9	13	22
センター研修Ⅱ	総合教育センター	平成21年7月22日～7月24日	9	10	19
センター研修Ⅲ	総合教育センター	平成21年10月20日～10月22日	8	6	14

#### (2) 幼稚園教職経験者10年研修（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

会場	実施期日	参加人数		
		公立	私立	合計
総合教育センター	平成21年8月5日～8月7日	3	8	11

#### (3) 幼稚園教育研究協議会（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

会場	実施期日	参加人数				
		国公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成21年8月17日	70	54	20	8	152

### 第2 生活面における基礎・基本の充実

家庭や地域社会における教育力を生かし、学校、家庭、地域と連携・協働した教育を充実させ、児童生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を推進した。

#### ○ 生活面における基礎・基本の充実

学習定着度状況調査等における児童生徒質問紙調査の生活習慣や家庭での生活に関する内容の結果を分析・検証し、各学校に情報提供するとともに、県PTA連合会との連携を図り、家庭や地域との一体となった取組に努めた。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

#### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

家庭教育、体験や経験を通して身につける社会生活を営むためのルールや規範意識、コミュニケーション能力の低下により、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校、中途退学などの学校不適応の問題が大きな教育問題となっている。

平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の調査（文部科学省）によると、暴力行為の発生件数は146件で前年度から21件増加した。一方、いじめの認知件数は438件であり、前年度に比べ3件減少した。不登校児童生徒の状況については、小学校137人、中学校847人、高等学校507人であり、中学校では不登校の比率が大幅に減少したが、高等学校では平成20年度から増加傾向を示している。また、中途退学者は、平成19年度から減少傾向にあり、平成21年度は386人と前年度から50人減少した。

本県の児童生徒は、全国と比較すると概ね落ち着いた状況にあるが、これらの問題の解決のためには、学級経営、学級集団づくりを充実させ、一人ひとりの児童生徒にしっかりと向き合い自己実現を支援することが必要である。また、不適応傾向をもつ児童生徒に対しては学校全体で情報を共有し、チームによる指導、援助を行っていくとともに、関係機関との日常的な連携の強化、就学後の福祉サイドからのサポートなどの親への支援、家庭を孤立させない地域コミュニティの確立を通して、学校不適応を解消する組織的、広域的な取組が必要である。

#### 1 高等学校生徒指導連絡協議会（主催：岩手県教育委員会）

【期 日】平成21年5月7日～5月22日

【会 場】地区別9会場

【参加者】校長、教員、在学青少年指導員 178人

#### 2 児童生徒の表彰

県内各学校の児童生徒を対象に、他の模範となる行為や活動を表彰することにより、児童生徒の社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など学校教育の一層の充実に資するため、昭和60年度から児童生徒の表彰を実施している。

平成21年度の表彰は次のとおりであり、計30個人・団体を表彰している。内訳は、善行表彰が2、奨励表彰が26、努力表彰が2であり、小学校が4（個人3、団体1）、中学校が7（個人3、団体4）、高校が19（個人15、団体4）である。

平成21年度第1回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	区分	所属・表彰受賞者	内容
1	善行 (消化活動)	中学校 団体	北上市立北上中学校 3年 高橋 真理絵 3年 大河原 沙都 3年 大沼 愛 3年 小林 瑞生 2年 金森 拓朗	平成21年2月16日朝、登校途中に遭遇した住宅火災に際し、5人の協力により早期通報、初期消火、消防自動車の誘導等を行い、被害を最小限に食い止め、北上地区消防組合から感謝状を受けた。
2	奨励 (文化活動)	中学校 団体	住田町立世田米中学校 特設木工部	日本木材青壮年団体連合会主催第33回全国児童・生徒木工工作コンクールにおいて林野庁長官賞を受賞した。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

#### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

3	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	大船渡高等学校 1年 菅野 迪子	全国漁業協同組合主催第31回全国海の子絵画展において農林水産大臣賞を受賞した。
4	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	福岡高等学校 3年 下斗米 美菜	第33回全国高等学校総合文化祭書道部門において奨励賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	高等学校 団体	盛岡第二高等学校 箏曲部	第33回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門において文部科学大臣賞を受賞した。
6	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	宮古高等学校 3年 山根 由絹	第20回全国高等学校選抜ボート大会女子シングルスカルにおいて第2位に入賞した。
7	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	久慈工業高等学校 3年 水上 貴史	第24回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会男子105kg級において第2位に入賞した。

### 平成21年度第2回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	区分	所属・表彰受賞者	内容
1	善行 (奉仕活動)	高等学校 団体	東和高等学校 生徒会	昭和44年から年に1回清掃遠足による地域奉仕活動を実施してきた。平成21年度国土交通大臣から感謝状を授与された。
2	奨励 (文化活動)	小学校 個人	盛岡市立青山小学校 2年 上野 留那	第59回全国小・中学校作文コンクール小学校低学年の部において、読売新聞社賞を受賞した。
3	奨励 (文化活動)	小学校 個人	大槌町立安渡小学校 5年 阿部 仁美	第34回「ごほん・お米とわたし」作文・図画コンクール図画部門において、文部科学大臣賞を受賞した。
4	奨励 (文化活動)	小学校 個人	奥州市立木細工小学校 5年 菊池 優作	第24回国民文化祭・しずおか2009文芸祭現代詩小学生の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	小学校 団体	二戸市立石切所小学校 マーチングバンド	第28回全日本小学校バンドフェスティバルにおいて、金賞を受賞した。
6	奨励 (文化活動)	中学校 個人	岩手大学教育学部附属 中学校 1年 三船 恭太郎	第59回全国小・中学校作文コンクール中学校の部において、読売新聞社賞を受賞した。
7	奨励 (文化活動)	中学校 個人	北上市立上野中学校 2年 朴 志海	JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2009中学生の部において、外務大臣奨励賞を受賞した。
8	奨励 (文化活動)	中学校 団体	岩手大学教育学部附属 中学校 科学部	第53回日本学生科学賞中学校共同の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
9	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	岩手高等学校 2年 中川 慧梧	第22回全国高等学校将棋竜王戦及び第18回全国高等学校文化連盟将棋新人大会において、優勝した。
10	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	花巻北高等学校 3年 佐野 結菜	第24回全国高等学校文芸コンクール小説部門において、最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
11	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	盛岡第二高等学校 3年 浅田 李子	第24回全国高等学校文芸コンクール詩部門において、最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
12	奨励 (文化活動)	高等学校 団体	盛岡第三高等学校 文芸部	第24回全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門において、最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞した。
13	奨励 (文化活動)	高等学校 団体	宮古水産高等学校 水産物有効利用研究 班	第18回全国水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会において、文部科学大臣奨励賞及び水産庁長官賞を受賞した。
14	奨励 (スポーツ)	中学校 個人	宮古市立新里中学校 2年 大洞 亮輔	第40回ジュニアオリンピック陸上競技大会男子クラスB走幅跳において、第2位に入賞した。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

#### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

番号	項目	区分	所属・表彰受賞者	内容
15	奨励 (スポーツ)	中学校 団体	盛岡市立見前南中学校 陸上競技部 男子4×100mリレーチ ーム	第36回全日本中学校陸上競技選手権大会男子4×100mリレー において、第2位に入賞した。
16	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	山田高等学校 3年 田村 詩織	第64回国民体育大会ボート競技少年女子ダブルスカルにおい て、第2位に入賞した。
17	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	宮古高等学校 3年 山根 由絹	第64回国民体育大会ボート競技少年女子ダブルスカルにおい て、第2位に入賞した。
18	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	盛岡となん支援学校 高等部1年 武田 さち恵	第9回全国障害者スポーツ大会陸上競技ジャベリックスローに おいて、金メダルを受賞した。
19	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	盛岡視覚支援学校 高等部2年 千葉 凌	第9回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技におい て、銀メダルを受賞した。
20	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	盛岡峰南高等支援学校 2年 矢本 裕紀	第9回全国障害者スポーツ大会卓球競技において、銀メダルを 受賞した。
21	努力 (文化活動)	高等学校 個人	盛岡視覚支援学校 高等部1年 立石 文雄	第24回障害者による書道・写真全国コンテスト書道部門におい て、銀賞を受賞し、生徒の模範となり、周囲に感動を与えた。
22	努力 (文化活動)	高等学校 個人	盛岡視覚支援学校 高等部1年 佐々木 幸輔	第24回障害者による書道・写真全国コンテスト書道部門におい て、金賞を受賞し、生徒の模範となり、周囲に感動を与えた。
23	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	平舘高等学校 3年 新里 尚子	平成21年度全国高等学校総合体育大会第59回全国高等学校スキ ー大会アルペン競技女子スラロームにおいて準優勝した。

3 教育相談

平成21年度の相談受理件数は369件、延べ相談件数は1,475件であった。うち、電話相談が1,093件、来所しての面接相談が382件である。

相談受理件数を内容別に見ると、小・中・高いずれの校種も「性格・行動に関すること」が最も多く、全体で247件と66.9%を占めた。次いで、「家庭教育一般に関すること」が40件(10.9%)となっている。主訴別の相談件数では「集団不適応」が85件と多く、「集団になじめない」「教室に入れない」子どもたちの姿が浮かび上がってくる。

不登校の校種別の相談件数は、中学校が31件(47.7%)で最も多くなっている。さらに学年別に見ると中学校では3年生が最も多く、小学校は6年生の相談が多かった。また、不登校の性別の相談件数は、各校種とも男子、女子ほぼ同数であるが、高校では男子が多い。

平成21年度の「いじめ相談電話・メール」での相談受理件数は、電話は63件、メールは18件である。いじめの被害を訴える相談件数は、電話相談では42件(67%)、メール相談では6件(33%)である。

(1) 内容別・校種別相談件数

[単位：件、( )内は%]

内容	就学前	小学校	中学校	高等学校	その他	計(割合)
知能・学業に関すること	0	10	5	4	1	20 (5.4)
性格・行動に関すること	0	93	91	61	2	247 (66.9)
性に関すること	0	0	1	1	0	2 (0.5)
進路・適性に関すること	0	2	3	7	5	17 (4.6)
精神衛生に関すること	0	3	1	7	0	11 (3.0)
家庭教育一般に関すること	2	22	8	7	1	40 (10.9)
その他	0	9	7	5	11	32 (8.7)
計(割合)	2(0.5)	139(37.7)	116(31.4)	92(25.0)	20(5.4)	369(100.0)

(2) 主訴別相談件数

[単位：件、( )内は%]

主訴	件数(割合)
不登校	65 (17.6)
集団不適応	85 (23.0)
情緒障がい	4 (1.1)
進路相談	37 (10.0)
神経症・同疑い	7 (1.9)
いじめ	10 (2.7)
家庭教育	40 (10.9)
生活指導	32 (8.7)
対人関係	24 (6.5)
交友関係	31 (8.4)
家庭内暴力	0 (0.0)
その他	34 (9.2)
計	369(100.0)

(3) 校種別・性別不登校相談件数

[単位：件]

校種	性別		計
	男	女	
就学前	0	0	0
小学校	7	7	14
中学校	15	16	31
高校	12	8	20
その他	0	0	0
計	34	31	65

(4) 学年別不登校相談件数

[単位：件]

学年	件数	
小1	0	14
小2	1	
小3	1	
小4	3	
小5	3	
小6	6	
中1	6	31
中2	11	
中3	14	
高1	13	20
高2	6	
高3	1	
その他	0	0
計	65	65

## 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

### 第1 体力向上や運動に親しむ態度の育成

体力・運動能力調査を適切に実施し、各学校の現状と課題を的確に捉えた支援や運動部活動の活性化を図るために、地域スポーツ人材の活用や指導主事の学校訪問指導等に取り組むとともに、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めた。また、家庭や地域との連携により、運動に親しむ態度を育成し、運動の習慣化が図られるように努めた。

#### 1 岩手っ子体力アップ運動

##### (1) 健やかな体の育成に関する「まなびフェスト」目標設定校及び実施割合

[単位：校、%]

	対象校数	実施校数	実施割合
小学校	407	371	91.2
中学校	190	133	70.0
合計	597	504	84.4

##### (2) 指導主事兼保健体育主事等の学校訪問指導

実施回数……小学校239回、中学校152回、合計391回

##### (3) 地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業

###### ア 公立小学校体育実技アシスタント派遣事業

(ア) 派遣期間……平成21年6月～平成22年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……63人

(ウ) 派遣校数……58校

###### イ 中学校・高等学校運動部活動地域スポーツ人材派遣事業

(ア) 派遣期間……平成21年7月～平成22年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……67人

(ウ) 派遣校数……67校

###### ウ 中学校武道・ダンス地域スポーツ人材派遣事業

(ア) 派遣期間……平成21年7月～平成22年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……6人

(ウ) 派遣校数……8校

##### (4) 小学校体育ステップアップ講習会

ア 期 日……平成21年6月～8日

イ 会 場……盛岡市、一関市、宮古市、二戸市

ウ 参加者……小学校教員75人

## 第2 健康教育の充実

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うため、学校保健・学校安全活動や食育などを充実させるとともに、家庭や地域と連携し望ましい生活習慣の確立に努めた。

## 1 学校保健

## (1) 保健教育の充実及び保健管理の徹底

## ア 学校保健計画の立案、実施の徹底

学校保健においては、保健教育と保健管理の活動を適切に行うことによって、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育目標の達成に寄与することとし、児童生徒自らの意思決定により健康な生活が実践できるよう健康教育を推進した。

また、学校保健を組織的に推進するために、教職員の協力体制を確立し、家庭や地域の関係機関との連携を図った。

## イ 関係機関団体等との連携及び学校保健組織活動の充実

## (ア) 学校内の組織の設置促進と活動の充実

- ・学校保健委員会の活動
- ・児童生徒保健委員会の活動促進

## (イ) 関係機関団体との連携

- ・岩手県医師会学校医部会
- ・岩手県歯科医師会全学校歯科医会
- ・岩手県薬剤師会全学校薬剤師会
- ・岩手県学校保健会
- ・岩手県学校保健会養護教諭部会
- ・岩手県学校保健会高等学校部会
- ・岩手県高等学校教育研究会学校保健部会

## (2) 岩手県学校保健功労者表彰

1	三浦 義孝	学校医	岩手県医師会
2	栃内 明啓	学校歯科医	岩手県歯科医師会
3	宮澤 護	学校医	雫石町学校保健会
4	照井 良彦	学校医	花巻市学校保健会
5	根本 薫	学校医	北上市学校保健会
6	岡本 潤一	学校歯科医	奥州市学校保健会
7	金沢 純一	学校歯科医	平泉町学校保健会
8	熊谷 玲子	学校薬剤師	大船渡市学校保健会
9	浦辺 堅次	学校医	山田町学校保健会
10	大関 哲郎	学校医	洋野町学校保健会
11	小保内 みつゑ	学校薬剤師	二戸市学校保健会
12	金澤 源一	学校医	岩手県学校保健会高等学校部会
13	櫻田 妙子	元養護教諭	岩手県学校保健会養護教諭部会
14	三浦 義孝	学校医	岩手県医師会

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

#### 第2 健康教育の充実

### (3) 健康教育指定校の実践

花巻市立若葉小学校（歯・口の健康づくり推進事業〔日本学校歯科医会〕）

## 2 学校安全

学校管理下における児童生徒の災害は、毎年約1万件も発生し、これらの学校災害の防止と後を絶たない交通事故の防止に加え、学校への不審者侵入や通学路での連れ去り、声かけといった犯罪に対する安全確保を図るため、安全指導、安全管理の推進、充実が重要な課題となっている。

独立行政法人日本スポーツ振興センター仙台支所が調査した平成21年度の学校管理下における児童生徒の災害発生件数は右表のとおりとなっており、以下の事業を通して児童生徒の事故、災害の防止を図り、学校における安全教育の充実に取り組んだ。

【災害発生件数】 [単位：件、%]

区分	発生件数	発生率
幼稚園・保育所	438	1.16
小学校	3,252	4.44
中学校	4,052	10.29
高等学校	2,677	6.43
高等専門学校	16	1.85
計	10,435	5.41

### (1) 学校安全関係職員研修

[単位：人]

研修の名称	期日	場所	参加者数[内訳]
学校安全指導者養成研修	平成21年6月17日～19日	茨城県つくば市	4 [小1、中1、高1、指導主事1]
交通安全教育指導者講習会	平成21年6月23日	盛岡市	87 [小4、中1、高78、特4、]
防犯教室講習会	平成21年7月14日	盛岡市	74 [幼4、小19、中10、高25、特7、他9]
防災教育研修会	平成21年6月29日	宮古市	53 [小27、中12、高12、特2]

### (2) 学校安全優良校の表彰

北上市立成田小学校  
久慈市立久慈湊小学校  
一関市立舞川幼稚園  
認定こども園松の丸幼稚園・まつのまる保育園

### (3) 学校災害防止研究協力校（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

矢巾町立矢巾中学校  
岩手県立盛岡南高等学校

## 3 食育・学校給食

各学校への食育担当者の設置を推進してきた結果、平成20年度から全ての小中学校に食育担当者が設置され、食育推進のための校内体制ができた。

学校給食については、学校給食衛生管理の基準に基づいた衛生管理の徹底を図るとともに、学校給食施設・設備（ドライシステム）の整備促進に努めた。また、関係職員の資質向上を図るため、各種研修会、講習会を開催し、給食指導、食事内容の充実及び安全、衛生管理の充実に努めた。

第2章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実

(1) 学校給食の実施状況（平成21年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区 分	完全給食		補食給食		ミルク給食		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	389 (95.1)	69,966 (96.6)	12 (2.9)	1,444 (2.0)	8 (2.0)	1,053 (1.4)	409 (100)	72,410 (100)
中学校	152 (79.5)	27,867 (72.9)	5 (2.6)	827 (2.2)	34 (17.8)	9,504 (24.9)	191 (100)	38,198 (100)
夜間定時制 高等学校	3 (100)	133 (100)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (100)	133 (100)
特別支援学校	11 (78.6)	1,030 (83.3)	— (—)	— (—)	3 (21.4)	207 (16.7)	14 (100)	1,237 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校、夜間定時制高等学校及び特別支援学校は県立学校分

(2) 調理方法別の完全給食の実施状況（平成21年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区 分	単独調理方式		共同調理方式（69か所）		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	75 (19.3)	21,908 (31.3)	314 (80.7)	48,091 (68.7)	389 (100)	69,999 (100)
中学校	7 (4.6)	1,577 (5.7)	145 (95.4)	26,125 (94.3)	152 (100)	27,702 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

(3) 米飯給食の実施状況（平成21年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区 分	自校（共同調理場）炊飯		委託炊飯		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	130 (33.4)	22,966 (32.8)	259 (66.6)	47,000 (67.7)	389 (100)	69,966 (100)
中学校	35 (23.0)	7,031 (25.4)	117 (77.0)	20,658 (74.6)	152 (100)	27,689 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

(4) 栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員配置状況（平成21年5月1日現在） [単位：人]

区 分	(給与負担)	職員数			
		単独調理方式	共同調理方式	教育委員会	計
栄養教諭	(県 費)	15	24	1	40
学校栄養職員	(県 費)	18	51	—	69
	(市町村費)	21	14	6	41
(計)		(54)	(89)	(7)	(150)
調理員	(市町村費)	234	390	—	624

注：国立、私立、県立学校を除く本採用職員のみ、調理員は常勤職員のみ

第2章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実 第3 指導者の資質・授業力向上

(5) 学校給食費の状況（保護者負担額、平成21年5月1日現在） [単位：円、回]

区分	1食あたり平均単価	平均月額	年間実施予定回数
小学校	255	4,050	175
中学校	292	4,599	173

注：小学校は中学年（3・4年）分

(6) 学校給食優良学校等表彰

奥州市立水沢区中学校給食センター

(7) 学校給食功労者表彰

軽米町立学校給食調理場 主任学校栄養職員 大村 孝子

第3 指導者の資質・授業力向上

学校の教育活動全体を通じて「生きる力」の基礎となる健やかな体をはぐくむため、中核となる体育、食育、健康教育などを担当する指導者の資質や授業力向上を図った。

1 学校体育関係職員の研修

[単位：人]

No.	研修会名 [内容]	期 日	会 場	参加者数
1	小学校体育実技指導者講習会 [基本の運動、体づくり運動、陸上運動、ボール運動]	平成21年6月10日～11日	盛岡市	小学校教員 46
2	中・高等学校体育実技指導者講習会 [体づくり運動、ダンス、柔道、ゴール型（ハンドボール）、バールボール型（ソフトボール）]	平成21年9月8日～9日	盛岡市	中学校教員 67 高校教員 68
3	地区別小学校体育実技講習会	平成21年6月～8月	各教育事務所管内	小学校教員330
4	運動部活動指導者研修会 [バスケットボール、軟式野球]	平成21年8月25日～26日	盛岡市	中学校教員 51 高校教員 6
5	子どもの体力向上指導者養成研修 [体づくり運動、器械運動系、水泳系、ボール運動系（以上、小学校）体づくり運動、陸上競技、ゴール型（ハンドボール）、バールボール型（ソフトボール）、ダンス、柔道（以上、中学校・高校）]	平成21年5月26日～29日	青森市	小学校教員 9 中学校教員 8 高校教員 4
6	第48回全国学校体育研究大会島根大会	平成21年11月10日～11月	松江市	小学校教員 5 中学校教員 1 高校教員 2
7	国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業研究協議会	平成22年2月3日～4日	東京都	小学校教員 9 中学校教員 11 高校教員 6

第2章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第3 指導者の資質・授業力向上

2 学校保健関係職員の研修

(1) 県内

[単位：人]

No.	研修名	期日	場所	参加者数[内訳]
1	薬物乱用防止教育研修会	平成21年6月10日	盛岡市	44[小17、中17、高8、私立2]
2	学校保健講習会兼エイズ教育指導者講習会	平成21年9月10日	盛岡市	51[小18、中16、高15、特2]
3	養護教諭研修会	平成21年8月10日～12日	盛岡市	39[小21、中13、高5]
4	第45回岩手県学校健康教育研究大会	平成22年1月8日	盛岡市	342

(2) 県外

[単位：人]

No.	研修名	期日	場所	参加者数
1	全国学校保健研究大会	平成21年11月10日～11日	広島県広島市	4
2	健康教育指導者養成研修（推進コース）	平成21年12月14日～16日	茨城県つくば市	4[小2、中1、高1]
3	健康教育指導者養成研修（専門コース）	平成21年12月14日～18日	茨城県つくば市	4[小2、中1、高1]

3 学校安全関係職員研修

本節第2の2(1)を参照。(p.48)

4 学校給食関係職員の研修

[単位：人]

No.	主催	研修会名	期日	会場	参加者数
1	文部科学省	第1回食育推進交流シンポジウム	平成21年6月24日	東京都	1
2		全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成21年8月6日～8月7日	北海道	22（発表者1司会者1）
3		全国学校給食研究協議大会	平成21年11月26日～11月27日	滋賀県	6
4	独立行政法人教員研修センター・文部科学省[共催]	食育指導者養成研修(栄養教諭コース)	平成21年9月15日～9月18日	茨城県	3
5	日本スポーツ振興センター	食の安全に関する調理員講習会	平成21年8月4日～8月5日	東京都	3 発表者1
6		食の安全に関する講習会	平成21年9月28日～9月29日	東京都	2
7		食の安全に関する実技講習会	平成21年10月5日～10月7日	東京都	1
8	岩手県	衛生管理推進等研修会	平成21年6月3日	盛岡市	72
9		食育推進研究会・栄養教諭等研修会	平成21年9月4日	盛岡市	93

第2章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第3 指導者の資質・授業力向上

10	(社)全国学校栄養士協議会岩手県支部・岩手県[共催]	岩手県栄養教諭・学校栄養職員研修会	平成21年6月26日	盛岡市	123
11		岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成21年12月4日	盛岡市	132
12	岩手県学校給食会・岩手県[共催]	学校給食調理講習会	平成21年7月28日 ～7月29日	盛岡市	延べ82
13		学校給食調理コンクール	平成22年1月6日	盛岡市	(8チーム) 24

## 第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

### 第1 「就学指導」から「就学支援」へ

平成18年度に県保健福祉部と合同で設置した「発達障がい者支援体制整備検討委員会・広域特別支援連携協議会」において、各校種間、各機関の連携を促進するための取組について検討を進めてきた。

同協議会による答申の「岩手県における今後の特別支援教育の在り方」を受けて、「いわて特別支援教育推進プラン」を平成21年12月に策定・公表し、プランの理念である「共に学び、共に育つ教育」の推進を図った。

#### 1 「就学支援」に関する研究

早期からの支援と連携した就学指導の在り方について研究し、「支援ファイル」を活用した就学指導に関するガイドラインを示した。

#### 2 継続型訪問支援の実施

特別支援学校が地域の幼稚園・保育所を継続的に訪問し、OJT方式で行う指導法等に関する相談や支援を52ケース実践した。

### 第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実

#### 1 特別支援学級等の設置の促進

地域のニーズに応じた小、中学校への通級指導教室や特別支援学級の設置を促進した。

#### 2 特別支援学校による相談、研修等の支援

各特別支援学校のセンター的機能により地域の幼稚園、保育所、小、中学校、高等学校等への相談や研修等への支援が進められた。

#### 3 個別の指導計画作成促進のための研修資料の作成

積極的な校内研修を推進し、個別の指導計画の作成を促進するため、小学校向け研修資料（DVD）を作成し、小学校全校に配布した。

#### 4 発達障がい圏域研修会の実施

県発達障がい者支援センターとの共催により、主に幼児期において障がい等のある子どもへの対応を機関及び養育者を対象とした研修会を県内9箇所（盛岡、北上、奥州市、一関、陸前高田市、釜石、宮古、久慈市、二戸市）において実施した。

#### 5 いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業の継続実施

県単独事業により、小、中学校（5校）、県立高等学校（11校）、県立特別支援学校（8校）へ特別支援教育支援員を配置し、指導及び相談支援の充実を図った。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

#### 第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実 第3 特別支援教育の理解促進

#### 特別支援教育支援員の配置状況

小、中学校	遠野市立附馬牛小学校、金ヶ崎町立永岡小学校、岩泉町立大川小学校、洋野町立帯島小学校、九戸村立戸田小学校
県立高等学校	盛岡農業高等学校、平舘高等学校、雫石高等学校、紫波総合高等学校(3)、大迫高等学校、遠野緑峰高等学校、遠野高等学校情報ビジネス校、西和賀高等学校、釜石商工高等学校、宮古北高等学校、宮古水産高等学校、久慈高等学校長内校、福岡高等学校(定時制)
県立特別支援学校	盛岡みたけ支援学校奥中山校、花巻清風支援学校、前沢明峰支援学校、一関清明支援学校、気仙光陵支援学校、釜石祥雲支援学校、宮古恵風支援学校、久慈拓陽支援学校

### 第3 特別支援教育の理解促進

#### 1 特別支援教育支援員の研修

市町村等で配置した特別支援教育支援員等の資質向上と障がいへの理解推進を図った。

#### 特別支援教育支援員の研修会開催状況

開催年月日	開催場所	受講者数
平成21年8月4日(火)	水沢グランドホテル	43名
平成21年8月7日(金)	あえりあ遠野	33名
平成21年8月17日(月)	サンセール盛岡	82名

#### 2 特別支援教育理解啓発事業

「共に学び、共に育つ教育」の理念の理解を広めるため、パンフレットを作成・配布するとともに、研修会を開催した。

#### 3 特別支援教育ボランティアの育成と活用

特別支援教育ボランティア養成講座を3地区(盛岡、花巻、久慈)の特別支援学校で実施した。また、修了者が登録するボランティアバンクの周知と活用を図った。

#### 特別支援教育ボランティア養成講座の開催状況

開催年月日	開催場所	受講者数
平成21年8月24日～12月8日(8回)	盛岡となん支援学校 他	17名
平成21年7月23日～10月31日(8回)	花巻清風支援学校 他	8名
平成21年7月22日～9月30日(8回)	久慈拓陽支援学校 他	7名

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

#### 第4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

#### 4 特別支援学校におけるセンター機能の充実

特別支援学校が地域の小、中学校等に対して、指導内容・方法等の助言や、相談や研修に関する支援を積極的に行った。

また、このセンター的機能を充実させるため、担当教員を補助する非常勤職員を配置した。

#### 第4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

##### 1 公的機関における職場実習の受け入れ

県雇用対策・労働室、障がい保健福祉課との連携事業の実施により、県庁内で8名の実習生を受け入れた。

##### 2 関係機関との連携

労働局、障がい者職業センターと共催で「就労支援セミナー」を3校で開催するなど、関係機関と連携を図った。

##### 3 啓発リーフレットの作成

雇用及び職場実習先の開拓のため、事業所向けの啓発リーフレットを作成し、学校の進路指導を支援した。

## 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

### 第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

#### 1 県立高等学校新整備計画

##### (1) 概要

国際化、情報化、少子高齢化等著しい社会の変化に主体的に対応できる人材の育成が求められていることから、県立高等学校長期構想検討委員会（船越昭治委員長）の報告をもとに、生徒が活力ある環境の中で、一人一人の個性・能力を最大限に伸ばせるような学習環境を構築する観点から、平成12年度以降10年間を見通した学校・学科の適正な配置等について慎重に検討を進め、平成12年1月に「県立高等学校新整備計画」として、平成12年度から16年度（前期）の学校別の計画並びに平成17年度から21年度（後期）の計画のたまかな見通しを示した。

平成17年度から21年度の後期計画の策定では、平成16年1月に「県立高等学校新整備計画後期マスタープラン」として基本的な方針を示した後、8月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）案」、平成17年1月に調整案、6月に再調整案を公表し、各段階において、パブリックコメントを実施したほか、各地で意見を聴く会や出前説明会などを重ね、7月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）」を策定・公表した。

後期計画では、学科改編を含む学級数の取扱いは、中学校卒業予定者数の状況、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案して毎年度調整するものとし、小規模校等の統合は、一定の基準を設けて実施することとした。

平成20年度においては、

- ・花巻北高校と東和高校を統合して花巻北高校とし（東和高校は平成21年度末まで存続）、
- ・水沢高校と胆沢高校を統合して水沢高校とし（胆沢高校は平成21年度末まで存続）、
- ・高田高校と広田水産高校を統合して高田高校とし、
- ・大船渡農業高校と大船渡工業高校を統合して大船渡東高校とし、
- ・釜石南高校と釜石北高校を統合して釜石高校とするともに、
- ・遠野高校情報ビジネス校、宮古高校川井校、久慈高校山形校の3分校を本校に統合し（3分校とも平成21年度末まで存続）、
- ・久慈高校長内校を昼間部と夜間部の多部制高校とし、
- ・浄法寺高校を福岡高校の分校とし、それぞれ新たな校史を刻み始めている。

また、後期計画が平成21年度をもって終了することに伴い、今後も続く生徒減少や社会情勢の変化に対応した県立高等学校の方向性を検討する必要があることから、平成20年4月に外部有識者を委員とする「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、県立高等学校新整備計画の検証と今後の県立高等学校の在り方について検討を要請した。平成21年3月までに同委員会を5回開催し、検討を重ねている。

##### (2) 全体計画（平成12年1月24日公表、平成17年7月19日後期計画により変更）

年度	中学校卒業 予定者数（人）	高等学校設置学級数 （学級）			高等学校数 （校）	
		うち普通科	専門学科	総合学科		
11	18,440	368	229	134	5	83

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

17	14,857	301	177	91	33	77
21	13,797	266	159	75	32	61～68

(3) 後期計画の総括表（平成17年7月19日公表）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総合的な専門高校				<input type="checkbox"/> 高田(商業科)・広田水産(家政科)・大船渡農・大船渡工[統合]	<input type="checkbox"/> 釜石工・釜石商[統合]
普通科と専門学科併設高校		<input type="checkbox"/> 大東・大原商[統合]	<input type="checkbox"/> 藤沢・千厩[統合]	<input type="checkbox"/> 高田(普通科)・広田水産(水産科)・住田(※)[統合]	
総合学科高校	<input type="checkbox"/> 一戸[改編]				<input type="checkbox"/> 岩谷堂・岩谷堂農林[統合]
普通高校				<input type="checkbox"/> 釜石南・釜石北[統合] <input type="checkbox"/> 花巻北・東和[統合] <input type="checkbox"/> 水沢・胆沢[統合] <input type="checkbox"/> 遠野・情報ビヅネ[統合] <input type="checkbox"/> 宮古・川井[統合] <input type="checkbox"/> 岩泉・田野畑[統合] <input type="checkbox"/> 久慈・山形[統合]	<input type="checkbox"/> 伊保内・福岡・浄法寺[統合]
定時制(多部制・単位制)				久慈ブロック	
	<input type="checkbox"/> 胆江ブロックにおいてもできるだけ後期計画中に整備に努める。				
中高一貫教育校コミュニティ・スクール	<input type="checkbox"/> 新しいタイプの学校である、中等教育学校・併設型中高一貫教育校やコミュニティ・スクールについては、継続して検討する。				

※ 住田高校については、県の中高一貫教育に関する検討委員会の検討結果等を踏まえ、別途検討する。

【学級数の取扱いについて】

学級数(学科改編を含む)の取扱いは、中学校卒業予定者数、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案しながら毎年度調整する。

【1学年2学級校の取扱い】

- (1) 1学年2学級の募集定員に対し、1学級定員の半数を超える欠員が2年続いた場合には、原則として翌年度に学級減を行う。なお、通学困難な地域は、高校教育を受ける機会を確保するという観点から学級減を行わないことも検討する。
- (2) 募集定員に対して1学級相当程度の欠員が生じている場合には、原則として翌年度に学級減を行う。ただし、中学校卒業予定者数に回復の見通しがあれば、学級減を行わないことも検討する。
- (3) 各学年とも2学級を維持できない場合には統合を基本とするが、広大な県土を有する本県の通学事情等に鑑み、地域の実情に応じて分校(1学級規模)の設置も検討する。

【分校の取扱い】

入学者が募集定員の半数を下回る状況又は当該分校に進学した者のうち分校所在地の

中学校からの進学者の割合が半数以下となる状況が、2年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。

## 2 第二次県立高等学校整備計画（仮称）

今後の少子化によるさらなる生徒減少や社会情勢の変化に対応するため、教育の原点に立ち返り、高校教育として子供たちの確かな成長を支える仕組みや取組みを強固にすることが重要であることから、「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、委員会において教育環境の整備や将来の岩手県を担う人財育成について検討の上、平成21年5月に「今後の県立高等学校の在り方」〔中間まとめ〕を取りまとめ、県内9ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からのご意見、ご提言等をいただき、9月17日に県教育委員会に成案が報告された。

これを基に、県教育委員会において平成21年12月24日に、概ね10年先を展望し、今後の人口減少と超高齢社会の到来や厳しい国際競争などに対応し、明日の日本や岩手の未来を担う人財の育成に向けた今後の県立高校における教育の基本的考え方と方向性を示した「今後の高等学校教育の基本的方向」（案）を作成、公表し、パブリックコメント、地域説明会、意見を聴く会を通じ、ご意見等をいただき、平成22年3月17日に成案を策定した。これを指針として、平成23年度上半期を目途に第二次県立高等学校整備計画（仮称）を策定するものである。

## 3 中高一貫教育の導入について

中高一貫教育の在り方については、文部省からの研究の委嘱を受け、平成10年9月に「岩手県中高一貫教育研究会議」（船越昭治委員長）を設置して検討を重ねるとともに、実践研究を行う研究推進校（高校2校、中学校6校）を指定し、「岩手県中高一貫教育実践研究委員会」においても検討を進め、平成12年3月に中高一貫教育研究会議より報告書が提出された。

この報告を受け、軽米・葛巻地域は、連携型中高一貫教育の研究を行い、平成13年度には軽米地域が、平成14年度には葛巻地域が連携型中高一貫教育を導入した。

平成15年7月に「岩手県中高一貫教育検討委員会」を設置し、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校の導入や連携型中高一貫教育校の推進について検討を進めた。平成17年9月には、この検討委員会を継承・発展した「岩手県新しいタイプの学校に関する検討委員会」を設置し、中高一貫教育を中心としたコミュニティ・スクールを含めた新しいタイプの学校の在り方について検討を行い、平成18年3月に報告書が提出された。

この報告を受け、併設型中高一貫教育校の導入について検討し、平成19年2月に、平成21年度から一関第一高等学校に導入する方針を決定した。

平成19年5月に「岩手県立一関第一高等学校中高一貫教育検討委員会」を設置し、併設型中高一貫教育校の教育内容や県立中学校の入学選抜方針などについて検討を行い、同年11月に報告書が提出された。この報告を受け、一関第一高等学校に設置する併設型中高一貫教育校の目指す教育などについて検討し、平成20年1月には一関第一高等学校に併設する県立中学校の方針を決定した。

平成20年4月から、県教育委員会事務局学校教育室の高校改革担当内に併設型の県立中学校準備担当（3人）を配置し、具体的な準備を開始した。7月には「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」が6月県議会定例会で議決され、平成21年4月に「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」を設置した。

平成22年度の岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学選抜検査は、175人（男子97人、女子78人）が受検し、80人（男子40人、女子40人）が入学することとなった。

#### 4 公立高等学校入学者選抜について

(1) 県教育委員会は、平成13年8月29日に「岩手県立高等学校入学者選抜方策検討委員会」（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学教授）から「報告」が提出されたことを受け、平成13年11月12日の教育委員会議において県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

県教育委員会は、この方針をもとに、受検生の意欲や個性をより適切に評価できるよう、平成16年度入学者選抜から選抜方法や通学区域等を改善した。

##### ア 選抜方法の変更

校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）による合否判定をする。

##### イ 通学区域（学区）の変更

普通科の通学区域（学区）について、平成6年度から県内19学区としてきたが、地域の意見を勘案して、8学区に改めた。

##### ウ 学区外許容率の変更

学区（通学区域）の拡大に伴って、学区外許容率を15%から10%に引き下げた。

今回の変更は、昭和53年に20%から15%に引き下げて以来の変更となる。

##### エ 再募集の要件の変更

平成15年度まで「再募集人員が定員の30%より少ない場合は、再募集を行わないことができる」とした、ただし書きを平成16年度入学者選抜から撤廃した。

(2) 平成16～18年度入学者選抜まで3年間実施後、入試制度の問題点・改善点を検討することを目的に、平成17年9月20日に「県立高等学校入試改善検討委員会」を設置し（委員長：沼田俊昭 岩手県立大副学長）、平成18年6月1日に提言を受けた。

それをもとに平成18年7月18日の教育委員会議において、県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

##### ア 全日制課程及び定時制課程

一般入学者選抜及び推薦入学者選抜を行う。

一般入学者選抜においては、調査書、学力検査、面接の結果（学校によっては小論文・作文または適性検査）を資料とし、校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）により選抜する。

推薦入学者選抜においては、校長が推薦基準を決定し、志願理由書、調査書及び面接（学校によっては、小論文・作文または適性検査）の結果により選抜する。

##### イ 通信制課程

調査書その他必要な書類、面接の結果及び作文の評価に基づいて選抜する。

(3) 県教育委員会では、この方針に基づき平成19年度入学者選抜から、次のように改善した。

##### ア 推薦入学者選抜の実施

高等学校全学科を対象とし、各高等学校は推薦基準を公表する。

応募資格は、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収めた者とする。

##### イ 一般入学者選抜日程の変更

2日間の日程を改め、1日とした。

##### ウ 一般入学者選抜学力検査内容の変更

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

#### 第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

英語応答試験を廃止した。

#### エ 募集の要件の改善

平成18年度までの「合格者が募集定員に達しなかった学校は、その課程及び学科別に再募集を行う」を改め、「欠員が、募集定員の概ね10%より多い高等学校は、その学科別に再募集を行うことができる」とした。

#### オ 普通科と理数科の一括募集

すべての理数科を対象として、普通科と理数科を一括募集することとした。

(4) 平成20年度入学者選抜では、推薦入学者選抜において「志願先高等学校に二つ以上の学科（学系、コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願できる」と変更した。

(5) 平成21年度入学者選抜では、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系の推薦入学者選抜の募集定員を、定員の20%以内から50%以内に変更した。

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第2 学校施設の耐震化の推進

第2 学校施設の耐震化の推進

1 県立学校施設の耐震化状況

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成22年4月1日現在)

(1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	100.0%	100.0%	67.0%	73.3%	±0.0%	+6.3%
高等学校	70.6%	74.7%	67.8%	72.9%	+4.1%	+5.1%
特別支援学校	96.6%	97.8%	82.8%	87.9%	+1.2%	+5.1%
幼稚園	—	—	60.1%	66.2%	—	+6.1%
計(平均)	75.2%	78.9%	67.5%	73.5%	+3.7%	+6.0%

※1 (小)中学校の岩手県欄については、一関第一高等学校附属中学校に係る数値となっている。(以下、同様)

2 「耐震化率」とは、全建物のうち、耐震性がある建物(昭和57年以降建築の棟数及び、昭和56年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合のこと。(以下、同様)

(2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	—	—	63.4%	67.6%	—	+4.2%
高等学校	95.7%	95.7%	61.1%	61.5%	±0.0%	+0.4%
特別支援学校	—	—	91.1%	92.0%	—	+0.9%
幼稚園	—	—	77.0%	79.1%	—	+2.1%
計(平均)	95.7%	95.7%	65.8%	69.6%	±0.0%	+3.8%

2 市町村立学校施設の耐震化状況

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成22年4月1日現在)

(1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	66.4%	73.0%	67.0%	73.3%	+6.6%	+6.3%
高等学校	0.0%	27.3%	67.8%	72.9%	+27.3%	+5.1%
特別支援学校	—	—	82.8%	87.9%	—	+5.1%
幼稚園	69.0%	73.3%	60.1%	66.2%	+4.3%	+6.1%
計(平均)	66.0%	72.8%	67.5%	73.5%	+6.8%	+6.0%

(2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	H21.4.1 現在	H22.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	77.7%	80.8%	63.4%	67.6%	+3.1%	+4.2%
高等学校	—	—	61.1%	61.5%	—	+0.4%
特別支援学校	—	—	91.1%	92.0%	—	+0.9%
幼稚園	77.8%	80.0%	77.0%	79.1%	+2.2%	+2.1%
計(平均)	77.7%	80.7%	65.8%	69.6%	+3.0%	+3.8%

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金等の状況

第3 修学資金の支援等

1 特別支援教育就学奨励費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類		給与人員			給与額		
		小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学校給食費		559	265	824	11,483,762	4,764,065	16,247,827
交通費（通学費）		194	25	219	5,627,866	1,469,250	7,097,116
職場実習交通費			3	3		2,300	2,300
交流学习交通費		13	1	14	6,442	560	7,002
修学旅行費		76	79	155	765,179	2,196,519	2,961,698
校外活動費	宿泊を伴わないもの	348	94	442	209,082	65,942	275,024
	宿泊を伴うもの	75	59	134	51,970	74,616	126,586
学用品購入費		560	267	827	3,060,660	2,851,181	5,911,841
新入学児童・生徒用学用品費等		75	93	168	737,567	1,064,850	1,802,417
通学用品購入費		474	171	645	506,416	184,632	691,048
体育実技用具費	柔道		4	4		8,550	8,550
	剣道			0			0
	スキー	21	3	24	216,122	42,010	258,132
	スケート			0			0
拡大教材費				0			0
合計		697	271	968	22,665,066	12,724,475	35,389,541

※給与人員の合計の欄は、実給与人員であること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	国庫補助金額
盛岡市	3,572
八幡平市	262
雫石町	75
葛巻町	28
岩手町	159
滝沢村	385
紫波町	125
矢巾町	201
花巻市	1,533
遠野市	196
北上市	1,228
西和賀町	11

市町村名	国庫補助金額
奥州市	647
金ヶ崎町	112
一関市	1,409
平泉町	25
藤沢町	119
大船渡市	305
陸前高田市	296
住田町	58
釜石市	306
大槌町	106
宮古市	428
山田町	41

市町村名	国庫補助金額
岩泉町	104
田野畑村	0
久慈市	251
洋野町	264
野田村	49
普代村	26
二戸市	274
軽米町	101
九戸村	0
一戸町	102
合計	12,798

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 就学資金等の状況

2 要保護児童生徒援助費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費、通学用品費、 校外活動費（宿泊を伴わないもの）			0			0
校外活動費（宿泊を伴うもの）			0			0
新入学児童・生徒用学用品費等			0			0
修学旅行費	90	111	201	1,812,108	7,106,739	8,918,847
通学費			0			0
体育実技用具費	柔道		0			0
	剣道		0			0
	スキー		0			0
	スケート		0			0
医療費	174	91	265	3,722,646	2,380,660	6,103,306
学校給食費			0			0

※平成17年度から準要保護児童生徒援助費補助金が廃止され、市町村へ財政措置されていること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	1,703,000	900,000		2,603,000
八幡平市	89,000	32,000		121,000
雫石町	57,000	18,000		75,000
葛巻町	57,000	18,190		75,190
岩手町	44,000	150,000		194,000
滝沢村	205,000	51,460		256,460
紫波町	90,000	4,000		94,000
矢巾町	12,000	4,000		16,000
花巻市	248,000	174,000		422,000
遠野市	22,000	36,000		58,000
北上市	172,000	234,000		406,000
西和賀町				0
奥州市	105,000	240,000		345,000
金ヶ崎町	55,000	22,000		77,000
一関市	259,000	53,165		312,165
平泉町				0
藤沢町	10,000			10,000
大船渡市	55,000	96,000		151,000
陸前高田市	88,000			88,000
住田町				0
釜石市	238,000	210,000		448,000
大槌町	208,000	145,452		353,452
宮古市	200,000	102,000		302,000
山田町	118,000	114,000		232,000
岩泉町	92,000	54,000		146,000
田野畑村				0
久慈市	162,000	18,000		180,000
洋野町	27,000	17,000		44,000
野田村	40,000			40,000
普代村				0
二戸市	34,000	21,910		55,910
軽米町	55,000			55,000
九戸村		36,000		36,000
一戸町		12,000		12,000
合計	4,445,000	2,763,177	0	7,208,177

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金等の状況

3 へき地児童生徒援助費等補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額 [単位：台、人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
スクールバス購入費(台)	12 (9)	1	13	28,630,000 (21,400,000)	2,500,000	31,130,000
寄宿舎居住費(人)		34	34		4,154,000	4,154,000
高度へき地修学旅行費(人)	1	9	10	8,000	291,000	299,000
遠距離通学費(人)	39		39	1,038,000		1,038,000

※スクールバスについて、小学校・中学校で共用している場合は、小学校に計上している。( )内が共用している台数・金額(内数)

(2) 市町村別補助金交付額 [単位：千円]

市町村名	スクールバス購入費	寄宿舎居住費	高度へき地修学旅行費	遠距離通学費	保健管理費	計
盛岡市			16			16
八幡平市					69	69
雫石町						
葛巻町	5,000			1,026	378	6,404
岩手町	2,500				266	2,766
滝沢村						
紫波町						
矢巾町						
花巻市						
遠野市	5,000				33	5,033
北上市						
西和賀町					180	180
奥州市					39	39
金ヶ崎町						
一関市	2,500				35	2,535
平泉町						
藤沢町						
大船渡市						
陸前高田市						
住田町					24	24
釜石市	5,000				210	5,210
大槌町	2,420					2,420
宮古市					394	394
山田町						
岩泉町	1,590		283	12	72	1,957
田野畑村		4,154			333	4,487
久慈市						
洋野町	2,500				269	269
野田村					33	2,533
普代村						
二戸市						
軽米町	4,620				39	4,659
九戸村						
一戸町					151	151
合計	31,130	4,154	299	1,038	2,525	39,146

4 育英・奨学（財団法人岩手育英奨学会）

県内に住所を有する者の子弟で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等への就学が困難なものに対し、学資の貸与その他育英奨学上必要な事業を行った。

(1) 奨学金の種類と額

ア タイプA（予約・在学・緊急採用共通）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

イ タイプB（予約採用）

(ア) 貸与月額（選択制）

15,000円、20,000円、25,000円、30,000円

(イ) 入学一時金

公立50,000円、私立100,000円

(2) 奨学生の採用

ア タイプA（平成21年度採用） [単位：人]

採用人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
予 約	235	189	14	18	14
在 学	627	351	25	211	40
緊 急	36	23		13	
合 計	898	563	39	242	54

イ タイプB（平成21年度採用、予約採用のみ）

[単位：人]

採用人数	貸与月額				区 分	
	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円	母子・父子家庭	経済困難
37	4	5	6	22	10	11

(3) 奨学金の貸与状況

ア タイプA（平成21年度） [単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	1,440	309,270
	自宅外通学	109	29,486
私 立	自宅通学	557	199,620
	自宅外通学	114	47,810
合 計		2,220	586,186

イ タイプB（平成21年度） [単位：人、千円]

区 分	貸与人数	奨学金		
		年 額	入学一時金	計
15,000円	9	1,620	100	1,720
20,000円	18	4,320	100	4,420
25,000円	11	3,300	150	3,450
30,000円	65	22,920	950	23,870
合 計	103	32,160	1,300	33,460

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

第4 教育環境の整備

1 県立学校の教育環境整備

(1) 平成21年度高等学校及び特別支援学校校舎等施設整備状況

[単位：㎡、千円]

補助・ 単独の別	事業内容	学校名	構造	事業実施面積		工事費	工期等
					うち国庫補助対象面積		
国庫補助	校舎大規模改造等	水沢	鉄筋	2,209	2,209	81,098	H21
		水沢工業	鉄筋	1,498	1,498	25,157	H21
	校舎耐震補強等	金ヶ崎	鉄筋	1,191	1,191	13,115	H21
		高田	鉄筋	1,812	1,812	15,586	H21
	産振棟耐震補強等	盛岡視覚支援	鉄筋	1,335	1,335	11,457	H21
	体育館耐震補強等	黒沢尻北	鉄骨	1,732	1,732	14,714	H21
		久慈・長内	鉄骨	811	811	19,434	H21
		宮古商業	鉄骨	1,399	1,399	29,031	H21
		盛岡農業	鉄骨	1,356	1,356	33,893	H21
		大東	鉄骨	1,261	1,261	5,115	H21
		岩泉	鉄骨	1,158	1,158	4,253	H21
		一戸	鉄骨	1,599	1,599	47,570	H21
	県単独	体育館耐震補強	釜石商工	鉄骨	1,164		3,472
校地整備		釜石		20,320		85,282	H20～21
		大船渡東		18,114		67,423	H21～22
		一戸		2,440		39,638	H21～22

(2) 産業教育施設整備の状況 (平成21年4月1日現在)

基準面積(A)	現有面積(B)	現有率(B/A)
331,720 ㎡	161,479 ㎡	48.7%

(3) 平成21年度特殊教育設備事業 [単位：千円]

区分	金額
特殊教育設備	46,545
一般教育設備	7,507
情報処理教育設備	35,719
校舎等増改築設備	2,994
計	92,765

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(4) 高等学校産業教育設備の整備状況（平成21年4月1日現在）

基準金額(A)	現有金額(B)	現有率(B/A)
25,086,843,000円	5,747,178,300円	22.9%

(5) 理科教育等設備

ア 平成21年度補助金受領状況

(ア) 高等学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額	学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
盛岡第一	607	606	一関第二	583	582
盛岡第二	554	554	一関工業	474	474
盛岡第三	555	556	花泉	495	495
盛岡第四	572	571	大東	407	408
盛岡北	597	598	千厩	354	355
盛岡南	545	546	高田	476	477
不来方	518	518	大船渡	501	500
盛岡農業	671	676	大船渡東	519	519
盛岡工業	481	482	住田	350	351
盛岡商業	252	254	釜石	487	487
沼宮内	406	407	釜石商工	471	471
葛巻	427	426	大槌	443	443
平舘	527	527	遠野	487	488
雫石	491	492	遠野緑峰	463	464
紫波総合	462	462	山田	358	359
花巻北	540	540	宮古	470	471
花巻南	479	479	宮古北	116	117
花巻農業	461	461	宮古工業	456	456
花巻青雲	536	535	宮古商業	445	445
大迫	127	128	宮古水産	462	462
黒沢尻北	672	672	岩泉	489	489
北上翔南	516	517	久慈	529	529
黒沢尻工業	610	611	久慈東	250	250
西和賀	509	510	久慈工業	485	486
水沢	522	523	種市	435	437
水沢農業	526	527	大野	443	443
水沢工業	494	495	軽米	336	336
水沢商業	518	519	伊保内	444	445
前沢	454	454	福岡	561	560
金ヶ崎	482	482	福岡工業	53	53
岩谷堂	522	523	一戸	346	347
一関第一	636	636	杜陵	543	544
計				30,000	30,030

第2章 教育施策の推進状況  
 第6節 学校教育を支える教育環境の充実  
 第4 教育環境整備への支援

(イ) 中学校 [単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
一関一高付属中	288	320

(ウ) 特別支援学校 [単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額	学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
盛岡視覚	1,398	1,447	前沢明峰	274	274
盛岡聴覚	491	554	一関清明	288	287
盛岡となん	330	330	気仙光陵	513	512
盛岡峰南高等	79	81	釜石祥雲	212	211
盛岡みたけ	183	185	宮古恵風	486	487
盛岡青松	456	455	久慈拓陽	77	78
花巻清風	458	458			
小計				5,245	5,359

イ 学校種別現有状況（平成20年度末） [単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成21年度補助 金交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
1 理科教育振興法第9条第1号に基づく補助	理科設備	中学校	—	—	—	1	
		高等学校	74	5,717,180	743,830	13.0	64
		特別支援学校	36	1,127,778	55,464	4.9	13
		計	723	18,884,544	2,932,177	15.5	647
	算数数学特別設備	中学校	—	—	—	—	0
		高等学校	74	956,270	28,155	2.9	0
		特別支援学校	37	121,142	13,785	11.4	0
		計	724	2,793,188	240,109	8.6	121

(注)一関一高付属中学校は、平成21年4月開校

(6) 平成21年度情報処理教育設備

整備学校名	整備金額
【高等学校】6校 盛岡第四、盛岡北、沼宮内、宮古北、軽米、杜陵（奥州校）	75,845千円
【特別支援学校】6校 盛岡視覚、盛岡となん、盛岡青松、盛岡峰南高等、一関清明、釜石祥雲	

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(7) 学校情報通信技術環境整備（平成21年度限りの補助事業）

平成21年度補助金受領状況

[単位：円]

学校名	デジタル テレビ	電子黒板機能 付デジタルテレビ	教育用 コンピューター	校務用 コンピューター	校内 LAN	事務費	計
一関第一高等 学校附属中 学校	0	283,500	0	0	0		283,500
盛岡第一	101,062	0	0	586,852	0		687,914
盛岡第二	98,385	0	0	451,424	0		549,809
盛岡第三	202,755	0	0	496,567	0		699,322
盛岡第四	350,595	0	0	2,437,692	0		2,788,287
盛岡北	70,350	0	0	2,211,980	0		2,282,330
盛岡南	109,830	0	0	722,279	0		832,109
不来方	116,287	0	0	631,994	0		748,281
杜陵	87,675	0	0	902,849	0		990,524
杜陵奥州	77,175	0	0	315,997	0		393,172
盛岡農業	373,065	0	0	3,340,542	0		3,713,607
盛岡工業	77,962	0	0	902,849	0		980,811
盛岡商業	106,155	0	0	496,567	0		602,722
沼宮内	86,782	0	0	225,712	0		312,494
葛巻	160,282	0	0	270,855	0		431,137
平館	70,350	0	0	1,354,273	0		1,424,623
雫石	224,752	0	0	315,997	0		540,749
紫波総合	87,675	0	0	451,424	0		539,099
花巻北	60,375	0	0	451,424	0		511,799
花巻南	62,317	0	0	1,850,841	0		1,913,158
花巻農業	114,240	0	0	586,852	0		701,092
花北青雲	168,892	0	0	1,941,125	0		2,110,017
大迫	120,540	0	0	45,142	0		165,682
遠野	60,375	0	0	1,670,270	0		1,730,645
遠野緑峰	80,850	0	0	451,424	0		532,274
黒沢尻北	88,908	0	0	2,347,408	0		2,436,316
北上翔南	88,200	0	0	631,994	0		720,194
黒沢尻工業	90,405	0	0	1,038,276	0		1,128,681
西和賀	87,675	0	0	947,991	0		1,035,666
水沢	111,300	0	0	2,437,692	0		2,548,992
水沢農業	776,212	0	0	541,709	0		1,317,921
水沢工業	138,915	0	0	2,211,980	0		2,350,895
水沢商業	258,300	0	0	270,854	0		529,154
前沢	89,407	0	0	270,854	0		360,261
金ヶ崎	31,710	0	0	1,263,988	0		1,295,698
岩谷堂	111,300	0	0	631,994	0		743,294
一関第一	62,475	0	0	1,489,701	0		1,552,176
一関第二	134,242	0	0	812,564	0		946,806
一関工業	219,450	0	0	631,994	0		851,444
花泉	63,000	0	0	270,854	0		333,854

学校名	デジタル テレビ	電子黒板機能 付デジタルテレビ	教育用 コンピュータ	校務用 コンピュータ	構内 LAN	事務費	計
大東	52,500	0	0	225,712	0		278,212
千厩	60,742	0	0	631,994	0		692,736
高田	161,138	0	0	451,424	0		612,562
大船渡	82,950	0	0	677,136	0		760,086
大船渡東	68,250	0	0	857,707	0		925,957
住田	85,155	0	0	270,854	0		356,009
釜石	108,570	0	0	451,424	0		559,994
釜石商工	228,375	0	0	677,136	0		905,511
大槌	294,525	0	0	1,218,846	0		1,513,371
山田	145,950	0	0	947,991	0		1,093,941
宮古	0	0	0	406,282	0		406,282
宮古北	115,500	0	0	993,134	0		1,108,634
宮古工業	199,867	0	0	406,282	0		606,149
宮古商業	101,850	0	0	315,997	0		417,847
宮古水産	100,642	0	0	722,279	0		822,921
岩泉	81,375	0	0	270,854	0		352,229
岩泉田野畑	0	0	0	451,424	0		451,424
久慈	103,136	0	0	0	0		103,136
久慈長内	87,307	0	0	270,854	0		358,161
久慈東	188,553	0	0	812,564	0		1,001,117
久慈工業	92,185	0	0	451,424	0		543,609
種市	242,328	0	0	361,139	0		603,467
大野	138,647	0	0	225,712	0		364,359
軽米	89,250	0	0	451,424	0		540,674
伊保内	105,000	0	0	857,707	0		962,707
福岡	0	0	0	361,139	0		361,139
福岡浄法寺	100,800	0	0	406,282	0		507,082
福岡工業	287,490	0	0	270,854	0		558,344
一戸	90,200	0	0	496,567	0		586,767
盛岡視覚	0	0	4,064,025	1,173,703	0		5,237,728
盛岡聴覚	241,920	0	0	1,173,703	0		1,415,623
盛岡となん	191,362	0	1,417,500	5,417,094	0		7,025,956
盛岡青松	142,065	0	1,519,350	3,791,966	0		5,453,381
盛岡峰南高等	175,455	0	1,690,500	3,701,681	0		5,567,636
盛岡みたけ	411,831	0	0	1,534,843	0		1,946,674
盛岡みたけ奥 中山	0	0	0	225,712	0		225,712
花巻清風	209,527	0	0	2,302,265	0		2,511,792
前沢明峰	153,510	0	0	4,739,957	0		4,893,467
一関清明	173,512	0	1,428,000	2,257,123	0		3,858,635
気仙光陵	211,271	0	0	3,385,684	0		3,596,955
釜石祥雲	55,125	0	1,496,250	2,302,265	0		3,853,640
宮古恵風	212,310	0	0	767,421	0		979,731
久慈拓陽	179,287	0	0	1,309,131	0		1,488,418
合計	11,189,685	283,500	11,615,625	87,937,474	0	688,338	111,714,622

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

2 市町村立学校の教育環境整備への支援

(1) 市町村立小中学校の施設及び校地の保有状況

【公立学校施設の保有状況】

[単位：㎡]

区分	必要面積 [a]	保有面積			計 [b]	整備資格面積 (注2) [c]	c/a	危険面積 (注3) [d]	d/b						
		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	鉄骨その他造	木造											
小学校	校舎	1,278,262	(89.4%) 1,036,009	(3.2%) 37,419	(7.4%) 85,505	1,158,933	184,156	14.4%	28,743	2.5%					
	屋体	413,647	(16.0%) 50,549	(80.9%) 256,207	(3.2%) 10,129						316,885	100,960	24.4%	3,532	1.1%
	計	1,691,909	(73.6%) 1,086,558	(19.9%) 293,626	(6.5%) 95,634						1,475,818	285,116	16.9%	32,275	2.2%
中学校	校舎	690,899	(92.7%) 635,290	(2.9%) 19,614	(4.4%) 30,425	685,329	51,905	7.5%	18,606	2.7%					
	屋体	234,068	(18.1%) 35,949	(79.6%) 158,311	(2.3%) 4,580						198,840	44,797	19.1%	2,043	1.0%
	計	924,967	(75.9%) 671,239	(20.1%) 177,925	(4.0%) 35,005						884,169	96,702	10.5%	20,649	2.3%
合計	校舎	1,969,161	(90.6%) 1,671,299	(3.1%) 57,033	(6.3%) 115,930	1,844,262	236,061	12.0%	47,349	2.6%					
	屋体	647,715	(16.8%) 86,498	(80.4%) 414,518	(2.9%) 14,709						515,725	145,757	22.5%	5,575	1.1%
	計	2,616,876	(74.5%) 1,757,797	(20.0%) 471,551	(5.5%) 130,639						2,359,987	381,818	14.6%	52,924	2.2%

注1：平成21年度の公立学校施設台帳を集計したもの。保有面積欄の上段の数値は、構成比。

2：整備資格面積とは、各学校ごとに必要面積から保有面積を差し引いた面積（負数となる場合は、ゼロとする）。

3：危険面積とは、耐力度点数が、鉄筋造及び鉄骨造にあっては4,500点以下、木造にあっては5,500点以下の建物の面積。ただし、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5,000点以下のものも含む。

【公立学校校地の保有状況】

[単位：㎡]

区分	保有校地面積				借用
	建物敷地	運動場	実験実習地その他	小計	
小学校	2,594,238	3,430,347	1,272,860	7,297,445	130,405
中学校	1,713,673	2,731,774	867,158	5,312,605	145,209
計	4,307,911	6,162,121	2,140,018	12,610,050	275,614

(2) 市町村立幼稚園及び市町村立小中学校の整備状況

【事業別の状況】

[単位：㎡、千円]

区分	単年度事業			国債事業			計		
	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額
小学校・校舎	1	679	67,937	2	1,296	48,588	3	1,975	116,525
中学校・校舎				1	250	12,923			
小学校・屋体	4	1,401	138,375	1	368	15,982	5	1,769	154,357
中学校・屋体	2	536	57,354				2	536	57,354
危険改築	14	14,393	1,356,107				14	14,393	1,356,107
統合	5	6,495	543,584	2	6,128	337,473	7	12,623	881,057
不適格(地震)改築	12	5,374	557,446				12	5,374	557,446
大規模改造	14	10,759	213,765				14	10,759	213,765
地震補強	33	54,291	596,985				33	54,291	596,985
その他	32	26,499	759,802				32	26,499	759,802
合計	117	120,427	4,291,355	6	8,042	414,966	122	128,219	4,693,398

注：「屋体」は屋内体育館、「その他」は学校水泳プール、共同調理場、グラウンドの整備

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

【市町村別の状況（単年度事業分）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	補助対象面積										負担(交付)金額			備考			
		小校	中校	小屋	中屋	危険改築校舎	屋体	統合校舎	屋体	不適格(地震)改築校舎	屋体	合計校舎	屋体	大規模改造		地震補強	その他	
盛岡市	渋民小			511												96,177		
	緑ヶ丘小														79,604	79,604		
	大宮中														10,352	10,352		
	城北小														23,390	23,390	プール	
岩手町	山岸小ほか														14,762	14,762	地デジ	
	一方井中													1,428		1,428		
雫石町	沼宮内小ほか														478	478	地デジ	
	西根小														6,060	6,060	太陽光	
葛巻町	葛巻中														6,169	6,169	グラウンド	
八幡平市	田山小			318												88,533		
滝沢村	姥屋敷小			36												36,223		
	姥屋敷中			259												25,020		
	滝沢小													8,167		8,167		
	滝沢中													13,663		13,663		
紫波町	日詰小														3,140	3,140		
	片寄小														34,958	34,958		
矢巾町	左比内小														2,747	2,747		
	徳田小ほか															372	372	地デジ
花巻市	花巻小ほか															8,050	8,050	地デジ
	太田小													2,392		2,392		
	西南中			277		885						1,162			37,130	139,988	武道場	
	石鳥谷中					3,413			73		3,486					239,229		
北上市	東和小						5,888	1,258			5,888	1,258				311,677		
	黒沢尻西小														114,373	114,373		
	江釣子小													62,937		62,937		
	黒沢尻北小ほか															4,741	4,741	地デジ
	江釣子中														30,189	30,189		
	和賀東中														33,195	33,195		
奥州市	北上中														3,229	3,229		
	岩谷堂幼稚園					767					767					66,963		
	前沢北幼稚園												4,304		4,304			
	水沢南小														3,138	3,138		
	田原小					1,000				17	1,017					127,493		
	胆沢第一小														46,108	46,108		
金ヶ崎町	小山中														3,170	3,170		
	衣川中					1,130			726		1,856				28,021	167,336	プール	
	金ヶ崎中									3,200	3,200					363,347		
一関市	涌津小														51,086	51,086		
	奥玉小													15,229	4,243	19,472		
	大原小							922			922				7,933	111,859		
	室根中														20,786	20,786		
	学校給食センター															159,586	159,586	
大船渡市	盛小				1,713					1,713						154,524		
遠野市	陸前高田市	高田小ほか														367	367	地デジ
	遠野小														16,141	16,141		
	鱒沢小														4,107	4,107		
	土淵小														2,819	2,819		
	遠野北小			536		700			22		1,258	55,870		32,388	222,608	222,608	プール 太陽光	
大槌町	綾織小					431					431					45,725		
	小友小ほか														3,075	3,075	地デジ	
	大槌北小														9,854	9,854	太陽光	
	安渡小ほか														886	886	地デジ	
宮古市	学校給食センター														41,234	41,234		
	宮古小														26,588	26,588	プール	
	磯鶏小															2,558	2,558	
	重茂小	679				1,289					1,968					248,601		
	第一給食センター															84,260	84,260	
岩泉町	第二給食センター															64,716	64,716	
	第三給食センター															34,804	34,804	
	門小														2,537		2,537	
岩泉中ほか															2,680	2,680	地デジ	
田野畑村	田野畑中				681				195		876				9,732	18,989	グラウンド	
小計		679	1,660	277	10,424	2,091	5,888	2,180	4,211	925	21,708	6,627	213,765	426,638	599,343	3,532,964		

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

市町村名	学校名	補助対象面積										負担(交付)金額				備考		
		小校	中校	小屋	中屋	危険改築		統合		不適格(地震)改築		合計		大規模改造	地震補強		その他	
						校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体					
久慈市	久喜小													12,714		12,714		
	荷軽部小													1,678		1,678		
	大川目小													2,834		2,834		
	宇部中													2,282		2,282		
	学校給食センター														102,955	102,955		
洋野町	宿戸小													22,431	10,100	32,531	太陽光	
	大野小														8,484	8,484	太陽光	
	種市中						715		448		74		1,237		25,750	197,039	武道場	
普代村	普代小													24,864		24,864		
	普代中													5,275		5,275		
二戸市	御返地小													98,269		98,269		
	浄法寺小					946	217				164		1,110	217		176,915		
	軽米小ほか														545	545	地デジ	
	晴山小								747				747		12,625	92,006	太陽光	
小計					946	932		1,195	164	74	1110	2201		170,347	160,459	758,391		
計		679		1,660	277	11,370	3,023	5,888	3,375	4,375	999	22,818	8,828	213,765	596,985	759,802	4,291,355	

※ 平成18年度から「安全・安心な学校づくり交付金」が制度化されたことにより、交付単位が事業ごとから設置者ごとに変わったが、本表は充当状況（予定）報告に基づき作成したもの。

【市町村別の状況（国債事業分）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	補助対象面積										負担(交付)金額				左のうち 当該年度分	
		小校	中校	小屋	中屋	危険改築 校舎	統合 屋体	不適格改築 校舎	不適格改築 屋体	合計 校舎	合計 屋体	大規模改造	地震補強	その他			
花巻市	石鳥谷中		250									250				21,538	12,923
奥州市	田原小	341										341				31,960	12,784
二戸市	浄法寺小	955		368								955	368			129,465	51,786
一関市	統合大原小							3,481				3,481				337,042	202,225
軽米町	晴山小							2,647				2,647				225,413	135,248
計		1,296	250	368				6,128				7,674	368			745,418	414,966

(3) 理科教育等設備

(ア) 平成21年補助金交付状況

[単位：千円]

市町村	理科設備	算数・数学設備	計
盛岡市	39,008		39,008
岩手町	3,207		3,207
雫石町	5,057	420	5,477
葛巻町	2,141	337	2,478
八幡平市	679		679
滝沢村	6,296	58	6,354
紫波町	7,762	2,248	10,010
矢巾町	3,587	375	3,962
花巻市	7,158		7,158
北上市	14,705	3,907	18,612

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

市町村	理科設備	算数・数学設備	計
奥州市	31,159	1,464	32,623
金ヶ崎町	3,590		3,590
一関市	31,596	1,120	32,716
平泉町	1,817	45	1,862
藤沢町	1,600	400	2,000
大船渡市	6,738	2,133	8,871
陸前高田市	1,530		1,530
住田町	1,134	25	1,159
釜石市	3,000	90	3,090
遠野市	4,020		4,020
大槌町	1,683	302	1,985
宮古市	13,386		13,386
山田町	6,329		6,329
岩泉町	461	39	500
田野畑村	2,749	612	3,361
久慈市	15,588		15,588
洋野町	3,300	2,388	5,688
野田村	478		478
普代村	1,119	73	1,192
二戸市	2,491	9	2,500
一戸町	667	29	696
軽米町	3,903		3,903
九戸村	500		500
計	228,438	16,074	244,512

注：平成21年度交付決定事業の補助金確定（実績）額であること（平成22年度繰越整備分含む）

(イ) 学校種別現有状況（平成20年度末）

[単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成21年度補助金交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
理科教育振興法第9条第1項第1号に基づく補助	理科設備	小学校	420	6,592,914	1,160,394	17.6	383
		中学校	193	5,446,672	972,489	17.9	183
		高等学校	1	81,674	900	1.1	1
		計	614	12,121,260	2,132,883	17.6	567
	算数数学特別設備	小学校	420	914,460	128,380	14.0	99
		中学校	193	801,316	69,789	8.7	35
		高等学校	1	13,661	0	0.0	0
		計	614	1,729,437	198,169	11.5	134

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(4) 学校情報通信技術環境整備（H21年度限りの補助事業）

平成21年度補助金交付状況

[単位：円]

市町村	デジタルテレビ	電子黒板機能付デジタルテレビ	教育用コンピュータ	校務用コンピュータ	校内LAN	事務費	計
盛岡市	33,127,937	8,008,875	4,579,470	2,583,718	0	0	48,300,000
岩手町	1,500,765	0	0	1,341,200	0	0	2,841,965
雫石町	1,831,375	3,215,625	0	0	0	0	5,047,000
葛巻町	5,156,900	2,060,800	18,892,860	4,545,098	2,589,998	120,000	33,365,656
滝沢村	5,784,080	3,345,141	0	0	0	0	9,129,221
矢巾町	7,664,684	1,170,013	13,964,952	5,667,999	0	0	28,467,648
花巻市	0	0	0	14,640,373	0	0	14,640,373
北上市	8,537,025	9,355,500	0	25,252,493	14,893,720	0	58,038,738
西和賀町	0	1,050,000	3,927,280	804,720	0	13,000	5,795,000
奥州市	18,590,291	0	0	42,941,490	0	0	61,531,781
金ヶ崎町	856,800	0	0	3,411,450	3,097,500	0	7,365,750
一関市	33,472,113	10,295,941	10,496,550	78,385,504	5,696,778	0	138,346,886
平泉町	2,486,137	2,126,880	6,699,052	1,715,175	1,182,929	0	14,210,173
藤沢町	0	1,512,000	0	0	0	0	1,512,000
大船渡市	2,931,544	3,927,875	1,068,441	449,021	0	0	8,376,881
陸前高田市	984,147	5,128,022	4,212,663	14,507,762	22,081,100	0	46,913,694
住田町	282,870	918,750	0	1,415,566	0	8,000	2,625,186
釜石市	0	0	19,023,987	12,830,271	17,685,943	0	49,540,201
遠野市	0	8,533,329	8,928,990	161,210	2,965,482	0	20,589,011
大槌町	2,599,240	0	0	5,231,287	0	0	7,830,527
宮古市	0	3,447,108	11,433,194	4,803,204	6,766,550	0	26,450,056
山田町	1,420,285	0	0	19,394,229	0	0	20,814,514
岩泉町	15,813,016	0	0	9,796,057	0	0	25,609,073
田野畑村	2,080,638	0	10,008,007	3,538,990	2,014,712	0	17,642,347
久慈市	20,157,006	6,606,331	0	0	0	0	26,763,337
洋野町	4,476,990	4,630,500	57,805,753	9,321,072	12,521,977	142,184	88,898,476
野田村	2,416,737	444,511	3,565,623	2,341,125	3,460,301	0	12,228,297
普代村	0	3,993,500	3,354,750	976,500	0	0	8,324,750
二戸市	0	0	52,341,352	14,494,677	8,988,453	0	75,824,482
一戸町	0	1,764,000	0	6,371,065	0	0	8,135,065
軽米町	10,144,329	3,808,000	4,997,681	8,844,737	4,113,290	78,000	31,986,037
合計	182,314,909	85,342,701	235,300,605	295,765,993	108,058,733	361,184	907,144,125

注：平成21年度交付決定事業の補助金確定（実績）額であること。（平成22年度繰越整備分含む）

## 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

#### 1 青少年の学習活動の支援

##### (1) 「いわて教育の日」推進事業

###### ア 趣 旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における

教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組もあわせて実施状況を取りまとめた。

○いわて教育の日 11月1日                      ○教育週間 11月1日～7日

###### イ 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

「いわて教育の日」記念行事

テーマ 『教育は 家庭 学校 地域から』 ～輝け はばたけ いわてっこ～

期 日 平成21年11月4日（水）

会 場 岩手県民会館中ホール

参加者 県内教育関係者及び一般県民約550人

内容

第1部 記念式典

○教育表彰 6団体、37個人（⇒10～11ページ「平成21年度岩手県教育表彰」（1）事績顕著者を参照）

第2部 児童生徒による発表

○合唱～盛岡市立飯岡中学校2年生

テーマ 「華～咲かせよう心の蕾」

○伝統芸能～北上翔南高等学校鬼剣舞部

演目 「刀剣舞の狂い」「一番庭ほか組踊り」

第3部 記念講演

演題 「日本社会の変化と教育の課題」

講師 東京大学大学院教育学研究科 教授 本田 由紀 氏

ウ 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2箇月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として県教育委員会のホームページで周知し、広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

登録事業数：1,102事業

参加予定者数：延べ504,196人

(2) 地域の教育力向上支援事業

学校教育と社会教育の連携をコーディネートする「地域教育推進員配置事業」の成果を踏まえ、地域連携窓口教員に対する研修の機会の充実を通して地域全体の教育力向上を支援した。

ア 公立小中学校の校内体制としての「地域教育担当（地域連携担当）」系の位置付けを推進し、公立小中学校では全校で位置付けられた（平成21年5月調査）。

イ 小中学校教員に対しては初任者研修及び教職10年研修において、県立学校教員に対しては教職10年研修において研修を実施し、周知・啓発を図った。

(3) 子どもの読書活動の推進

平成21年6月に策定した「いわて子ども読書プラン2009」により、子どもの読書活動推進事業として次の事業を実施した。

ア 読書ボランティアのための研修会

花巻地区	各図書館を中心に8月から12月にかけて20回開催		
北上地区	平成21年8月28日	銀河ホール	13人参加
	平成21年9月15日	岩崎地区交流センター	12人参加
	平成21年9月25日	北上市生涯学習センター	28人参加
宮古地区	平成21年7月31日	岩泉小学校	60人参加
久慈地区	平成21年7月6日	久慈地区合同庁舎	24人参加
	平成21年8月7日	久慈地区合同庁舎	14人参加
	平成21年7月5日	県北青少年の家	31人参加
二戸地区	平成21年12月13日	二戸市なにやーと	36人参加

イ 学校図書館担当者研修会

花巻地区	平成21年8月6日	花巻市立東和図書館	46人参加
北上地区	平成21年8月11日	北上地区合同庁舎	36人参加
釜石地区	平成21年7月18日	釜石地区合同庁舎	50人参加
二戸地区	平成21年8月18日	二戸地区合同庁舎	40人参加

ウ 中高生と地域読書ボランティア研修会

平成22年2月14日～15日 陸中海岸青少年の家

エ 読書活動の普及奨励

(ア) 読書活動を推進するための「読書フェスティバル」の開催

平成22年2月6日 アイーナ

(イ) 「いわて子ども読書プラン2009」の周知

概要版を作成し、配布するとともに、HP、各種研修会等を通じた周知を行った。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

#### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

#### (4) 教育振興運動

平成21年度は、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の第2ステージ「実践の3年」の2年次として、次の事項を重点事項として運動を推進した。

- 平成17年度に開発し、平成18年度～19年度に実践研究を行った教育振興運動モデルプログラムを全県的に展開し、課題解決のための取組みを推進する。
- 全県共通課題（「家庭学習の充実」、「読書活動の推進」）を設定し、県内各市町村実践組織においての取組みを支援する。

#### ア 県段階における推進活動

##### (ア) 幹事会（年2回）

幹事会では、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の推進方策について検討を行った。  
また、各教育事務所が開催する推進研修会に出席し、地域の実態把握に努めた。

##### (イ) 市町村担当者研修会

「みんなで教振！10か年プロジェクト」について共通理解を図るなど、運動推進についての研修を行った。

a 期 日	平成21年5月15日	d 内容	教育振興運動の説明
b 会 場	サンセール盛岡		講話
c 参加者	77人		全県共通課題の事例紹介

##### (ウ) 教育振興運動推進研修会

市町村、地区の推進組織や実践組織のリーダー等及び地域連携窓口教員を対象に実施し、運動の進め方について共通理解を図った。

- a 期日、会場……盛岡地区：6月2日岩手町会場・6月4日雫石町会場、花巻地区：6月10日、北上地区：6月26日、奥州地区：6月25日、一関地区：6月30日、大船渡地区：6月30日、釜石地区：7月13日、  
宮古地区：6月4日宮古市会場・6月3日宮古市新里会場・6月1日田野畑村会場、久慈地区：6月8日、  
二戸地区：5月29日一戸町会場・5月29日九戸村会場・6月1日二戸市会場・6月3日軽米町
- b 内 容………・教育振興運動の説明  
・地域連携窓口教員の役割の説明  
・教育事務所管内の学習状況、読書状況について  
・教育事務所管内各校の共通課題における事例研究
- c 参加者………計1,214人

##### (エ) チーム教振派遣事業

教育振興運動モデルプログラムを実施する際のアドバイスや運動推進上の課題解決を支援するため、「チーム教振」を派遣した。

- a 派遣先：雫石町、岩手町、花巻市、奥州市前沢区、釜石市、田野畑村、洋野町
- b 支援内容：教育振興運動モデルプログラム推進のための支援、教育振興運動推進上の課題解決のための支援
- c チーム教振メンバー：県社会教育関係OB4人、県社会教育関係者16人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

#### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

#### イ 市町村段階における推進活動

##### (ア) 推進組織の状況

単独の組織で教育振興運動を推進	30市町村
他の運動体や組織と合わせて推進	8市町村
その他（他団体が運動を推進）	7市町村

※旧市町村単位の組織も1市町村として計上

##### (イ) 実践組織の状況

###### a 実践組織の数

区分	数(割合)
小学校区	256(49.8%)
中学校区	77(15.0%)
公民館区	31(6.0%)
町内会区	83(16.1%)
その他	67(13.0%)
計	514

###### b 実践組織が取り組む主題の数（のべ数）

区分	主題の数
学習活動	710
社会参加	767
自然体験	182
郷土芸能	258
文化芸能	171
生活健康	755
世代間交流	541
勤労体験	272
国際理解	50
スポーツ・レクリエーション	359
その他	78
計	4,143

#### (5) 学校支援地域本部事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を実施した。

##### ア 岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会

###### (ア) 委員会の開催

(平成21年7月7日、平成22年2月17日)

###### (イ) 合同研修会の開催

(平成21年6月9日 118人)

###### (ウ) 成果発表会の開催

(平成21年11月25日 191人)

###### (エ) 実地調査

(九戸村、久慈市、普代村、宮古市)

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

#### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

#### イ 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	実行委員会	本部数
盛岡市	盛岡市学校支援地域本部事業実行委員会	6
八幡平市	八幡平市学校支援地域本部事業実行委員会	2
雫石町	—	—
葛巻町	—	—
岩手町	—	—
滝沢村	—	—
紫波町	—	—
矢巾町	矢巾町学校支援地域本部実行委員会	1
花巻市	花巻市実行委員会	1
遠野市	遠野市地域教育協議会連絡会	2
北上市	—	—
西和賀町	—	—
奥州市	奥州市学校支援地域本部事業実行委員会	3
金ケ崎町	金ケ崎町学校支援地域本部実行委員会	2
一関市	一関市学校支援実行委員会	1
平泉町	平泉町学校支援地域本部	1
藤沢町	—	—
大船渡市	大船渡市学校支援地域本部事業実行委員会	1
陸前高田市	—	—
住田町	—	—
釜石市	釜石市学校支援地域本部事業実行委員会	1
大槌町	—	—
宮古市	宮古市学校支援地域本部事業実行委員会	5
山田町	—	—
岩泉町	岩泉町学校支援地域本部事業実行委員会	4
田野畑村	田野畑村実行委員会	7
川井村	小国小学校支援地域本部事業実行委員会	1
久慈市	久慈市学校支援地域本部実行委員会	1
洋野町	地域で子どもを育てる会運営協議会	4
野田村	—	—
普代村	普代村学校支援地域本部事業実行委員会	1
二戸市	二戸市教育振興運動推進協議会	2
軽米町	軽米町学校支援実行委員会	2
九戸村	九戸村学校支援地域本部事業実行委員会	1
一戸町	一戸町学校支援地域本部事業実行委員会	3
計	22町村	52本部

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

#### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

## 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

放課後子ども教室推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。  
また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に努めた。

### 1 放課後子ども教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子ども教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。

#### (1) 岩手県放課後子どもプラン推進委員会

ア 推進委員会の開催

（平成21年5月27日、平成22年2月22日）

イ 指導者合同研修会の開催

（平成21年7月3日 216人、9月13日 146人、11月15日 84人）

ウ 実地調査

（北上市、滝沢村、遠野市、釜石市、一関市）

#### (2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	運営委員会	子ども教室数
盛岡市	○	6
八幡平市	—	—
雫石町	—	—
葛巻町	○	4
岩手町	—	—
滝沢村	○	2
紫波町	○	4
矢巾町	○	2
花巻市	○	9
遠野市	○	11
北上市	○	3
西和賀町	—	—
奥州市	○	11
金ヶ崎町	○	1
一関市	○	20
平泉町	○	2
藤沢町	—	—
大船渡市	—	—

陸前高田市	○	—
住田町	○	2
釜石市	○	6
大槌町	—	—
宮古市	○	4
山田町	○	3
岩泉町	○	—
田野畑村	○	6
川井村	○	5
久慈市	○	8
洋野町	○	6
野田村	—	—
普代村	○	3
二戸市	○	6
軽米町	○	8
九戸村	○	4
一戸町	○	5
計	27市町村	141教室

### 2 少年団活動の支援

#### (1) 子ども会等少年団体の組織状況（平成21年4月1日現在）

団体名	団体数	会員人数
ボーイスカウト	24	900
ガールスカウト	12	280
地域子ども会（県子ども会育成連合会加盟分）	1,188	31,955

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

#### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

#### (2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者育成事業／プログラム事業
ガールスカウト日本連盟岩手県支部	リーダー養成講習会／ガールスカウト支部ギャザリング
岩手県子ども会育成連合会	子ども会活動活性化事業／指導者世話人研修会

### 3 青年団体活動の支援

#### (1) 組織状況（平成21年4月1日現在）

団体名	構成団体数	会員人数
岩手県青年団体協議会	18	1,112

#### (2) 事業内容

##### ア 地域開発実践活動

青年問題研究集会、地域づくり運動事業等

##### イ 8回岩手県青年大会

###### (ア) 体育部門

期 日……平成21年8月22日～23日、9月5日

場 所……盛岡市、矢巾町、滝沢村

種 目……バレーボール、バスケットボール、軟式野球、卓球、剣道、柔道、フットサル

###### (イ) 文化部門

期 日……平成21年9月6日

場 所……岩手県青少年会館

種 目……郷土芸能、人形劇、生活文化、のど自慢、パフォーマンス

##### ウ 第58回全国青年大会

期 日……平成21年11月13日～16日

場 所……東京体育館、日本青年館他

種 目……陸上競技、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、軟式野球、ソフトボール、卓球、柔道、剣道、ボウリング、フットサル、演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、美術展、生活文化展、将棋、意見発表、交流プログラム

### 4 青年教室・講座

項 目	開設数	参加者数	内 容
30人以上で20時間以上	31教室(4市町村)	1,132人	1 人間関係に関すること 2 市民性、社会性に関すること 3 職業、家庭に関すること 4 郷土理解に関すること
上記以外（自立開設）	291教室(10市町村)	5,395人	
合 計	322教室(14市町村)	6,527人	

第2章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

5 青少年教育施設の利用状況

(1) 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

（生活方針）「規律」「友情」「協同」「奉仕」

(2) 青少年の家の利用者数

[単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	583	27,797	45,077
陸中海岸青少年の家	426	16,012	25,466
県北青少年の家	512	20,370	29,623
計	1,521	64,179	100,166

(3) 県北青少年の家スケート場利用者数

[単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	264	492	756
小学生・中学生	4,347	4,490	8,837
高校生・大学生	93	450	543
一般	1,618	7,994	9,612
計	6,322	13,426	19,748

(4) 類型別実利用者数

[単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
事業参加	施設主催事業	4,011	3,015	3,097
	県主催事業	343	354	642
学校利用	大学・短大	280	50	143
	各種学校	824	0	51
	高等学校	1,585	827	1,415
	中学校	4,133	1,927	2,310
	小学校	4,297	1,872	4,456
地域団体利用	サークル(勤労青年)	58	38	0
	サークル(一般)	1,692	716	629
	子ども会	2,969	1,349	2,173
	スポ少団体	3,973	1,645	3,079
	児童館・公民館	1,664	414	590
	幼稚園・保育園	89	1,075	888
企業体		1,471	148	858
その他		408	2,582	39
合計		27,797	16,012	20,370

### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

#### 1 学習機会の提供

親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供した。

##### (1) 子育て・親育ち講座（県事業）

ア 目的……家庭教育や子育てに関する広域的な現状と課題を踏まえ、家庭教育の充実を図る。

イ 期 日……平成21年6月～平成22年3月（盛岡地区、北上地区）

ウ 内 容……① 生活リズムの向上を促すための啓発事業

② ひきこもりやニート対策のための啓発事業

③ 企業と連携した家庭教育支援推進のための啓発事業

④ 情報モラルや読み聞かせ推進のための啓発事業（講演、シンポジウム、体験教室等）

エ 受講者数…177人

##### (2) 子育て・親育ち講座（市町村への補助事業）

ア 目的……親等が多数集まる機会を利用して、子どもの心理や親子の関係について学習する。

イ 期 日……平成21年5月～平成22年3月

ウ 内 容……6市町村において、次の機会を利用して各種講座を実施した。

① 幼児期講座

② 小学校入学時講座（就学時健診等の機会を活用）

③ 中学校入学時講座（入学説明会等の機会を活用）

④ 父親の家庭教育参加促進事業

エ 受講者数…5,549人

##### (3) 子育てサポーター養成講座

ア 目的……子育てに関する専門的な知識や技能を有し、地域における子育てサークルの育成や子育てネットワークの構築に指導的な立場で携わる子育てサポーターを養成する。

イ 期日及び内容……次の4テーマについて、それぞれ1泊2日の日程で講座を実施した。

① 平成21年6月25日～6月26日、子育て支援の重要性

② 平成21年7月23日～7月24日、子どもの発達とカウンセリング

③ 平成21年9月3日～9月4日、子育て支援の実際

④ 平成21年10月1日～10月2日、これからの子育て支援

ウ 受講者……41人

エ 岩手県子育てサポーターの認定

本講座修了者を「岩手県子育てサポーター」として認定、登録した。

岩手県子育てサポーター登録者数： 307人（平成21年度末現在）

2 学習機会の提供と相談体制の充実

様々なメディアを活用して、家庭教育・子育てに関する情報を全ての親に提供するとともに、家庭教育に悩む親等が気軽に相談できる窓口を設置し、その周知に努めた。

(1) 子育てサポーター交流会の実施

目的……子育てサポーター登録者の資質の向上を図るとともに、子育てサポーター相互の連携を図ることにより、本県の家庭教育の充実に資する。

内容……子育て支援に関する講演・情報交換

(2) 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

ア 目的

家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話による相談を行い、家庭教育の充実に資する。

イ 内容

生涯学習推進センターに設置する専用電話「すこやかダイヤル」により、相談員が親等の家庭教育に関する相談に応じる。

【すこやかダイヤル】

電話番号：0198-27-2134

開設期間：通年（祝日、年末年始は除く）

相談対応：平日10時～17時は電話、夜間

・休日はFAX、留守番電話

ウ 相談件数 841件

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	49	5.8%
しつけ全般	91	10.8%
遊び・友だち	76	9.0%
家庭・環境	147	17.5%
知能・ことば	18	2.1%
いじめ・不登校	46	5.5%
虐待・育児不安	28	3.3%
心理・性格	72	8.6%
集団生活・社会性	85	10.1%
学習・進路	62	7.4%
その他	167	19.9%
計	841	100%

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

#### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

### (3) 携帯電話やパソコンを活用した子育て相談

#### ア 目的

子育てに不安や悩みを持ちながら孤立しがちな若い世代の親等が、いつでも、どこでも、気軽に相談したり、子育ての情報を入手したりできるよう、携帯電話やパソコンを活用したメール相談や情報提供を行い、家庭教育の充実を図る。

#### イ 内容

生涯学習推進センターが運営する「まなびネットいわて」を活用し、メール相談者に対する相談員によるアドバイスのメール回答や、配信希望登録者へのメールマガジン配信（毎週木曜日）等の情報提供を行う。

#### ウ 相談件数 581件（トップページカウント数5,269件）

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	153	26.3%
しつけ全般	76	13.1%
遊び・友だち	14	2.4%
家庭・環境	76	13.1%
知能・ことば	14	2.4%
いじめ・不登校	4	0.7%
虐待・育児不安	34	5.9%
心理・性格	72	12.4%
集団生活・社会性	35	6.0%
学習・進路	7	1.2%
その他	96	16.5%
計	581	100%

## 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

学校教育ではぐくまれる「生きる力」を基盤とし、変化の激しい社会において、各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることができるよう、学習情報提供や相談体制の充実、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりなど、生涯にわたって学習を継続できるようにするための支援や環境等に取り組んだ。

#### 1 生涯学習社会の実現を目指した推進体制の充実

近年における社会経済の急激な変化に伴う社会構造の変化、高度情報化や国際化の進展等の一方で、高齢化社会の進行も一層顕著になってきている。

生涯学習の推進においては、このような社会の変化に適切に対応しながら、一人一人が生きがいを感じながら学びを継続するとともに、学んだ成果を適切に生かしていくことが求められている。

平成18年12月には、時代の変化に対応すべく、教育基本法に「生涯学習の理念」(第3条)が新しく規定されたことをはじめ、「教育の目標(第2条)」、「家庭教育(第10条)」、「社会教育(第12条)」、「学校、家庭及び地域住民等の連携協力(第13条)」等、学校教育のみならず、生涯学習・社会教育関係の規定の充実も図られた。

本県においても、一人一人が真に生きがいのある人生を創造するとともに活力に満ちた地域社会を築くための施策の展開が求められている。

#### (1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、もって本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度全員の委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

#### 【岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議】

ア 期日

平成21年8月5日

イ 出席

委員15人中13人出席

ウ 内容

(ア) 平成21年度主要施策について

a 生涯学習文化課

b 教育企画室

c 学校教育室

d スポーツ健康課

- (イ) 岩手県生涯学習振興計画の進捗状況について
- (ウ) 平成21年度優良公民館表彰に係る選考について
- (エ) 今、求められている学校・家庭・地域住民等の連携・協力の在り方について

## 2 連携と協力による生涯学習の普及奨励

### (1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の提供や広報活動に努めた。なお、平成17年2月より、携帯電話によるアクセスも可能となっている。

#### ア【生涯学習情報提供事業】

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

- a 情報量……………15,889件 [平成20年度17,050件、1,161件減]
- b 利用件数……………24,202件 [平成20年度23,440件、762件増]
- c トップページカウント数…… 27,935件 [平成20年度25,615件、2,320件増]

#### イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

- (ア) 発行部数…………… 500部 [平成20年度500部] ※(県内小中学校へメール配信600件)
- (イ) 年間発行回数…………… 4回 [平成20年度4回]

### (2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業を実施するとともに、所外学習情報提供システム「まなびネットいわて」において、広域的な学習機会と学習情報の提供に努めた。

また、電話による学習相談を行うとともに生涯学習推進専門研修講座を行った。

#### ア 生涯学習ボランティア活動推進事業（ボランティアセンター10箇所の合計登録数）

- (ア) 個人……………697人 [平成20年度1,008人、311人減]
- (イ) 団体……………116団体 [平成20年度147団体、31団体減]

#### イ 電話相談「マナビコール」の開設

- (ア) 開催日……………毎週月～金曜日
- (イ) 時間…………… 9時～17時
- (ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員
- (エ) 相談件数……………224件 [平成20年度227件、3件減]

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

## 第2 生涯にわたる学習機会の充実

生涯学習の中核を担う社会教育を充実するとともに、家庭教育をはじめとした生涯にわたる学習機会の充実を図り、自立した個人の育成や地域コミュニティの形成を促した。

### 1 成人の学習活動の支援

#### (1) 一般成人教育

##### ア 学級講座（成人大学講座等）

	市町村数	学級数	受講者数
成人大学講座	17	197	6,480
成人学級・講座	26	1,719	38,831
その他	19	760	20,835

##### イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

#### (ア) ボランティア登録者の活動

- a 登録者数……697人（10生涯学習ボランティアセンター）
- b 活動回数……2,242回（読み聞かせ、お話し会、映画会、福祉活動等）

#### (イ) ボランティアの研修

- a 岩手県読書をすすめるつどい  
平成22年2月6日 アイーナ 250人参加 講演及び事例発表

##### ウ 成人団体活動の支援

#### (ア) P T Aへの補助

補助団体	補助対象事業	事業内容	補助金額
(社) 岩手県 P T A 連合会	家庭教育セミナー	○平成21年9月5日、久慈市、317人 ○平成21年10月31日、北上市、278人 ○基調講演及びパネルディスカッション	150千円
	岩手県 P T A リーダー研修会	○平成21年7月4日 ○盛岡市 ○講演及びパネルディスカッション ○参加者数448人	
	市町村 P T A 連合会	○34市町村 ○青少年の健全育成	
	会報発行	○「P T A いわて」13,000部×3回	
岩手県高等学校 P T A 連合会	会長研修会	○平成21年10月16日～17日 ○花巻市ホテル千秋閣 ○研究協議・体験学習会・講演 ○参加者数53人	120千円
	事務局長研修会	○平成21年11月6日 ○盛岡市ホテルルイズ ○研究協議・講演 ○参加者数64人	
	母親委員研修会	○平成21年7月8日 ○盛岡市ホテルルイズ ○発表・講演 ○参加者数228人	

第2章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

岩手県国公立幼稚園PTA連絡協議会		120千円
研究大会	○平成21年7月2日 ○奥州市文化会館Zホール ○講演・分科会 ○参加者数364人	
ブロック研修会	○平成21年9月～11月 ○5ブロック ○講演、実践交流会 ○参加者数234人	
会報発行	○200部×1回	

(イ) 岩手ユネスコ協会連盟への支援

事業名	実施期日	実施場所	対象及び人数		事業内容
			対象	人数	
第14回ユネスコ運動岩手県大会(北上大会)	10月3日～4日	北上市ホテルシティ北上	県ユネスコ協会会員、単位ユネスコ協会会員、その他関係者	300人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「平泉文化遺産の世界遺産登録に向けて」 講師 宮 昌隆 氏</li> <li>・ 記念講演「童話とハチローの世界」 講師 佐藤四郎 氏</li> <li>・ フォーラム「ユネスコ活動の継承と発展」</li> <li>・ エクスカーション(鬼の館、平和記念館見学)</li> </ul>
ユネスコ活動顕彰事業(第14回いわてユネスコ賞)	9月8日(選考)	サンセール盛岡	ユネスコ賞選定委員会	6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学賞：県立胆沢高等学校</li> <li>・ 文化賞：遠野市立土淵小学校</li> <li>・ 活動奨励賞：県立大東高等学校 県立不来方高等学校 北上市立黒沢尻西小学校</li> <li>・ 教育賞：藤澤 義栄 氏(成島小学校)</li> </ul>
	10月17日(表彰)	県内各所	表彰伝達		
国際交流活動研修会兼第6回岩手県ユネスコ研究大会	1月22日～23日	国立岩手山青少年交流の家	ユネスコ関係者、高校教員、行政担当者、高校生等	148人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「ESD：持続可能な社会への挑戦」 講師 玉真之介 氏</li> <li>・ 分科会「地球環境」「世界遺産」「多文化共生」「平和」</li> <li>・ 交流学習「楽しく、さらに仲よく」</li> <li>・ 全体会</li> </ul>
高校ユネスコ活動充実事業	通年	盛岡市他	県高等学校ユネスコ委員会及び教員	—	県高等学校文化連盟国際理解専門部ユネスコ委員会と連携し、活動の促進を図り、助成
ユネスコ国際理解推進講師事業(地区講演会支援)	5月16日	二戸市浄法寺町	ユネスコ関係者	34人	「ユネスコに思う～夢をあきらめないで～」 村田 愛子 氏
	8月2日	二戸市キリスト教会	ユネスコ関係者	50人	「平和についてともに考えよう」 東山 道治 氏
	10月3日	北上市	ユネスコ関係者、高校生、行政関係者、市民	300人	「童話とハチローの世界」 佐藤 四郎 氏
ユネスコ運動普及及広報活動(会報の発行及び普及講演会の実施)	5月20日	県内及び講演会等にて配布	ユネスコ協会、教員、県民	200部	20号(高校ユネスコ大会)
	8月28日			500部	21号(東北ブロック大会)
	1月30日			200部	22号(高校ユネスコ研究大会)
	8月28日	盛岡市アイーナ	ユネスコ関係者等	34人	基調講演 「地域に根ざしたユネスコ活動のこれから」 寺尾 明人 氏

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

	2月28日	盛岡市アイーナ	ユネスコ関係者、 県民	104人	国際理解講演会 「文化の多様性と異文化間の対話～多文化共生社会に 受けて～」 服部 英二 氏
	10月14日 ～18日	盛岡市アイーナ	ユネスコ関係者、 県民	多数	「2009ワンワールドフェスタinいわて」 ユネスコ活動紹介展示
市町村ユネスコ 活動懇談会	5月16日	二戸市浄法寺町	ユネスコ協会員、 市民	34人	総会・懇談会に会長出席
	6月24日	盛岡市		150人	盛岡ユネスコ協会創立60周年記念式典に会長出席
	8月28日	盛岡市		34人	県内ユネスコ協会情報交換交流会
	10月3日	北上市		250人	北上ユネスコ協会30周年記念式典に会長・事務局員出席
	11月26日	二戸市浄法寺町		50人	浄法寺ユネスコ協会創立5周年並びに日本ユネスコ協会 連盟加盟記念式典に会長出席

#### (2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様で高度な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に努めた。

#### ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が一定期間にわたり、継続して行われた。

##### 【学級・講座開設状況】

区 分	市町村数	学級数	学級生数
女性学級・講座	22	959	18,701
その他	10	368	7,346

#### イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を図った。

##### 【組織状況（平成21年4月1日現在）】

団 体 名	単位団体数	会員数
岩手県地域婦人団体協議会	48	11,096

#### (ア) 【リーダー研修会（平成21年7月11日～12日 青少年会館 115人）】

- a 講演「日常生活のマナー～素敵に輝く女性のために～」  
講師 熊澤 厚子 氏（現代礼法研究所 マナーデザイナー）
- b 講演「心が健康であるために」  
講師 菊池謙一郎 氏（岩手県立大学看護学部教授）
- c グループワーク「ちふれ化粧品の購買力を高めるための取り組みについて」  
事例発表 住田町婦人団体連絡協議会

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

紫波町連合婦人会

平泉町地域婦人団体協議会

d リラックスタイム

ペーパークラフト、環境にやさしい編み物、折り紙で脳トレ、ハンガリーの踊り

e 県立博物館見学・講演

「たくましく 生き抜いた いわたの母ちゃん」

講師 熊谷 道仁 氏 (岩手県立博物館学芸調査員)

(イ)【岩手県婦人大会第54回盛岡大会 (平成21年10月8日 盛岡市都南文化会館 約830人)】

a 講演「原敬と敬愛した母そして妻、浅・貞子」

講師 赤川 博之 氏 (原敬記念館館長)

b 防災研修

(a)「女性と防災～災害時における女性の人権～」

講師 石井 布紀子 氏 (有限会社コラボねっと代表)

(b)「LPガスと地域防災」

講師 八重樫 茂 氏 (社団法人岩手県高圧ガス保安協会専務理事)

## 2 高齢者の学習活動の支援

### ○ 高齢者学級・講座

高齢者の高度で多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが、一定期間にわたり、継続して行われた。

区分	市町村数	学級数	学級生数
高齢者学級・講座	28	642	35,273
その他	10	236	6,693

## 3 視聴覚教育

### ○ 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが要請されている。

指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

#### ア 視聴覚教育指導者研修 (社会教育関係)

視聴覚教育総合全国大会 (愛知県岡崎市) 平成21年10月27日～28日 2人参加

#### イ 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

専任職員等研修会 (生涯学習推進センター) 平成21年6月18～19日 14人参加

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### ウ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	56
花巻・北上	1	18
奥州・一関	2	29
大船渡	1	8
釜石	1	6
宮古	2	9
大槌	1	0
久慈	—	—
二戸	1	2
計	12	128

#### エ 教材フィルム利用状況

[単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用状況	観覧者数
中央	1,707	28,993
花巻図書館	238	4,768
北上市	116	3,337
西和賀町	0	0
県南第一	1,438	45,341
沿岸第一	666	12,106
釜石市	91	1,995
遠野市	54	984
大槌町	2	66
久慈市	69	1,758
県北第二	170	4,052
二戸	398	6,745
計	4,949	110,145

#### 4 指導体制の充実

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村に社会教育主事が52人、社会教育指導員が61人配置されている。

県民の学習要求が高度化・多様化する中、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、現職教育は重要な領域となっている。

平成21年度は、以下の研修等を行った。

##### (1) 新任社会教育関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年5月7日～8日 | 生涯学習推進センター | 87人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項及び職務に関する研修

##### (2) 生涯学習情報提供システム担当者研修会

【期日】平成21年5月12日、13日、14日、21日、22日（日程・内容等は同じ）

【会場 | 参加者数】生涯学習推進センター | 計47人

【内容】生涯学習情報提供システムの運用及び情報の更新、入力等に関する研修

##### (3) 社会教育指導員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年5月19日～20日 | 生涯学習推進センター | 99人

【内容】社会教育指導員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

##### (4) 親・地域との関係づくりセミナー

【期日】平成21年8月4日、1月8日

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【会場 | 参加者数】生涯学習推進センター | 計31人

【内容】教職員を対象に、保護者や地域との結びつきを深める具体的方策等を学ぶ研修

#### (5) 放課後子どもプラン指導者合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】(第1回)平成21年7月3日 | 生涯学習推進センター | 204人

(第2回)平成21年9月13日 | 生涯学習推進センター | 140人

(第3回)平成21年11月15日 | いわて子どもの森 | 84人

【内容】「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報交換・情報共有・連携の促進、資質の向上を図る研修

#### (6) 岩手県社会教育主事・公民館職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年9月2日 | 生涯学習推進センター | 76人

【内容】社会教育職員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

#### (7) 岩手県社会教育委員・公民館運営審議会委員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年11月13日 | 生涯学習推進センター | 124人

【内容】社会教育・生涯学習推進の基本的事項に関する研修

#### (8) 教育メディア専門研修講座

期 日	会 場	参加者数	内 容
平成21年9月16日～17日	生涯学習推進センター	18人	ホームページ作成
平成21年10月8日	生涯学習推進センター	17人	パワーポイント基礎
平成21年11月10日	生涯学習推進センター	9人	パワーポイント応用

#### (9) 社会教育計画専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年6月12日 | 生涯学習推進センター | 11人

【内容】計画策定のための諸条件の分析や施策の体系化・構造化等に関する研修

#### (10) 参加体験型学習専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年7月15日 | 生涯学習推進センター | 10人

【内容】参加体験型学習に関する専門的研修

#### (11) 学習プログラム開発専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年8月26日 | 生涯学習推進センター | 21人

【内容】学習機会に関する学習プログラム立案・展開に関する専門的研修

#### (12) 移動研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】

期 日	会 場	参加者数
平成21年5月28日	二戸市	55人
平成21年7月22日	花巻市	20人
平成21年7月31日	北上市	23人
平成21年9月29日	宮古市	19人
平成21年11月18日	久慈市	18人

第2章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

平成21年12月4日	盛岡市	12人
平成21年12月11日	奥州市	19人
平成22年2月18日	花巻市	15人
平成22年2月24日	一関市	19人

【内容】市町村の社会教育・生涯学習事業の充実を図るための専門的研修

(13) 図書館等職員研修

ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年4月24日 | 県立図書館 | 15人

【内容】(ア) 新任の図書館長及び公民館図書室等の長を対象にした基礎的研修

(イ) 講話 (市町村図書館等の運営)

(ウ) 講義 県立図書館等概況説明

(エ) 情報・意見交換

イ 図書館等初任職員研修

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年6月18日～19日 | 県立図書館 | 31人

【内容】

(ア) 図書館及び公民館図書室の経験年数3年未満の職員を対象にした実務に関する研修

(イ) 講義 (図書館の相互協力、資料の受入～配架、著作権、レファレンスサービス、県立図書館ホームページの利用)

(ウ) 情報・意見交換

ウ 図書館等中堅職員研修

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年6月18日～19日 | 県立図書館 | 31人

【内容】

(ア) 図書館及び公民館図書室の経験年数3年以上の職員を対象にした図書館の実務に関する専門研修

(イ) 講義 (図書館評価、図書館における広報)

(ウ) 講義、実技 (図書資料の補修)

(エ) 情報・意見交換

エ 図書館長・図書館職員等及び図書館協議会委員合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成21年10月15日 | いわて県民情報交流センター (アイーナ) | 47人

【内容】(ア) 講演 (「貸出を伸ばす」ための図書館経営)

(イ) 事例発表 (三圏域図書連携、新図書館建設と開館準備)

(ウ) 全大会

オ 市町村職員専門研修

	期日	会場	参加者数	内容
レファレンス研修	平成22年1月22日	県立図書館	47人	リサーチ・ナビ
	平成22年3月5日	宮古市立図書館	29人	講話、解説
児童サービス研修	第1回 平成22年2月18日	二戸市立図書館	5人	講話、発表、意見交換
	第2回 平成22年2月19日	花巻市立図書館	16人	

(14) 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

ア 公民館職員専門講座

公民館職員に求められる専門的・実践的な知識技術についての研修

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【期日 | 会場】平成21年6月22日～26日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、研究協議、事例研究等

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

#### イ 全国生涯学習センター等研究交流会

生涯学習センター等の相互の連携協力を推進するため、当面する諸課題について研究協議する。

【期日 | 会場】平成21年6月2日～3日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】研究協議、講義・事例研究、シンポジウム等

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

#### ウ 社会教育計画の立案と評価に関する研究セミナー

社会教育行政における計画、事業、施設経営等の評価を促進するため、計画の立案と評価の在り方について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成21年9月30日～10月2日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】研究協議、講義、事例研究、実践研究等

【参加者数】2人（生涯学習推進センター、宮古教育事務所）

#### エ ボランティア活動推進研究セミナー・学校支援ボランティア推進フォーラム

学校支援ボランティアの在り方に視点をあて、地域住民が様々な観点から子どもの教育活動を支援していくためのボランティア活動の推進方策等について研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成21年9月16日～18日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、事例研究、研究協議、特別講義

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

#### オ 全国社会教育主事研究協議会

都道府県・政令市の社会教育主事が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成21年5月28日～29日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】行政説明、基調講演、事例研究、研究協議等

【参加者数】2人（生涯学習文化課）

#### カ 新任図書館長研修

公共図書館の管理運営の向上及び情報提供サービスの高度化を図る

【期日 | 会場】

平成21年9月1日～4日 | (主)国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、(副)奥州市水沢図書館

【内容】講義等

【参加者数】1人（奥州市水沢図書館）

#### キ 美術館を活用した鑑賞教育充実のための指導者研修

鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小中学校の教員と美術館の学芸員等が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成21年8月3日～5日 | 東京国立近代美術館

【内容】講義、研究討議、グループワーク等

【参加者数】 1人（盛岡市立仁王小学校教諭）

#### ク 地域教育力の向上に関する研究セミナー

地域教育力の活用を促す「コーディネーター」の役割等に視点をあて、地域教育力の向上に資する社会教育活動の推進方策及び事業の企画立案の在り方等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】 平成21年9月9日～11日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】 基調講義、事例研究、研究協議、シンポジウム等

【参加者数】 2人（生涯学習推進センター、一関市公民館主事）

#### ケ 社会教育主事専門講座

国の生涯学習施策についての理解をもとに研究協議を行い、都道府県・指定都市における生涯学習社会教育の充実・発展を図る立場としての力量を高める。

【期日 | 会場】 平成21年10月28日～30日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】 講義、調査研究報告、研究協議等

【参加者数】 2人（生涯学習推進センター、一関教育事務所）

#### コ 生涯学習機関等の連携に関する実践研究交流会

生涯学習関係機関・団体の関係者がそれぞれの実践と研究成果をもとに交流し、連携・協力の推進方策等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】 平成21年12月17日～18日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】 特別講義、実践研究発表、パネルディスカッション等

【受講者数】 1人（青少年・男女共同参画課）

#### サ 社会教育主事講習への派遣

秋田大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】 平成21年7月14日～8月6日 | 秋田大学、秋田県立岩城少年自然の家

【内容】 講義、演習、グループ研究等

【参加者数】 8人：市町村職員5人、小学校教員2人、中学校教員1人

### 5 社会教育施設の整備充実（1 県立生涯学習推進センター）

#### (1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

#### (2) 運営の重点

##### ア 学習情報の提供

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実に努める。

(ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実

(イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実

(ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

##### イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

- (ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施
- (イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進
- (ウ) 習推進研究発表会の開催

#### ウ 指導者の養成・研修

生涯学習関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

- (ア) 生涯学習推進上の課題を踏まえた基本研修、領域別研修、専門研修及び課題別研修の充実
- (イ) 有志指導者の養成研修の充実
- (ウ) 各機関・団体の学習課題に対応した希望研修の充実

### (3) 事業等の実施状況

#### ア 学習情報の提供

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用  
インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

#### 【生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の利用状況】

分野	利用件数(前年比)	<参考>情報数(前年比)
講座・イベント	11,663(△1,539)	5,176 (+362)
施設	2,066 (+542)	1,522 (+20)
団体・グループ	3,724 (+1,045)	2,106 (△614)
指導者	4,996 (+998)	581(△1,023)
教材	1,753 (△274)	6,504 (+94)
計	24,202 (+762)	15,889(△1,161)

- (イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報

【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】500部・年4回 【配布先】県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等

- (ウ) 学習相談事業「マナビコール」

【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談

電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）

【相談件数】平成21年度224件

- (エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談

電話番号：0198-27-2134

（月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、休日はFAX、留守番電話対応）

【相談件数】平成21年度841件

- (オ) 子育て相談「子育ていわてケータイサイト」

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【内容】子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

【相談件数】平成21年度581件

【子育て情報提供】毎週木曜日メールマガジン配信

#### イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「いわての生涯学習」の発行

【名称】研究報告13 【内容】社会教育と学校教育の連携・協力に関する研究

【発行部数】1,500部 【配布先】県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等

(イ) 岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】平成22年2月9日～10日 【会場】生涯学習推進センター

【参加者数】162人（延べ224人）

【内容】 a 基調報告「生涯教育のまちー30年の歩み」

b 講演「生涯学習社会を支える公民館のあり方」

c 研究発表・協議「社会教育と学校教育の連携・協力に関する調査研究」

「社会教育関係職員・委員を対象とする研修の充実方策に関する調査研究」

d 事例発表・協議「学校と地域の連携」「釜石市教育振興協議会の取組」

「奥中山高原イメージアップ作戦事業について」

#### ウ 指導者の養成・研修

##### 【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	43 (0)	1,819 (△35)
随時研修	3 (△2)	79 (△24)
施設利用	31(△13)	2,006 (△925)
その他	0 (0)	0 (0)
計	77(△15)	3,904 (△984)

##### 【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区分	研修・講座名	期日	受講者数	
基本研修	新任社会教育関係職員研修講座	平成21年5月7日～8日	87	
領域別研修	社会教育指導員研修講座	平成21年5月19日～20日	99	
	生涯学習情報提供システム担当者研修会	盛岡管内	平成21年5月12日	13
		宮古・一関管内	平成21年5月13日	5
		釜石・久慈管内	平成21年5月14日	2
		花巻・北上・奥州管内	平成21年5月21日	12
		大船渡・二戸管内	平成21年5月22日	15
	学校支援地域本部事業合同研修会	平成21年6月5日	118	
	放課後子どもプラン指導者合同研修会	第1回	平成21年7月3日	204
		第2回	平成21年9月13日	140
家庭教育子育て電話相談員研修会	平成21年10月1日	7		
子育て支援ネットワーク研修会	平成21年10月1日	88		

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

	岩手県地域視聴覚協議会専任職員等研修会 [共催]		平成21年6月18日～19日	13	
	岩手県社会教育主事・公民館職員研修会 [共催]		平成21年9月2日	76	
	岩手県社会教育委員、公民館運営審議会委員研修会 [共催]		平成21年11月13日	124	
専門研修	学習プログラム開発専門研修講座		平成21年8月26日	21	
	社会教育計画専門研修講座		平成21年6月12日	11	
	教育メディア専門研修講座	①ホームページ作成		平成21年9月16日～17日	18
		②パワーポイント作成基礎編		平成21年10月8日	17
		③パワーポイント作成応用編		平成21年11月10日	9
	参加体験型学習専門研修講座		平成21年7月15日	10	
移動研修講座（11回、11日）		平成21年5月28日～平成22年2月24日	224		
養成研修	家庭教育子育てサポーター養成講座	第1回	平成21年6月25日～26日	42	
		第2回	平成21年7月23日～24日	44	
		第3回	平成21年8月20日～21日	42	
		第4回	平成21年10月1日～2日	39	
希望研修	随時研修		随時	112	
	出前研修		随時	966	
	親・地域との関係づくりセミナー		平成21年8月4日	22	
		平成22年1月8日	9		
岩手県生涯学習推進研究発表会			平成22年2月9日～10日	162	
計				2,931	

## 5 社会教育施設の整備充実（2 県立図書館）

### (1) 運営の方針

#### ア 運営体制の充実と広報活動の推進

- (ア) 図書館の運営に関し協議等を行うため、図書館法第14条に基づく「岩手県立図書館協議会」を置く。
- (イ) 的確な図書館運営に対応するため、派遣研修等により職員の資質の向上に努める。
- (ウ) 県立図書館及び市町村立図書館等の活動に関する情報を広く県民に提供するため、各種印刷物やホームページ等を活用し、広報の充実を図る。

#### イ 図書館資料の収集、整理、保存と活用の推進

- (ア) 「岩手県立図書館資料収集方針」に基づき、図書館資料を収集し、各種図書目録の整備を行い、県民及び市町村立図書館等の利用に供する。
- (イ) 郷土関係資料の保存機関として、網羅的な収集、整理、保存に努めるとともに、郷土資料講座等を通じて広く県民に紹介するなど、その普及・奨励を図る。
- (ウ) 県内の市町村立図書館等とのネットワークを構築し、県内総合目録の整備など、多くの県民が図書館資料を利用できる環境の整備を行う。

#### ウ 相談機能の強化

- (ア) レファレンス・サービスなどの情報提供や読書案内等を通じ、県民の学習活動の支援を行う。また、市町村立図書館等を支援する協力レファレンスや各種の情報提供を行う。
- (イ) 郷土資料に関する各種データベースを構築し、ホームページ等を通じて県民及び市町村

立図書館等に提供する。

#### エ 市町村立図書館等の支援強化

- (ア) 多くの県民が図書館サービスを楽しむことができるよう、「未来を拓く いわたの図書館 ― 岩手県公立図書館等振興指針―」に基づき、図書館運営等に関する助言・支援を行うとともに、協力貸出等の各種支援を実施する。
- (イ) 市町村立図書館におけるレファレンス・サービスや児童サービスの充実、郷土に関する書誌情報の発掘・情報提供、学校図書館との連携など、図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同した調査・研究などの取組みを行う。
- (ウ) 市町村立図書館等における広域サービス体制や、専門研修など市町村立図書館職員を対象とした研修の充実を図るとともに、市町村立図書館等における図書館間の情報の共有化を図るためのネットワークを構築する。

#### オ 学習機会の提供と読書活動の奨励

- (ア) 他の社会教育施設や複合施設内の各施設、大学等との連携により、展示会、講演会及び映画会等の学習機会の提供を行うとともに、読書普及活動などに関する県民の活動成果を発表する場を提供する。
- (イ) 「岩手の読書週間」をはじめとする各種週間に合わせ、「岩手県読書をすすめるつどい」などの事業を実施するとともに、県内の読書サークルや各種団体、企業、学校、市町村等に対し、読書普及用の図書の貸出（団体貸出）を行い、県内の読書活動の促進を図る。

#### カ 関係機関・団体との連携強化

- (ア) 複合施設内の各施設との連携を図り、来館者の多様な学習ニーズに対応する。
- (イ) 県内外の公立図書館、岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会、各種ボランティアグループ及び読書グループ等との連携を密にし、図書館サービスの向上や読書の普及・奨励を図る。
- (ウ) 他の社会教育施設、大学や専門機関等との連携を強化し、情報提供等サービスの拡充を図る。

### (2) 実施状況

#### ア 県立図書館協議会開催状況

【期日】平成22年2月25日

【協議事項】・平成21年度事業実施状況について ・平成22年度事業計画について

#### イ 広報活動

各種機関誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に努めた。

#### ウ 図書館資料の収集

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。資料収集等の実績は次のとおり。

(ア) 図書資料

[単位：冊]

第2章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総冊数
一般用	6,027	5,744	407	547,022
団体用	1,696	69	4,201	126,937
計	7,723	5,813	4,608	673,959

(イ) 視聴覚資料

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	1	0	1,529
ビデオテープ	22	172	338	3,948
DVD	74	70	4	1,578
CD	99	33	3	3,716
レコード	0	0	0	1,492
CD-ROM	1	89	0	464
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	0	102
計	196	365	345	14,277

(ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル数]

区分	年度末総タイトル数
新聞	280
雑誌	4,083
計	4,363

(エ) マイクロフィルム

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
マイクロフィルム	19	0	0	10,484

(オ) 電子資料

[単位：点]

区分	年度末総点数
CD-ROM等	464
オンラインデータベース	18
計	482

エ 利用者サービス

(ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数………509,501人[前年比24,433人減]

新規貸出登録者数…7,871人[前年比1,118人減]

(イ) 個人への館外貸出数

区分	冊数又は点数
図書資料	298,516
視聴覚資料	28,028
うちビデオテープ	5,527
DVD	7,406
CD	15,095

(ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、一般向け46回、児童向け25回、計71回開催した。

また、児童向け読み聞かせ会を47回開催した。

(エ) 参考調査

調べものや読書相談に延べ9,317件対応した。

(オ) 二次資料の作成

参考調査業務の能率化を図るため、二次資料4点を作成した。

- ・レファレンス事例データベース
- ・郷土関係雑誌目次集
- ・岩手日報郷土関係記事索引
- ・県内新聞雑誌所蔵目録

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### オ 市町村への支援協力

##### (ア) 市町村立図書館等職員専門研修

レファレンス研修2回 児童サービス研修2回

##### (イ) 市町村立図書館等への訪問・助言 12回

##### (ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員17人 2回

##### (エ) 協力貸出

図書資料： 1,345件、 3,367冊

視聴覚資料： 37件、 69点

##### (オ) 団体貸出

図書資料： 55団体、 44,665冊

視聴覚資料： 33団体、 60点

##### (カ) 展示資料の貸出

県立図書館で展示した図書資料を、希望する市町村立図書館延べ78館に一定期間貸し出した。

##### 【貸出展示資料】

延べ497点：「岩手県郷土出版物展」「賢治資料展」  
「文学賞受賞図書展」「手づくり絵本展」他

##### (キ) 図書館等実態調査

県内の図書館等の図書施設の実態を把握するため、平成21年4月1日現在で調査を実施した。

#### カ 展示事業

##### (ア) 4階展示コーナー企画展示

実施内容	展示点数	開催期間
金原端人翻訳300冊記念巡回展	176	平成21年4月1日～4月15日
第51回こどもの読書週間「いわての生きもの～身近にくらす鳥や虫～」	188	平成21年4月23日～5月24日
歴史探訪―奥州をめぐる人々―	161	平成21年6月1日～7月5日
岩手県郷土出版物展―平成20年4月～平成21年3月―	258	平成21年7月12日～8月2日
新聞・雑誌広告展～明治・大正・昭和～	176	平成21年8月9日～8月23日
防災のススメ～過去に学び、今に備える～	210	平成21年9月1日～9月15日
森口多里とその時代	218	平成21年9月25日～10月19日
第29回賢治資料展	441	平成21年10月27日～11月24日
岩手文学紀行―戦後の作家を中心に―	325	平成21年12月10日～平成22年1月25日
第30回手づくり絵本・手づくり紙芝居展	109	平成22年2月1日～2月7日
いわての歴史シリーズⅢ 新渡戸仙岳	79	平成22年2月20日～3月3日

##### (イ) 各カウンターミニ展示

場 所	実施内容	開催回数
総合カウンター	「黄金の國いわて “から全国へ” など	18
児童コーナー	「まきばへいこう!!」など	12
新聞・雑誌コーナー	「新生活応援!」など	16
音と映像コーナー	「CKYって何だろう?」など	24

## 5 社会教育施設の整備充実（3 県立青少年の家）

### (1) 県南青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に努めた。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (7) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (ウ) 親しみやすい施設運営と利用者層の拡大に努めた。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 掲示資料等の収集と研修環境の整備を図った。
- (ウ) 施設・設備の点検と安全の確保に努めた。

### (2) 陸中海岸青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 活動内容の充実と参加者層の拡大に努めた。
- (イ) 近隣市町村を中心に関係機関との連携を強化し、事業をより充実させることができた。
- (ウ) ボランティアの育成とその活用に努めた。
- ④ 家族参加型事業の充実を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 利用団体との事前打ち合わせを充実させ、利用者の目的が達成するよう支援できた。
- (イ) 利用者のニーズを把握し、より良い活動内容の提供に努めた。
- (ウ) 施設・整備の効果的な活用と柔軟な運営を図った。諸活動の前には下見に行く等、極力、安全面に配慮した。

#### ウ 利用の促進

- (7) 関係機関・団体との連携強化を図った。
- (イ) 未利用団体に対して利用促進に努めた。
- (ウ) 利用者が満足できる接遇に努めた。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の計画的な整備・充実を図った。
- (イ) 活動環境の保全と美化の促進に努めた。
- (ウ) 情報、資料の収集整備と提供に努めた。
- (エ) 活動エリアの施設等点検と安全確保に努めた。

### (3) 県北青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 各季節の星座を紹介するため、プラネ鑑賞デーの秋の星座鑑賞を新規に実施した。
- (イ) 宿泊体験事業の拡大・充実に努めた。
- (ウ) 関係機関・NPO団体等との連携強化を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 団体の研修目的が達成されるよう積極的な支援に努めた。
- (イ) 団体の活動計画に対応した柔軟な運営に努めた。
- (ウ) 計画的なスキルアップ研修や研究を行い、研修プログラムの充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (7) 訪問活動による利用団体の開拓を行った。
- (イ) 施設開放事業を行い県民に親しまれるよう努めた。
- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の安全点検、補修整備を計画的に行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 自然環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立県南青少年の家 平成21年度主催事業及び自主事業】

- (1) 「**かるがも親子体験教室**」  
【目的】親子で共同体験や交流活動を行うことにより、相互の理解と関係を深めるとともに、親同士の交流を通して子育てをする仲間づくりを促進する。  
【対象】小・中学生の子どもを持つ家族20家族40人程度  
【内容|期日|参加者数】  
①親子でアウトドアクッキング編|7月4日|34人  
②親子でキャンプ!|9月12日~13日|51人  
③④親子でWinter創作編!|③12月12日、④12月19日|58人
- (2) **自然ワンダークラブ**  
【目的】四季を通してさまざまな活動を体験することにより、環境についての考えを深め、自然を大切にしようとする心を育てる。  
【対象】小学校4年生~中学生25人、高校・大学生等ボランティア  
【内容|期日|参加者数】  
①~春~ ふるさとの風 | 6月6日~7日|23人  
②~夏~ ふるさとの川 | 8月29日~30日|22人  
③~秋~ ふるさとの山 | 10月10日~11日|23人  
④~冬~ ふるさとの雪 | 1月23日~24日|24人
- (3) **水と緑のフレンドシップ**  
【目的】異年齢集団による野外体験活動等を通して、主体的に活動する心豊かでたくましい青少年の育成を図る。  
【内容】仲間づくりレク、キャンプ、野外炊事、創作活動等  
【対象】小学校5年生~中学生30人、高校・大学生等ボランティア  
【期日|参加者数】7月27日~7月31日|30人
- (4) **みんなdeスクラム**  
【目的】親子が気軽にさまざまな体験活動を行い、活動の喜びを共有しながら、経験の拡大と参加者相互の交流を図る。  
【対象】特別な支援を要する児童・生徒とその保護者20人、高校・大学生等ボランティア  
【内容|期日|参加者数】  
①新緑の季節を体感しよう! [動物とのふれあい・農業体験等]|6月13日|16人  
②実りの秋を体験しよう! [収穫体験・乗馬体験等]|9月19日|25人
- (5) **冬のおもしろ体験ランド**  
【目的】冬の自然に触れながら、野外活動の喜びを体験するとともに、創作活動等を通じて参加者相互の交流を図る。  
【内容】Enjoy!! スキー&スケート [スキー・スケート体験等]  
【対象】小学校4年生~中学生30人、高校・大学生ボランティア  
【期日|参加者数】①2月6日~7日、②2月13日~14日|46人
- (6) **冬のわくわく創作ランド**  
【目的】長期休業を利用し、子どもたちに創作活動の機会を提供することで、物作りの楽しさを体験してもらうとともに、参加者相互の交流を深める。  
【内容】「イライラ棒」「トゥインクルシート」製作  
【対象|期日|参加者数】小学校4年生~中学生30人|1月9日|14人
- (7) **アドバイザースタッフ養成講座**  
【目的】児童生徒の学校外活動を援助する高校生・大学生等の育成を図り、施設におけるボランティア活動を推進する。  
【内容】ニュースポーツ、創作活動、野外炊事等  
【対象】高校生・大学生等ボランティア20人  
【期日|参加者数】5月23日~24日|31人
- (8) **集団宿泊指導研修会**  
【目的】宿泊研修を効果的に実施するための知識・技術の習得を図るとともに、利用団体間の計画調整を図る。  
【内容】野外活動、創作活動、情報交換等  
【対象】利用団体関係者等  
【期日|参加者数】①5月8日、②8月11日|63人
- (9) **ホットタイムin県南**  
【目的】さまざまな体験活動を通して、余暇の充実を図る。  
【内容|期日|参加者数】①平泉ウォークラリー|7月16日|15人  
②姫神山登山 | 10月21日|29人
- (10) **県南は~とふるDay**  
【目的】日常と異なる環境の中で、さまざまな体験活動を通して参加者相互の交流と経験の拡大を図る。  
【内容】野外活動、創作活動等  
【対象|期日|参加者数】学校不適応児童・生徒|9月10日|15人
- (11) **体験!体感!みどりのキャンパス**  
【目的】青少年の体験学習活動を推進する指導者を養成するために、必要な知識の習得及び技術の向上を図る。  
【内容】施設紹介、野外活動、ニュースポーツ、創作体験等  
【対象】社会教育・学校教育関係者、子ども会等少年団体指導者20人  
【期日|参加者数】①5月8日、②8月11日|50人
- (12) **レッツ!スキー**  
【目的】青少年の余暇利用として、スキーを楽しむ機会を提供するとともに、参加者相互の交流を深める。  
【内容】夏油高原スキー場でのスキー実技等  
【対象】スキー経験のある小学4年生~小学6年生30人  
【期日|参加者数】12月21日、②1月17日|28人
- (13) **親子deシークレット体験**  
【目的】体験活動をととして、親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりを進める。  
【内容】ぶどう狩り、ひつみちぎり体験、バーベキュー、水晶拾い等  
【対象】小・中学生の子どもを持つ家族12家族36人程度  
【期日|参加者数】11月21日~22日|31人
- (14) **【自主事業】みどりのキャンパスふれあいフェスティバル**  
【目的】スポーツや創作活動等を通して、県南青少年の家に対する理解と親しみを深めるとともに、生涯スポーツ等への参加の契機とする。  
【内容】ニュースポーツ体験、創作体験、作品展、食の祭典等  
【期日|参加者数】10月3日~4日|1,340人
- (15) **【自主事業】県南青少年の家所長杯「サッカーフェスティバル」**  
【目的】スポーツを通して、青少年の健全育成を図るとともに、参加団体相互の交流を促進する。  
【内容】サッカー試合、サッカー講習会  
【対象】サッカースポーツ少年団15チーム  
【期日|参加者数】10月3日~4日|16チーム1,332人
- (16) **【自主事業】レッツ!スケート**  
【目的】青少年の余暇利用として、冬季野外活動の機会を提供するとともに、スケートを楽しみながら親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。  
【対象】小学生~家族、一般40人  
【期日|参加者数】①2月6日、②2月13日|198人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立陸中海岸青少年の家 平成21年度主催事業及び自主事業】

##### (1) 自然体験活動セミナー

【目的】自然体験活動の普及を図るため、指導者の養成をねらい、実践活動を通して資質の向上を図る。

【対象】学校教育・社会教育担当者、教員20人

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ① 鯨山登山 | 4月11日 | 5人
- ② 鯨山登山 | 4月17日 | 11人
- ③ 野外炊事、ネイチャーゲーム等 | 4月30日～5月1日 | 19人

##### (2) アドバイザースタッフセミナー

【目的】ボランティア活動の基礎的な知識や技術等を習得させ、施設ボランティアの養成を図る。

【対象】中学生・高校生・大学生・青年一般30人

【内容】講義、野外活動、創作実習、レク・ゲーム等

【期日 | 参加者数】 3月24日～25日 | 9人

##### (3) 創作ひろば

【目的】青少年の余暇活動として、季節の創作活動の機会を提供する。親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。

【対象】小学生(家族)～一般30人

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ① クリスマスキャンドル、ミニ門松等 | 12月19日 | 76人
- ② 和菓子作り | 2月27日 | 34人

##### (4) ワンダフルネイチャー

【目的】野外活動を通して、身近な自然に対する興味や関心を深める。参加者相互の交流やふれあいを深める。

【対象】小学生(家族)～一般30人

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ① 新緑の鯨山トレッキング | 5月17日 | 81人
- ② シュノーケリング | 7月11日 | 54人

##### (5) 海釣り道場

【目的】自然の中で、海釣り(船、堤防)の醍醐味を滞喫する。親子、参加者相互の交流やふれあいを深める。

【対象】小学生以上の20家族 ①②各コース30人、③40人

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ① 船釣り、堤防釣り | 4月25日～26日 | 荒天のため中止
- ② 船釣り、堤防釣り | 9月12日～13日 | 57人
- ③ ハゼ釣り | 9月26日 | 26人

##### (6) 「家族ふれあい塾」

【目的】野外での自然体験活動を通して、親子の相互理解を図り、ふれあいを深める。親同士の交流を通じて連帯感を醸成し、子育てをする仲間作りを促進する。

【対象】15家族45人

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ① アウトドア料理と鯨カヌーでいくオランダ島 | 7月4日～5日 | 38人
- ② 来て！見て！ふれて！三陸あったか体験 [新巻鮭造り、養殖体験等] | 11月8日～9日 | 25人

##### (7) 自然体験塾

【目的】自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にすることを育み、参加者相互の交流を図る。

###### ア 海の子野外教室

【内容】キャンプ体験、いかだ遊び、海中散策、海釣り等

【対象】小学5年生～高校生30人

【期日 | 参加者数】 8月6日～11日 | 39人

###### イ チャレンジキッズ

【内容】テント泊、いかだ遊び、野外炊事等

【対象】年長～小学4年生、保護者30人

【期日 | 参加者数】 8月29日～30日 | 15人

###### ウ シルバーキャンプ

【内容】バーベキュー、グラウンド・ゴルフ等

【対象】概ね60歳以上の方とその家族20人

【期日 | 参加者数】 9月5日～6日 | 6人

##### エ 雪ん子野外教室

【内容】歩くスキー、そり遊び、アイスクリーム作り等

【対象】小学4年生～6年生30人

【期日 | 参加者数】 1月11日～14日 | 25人

##### (8) [自主事業] マリンランド杯交流ミニバスケットボール大会

【目的】大会を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。

【対象】山田・大槌町内のミニバスケットボールスポーツ少年団

【期日 | 参加者数】 3月6日、7日 | 704人

##### (9) [自主事業] マリンランド杯交流フットサル大会

【目的】大会を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。

【対象】沿岸地区のサッカースポーツ少年団

【期日 | 参加者数】 2月20日、21日 | 1,430人

##### (10) やまびこキャラバン

【目的】各地域での集会活動や各地域での教育力向上を支援するために、地域に出向き創作等を紹介し、ものづくりの楽しさ等を体験してもらう。

【対象】幼児・小学生(家族)～一般

【内容 | 期日 | 参加者数】 通年 | 2,500人 (60団体)

##### (11) ハートフルキャラバン

【目的】創作活動やニュースポーツを通して参加者相互の交流を図り、心身ともに健康な生活ができるきっかけ作りの場を提供する。

【対象】不登校傾向にある児童・生徒等

【期日 | 参加者数】 0人(参加希望者なし)

##### (12) 読み聞かせ読書ボランティア研修会

【目的】子どもの読書活動を推進するため、読書ボランティアとして必要な知識・技術等の習得を図る。

【内容】講義、読み聞かせ演習、実習

【対象】中学生・高校生・読書ボランティア活動者、各10人程度

【期日 | 参加者数】 2月13日～14日 | 34人

##### (13) 高齢者のためのいきいきスポーツ大会

【目的】社会参加活動の一環として、各種大会・講習会等を実施するにあたり、その円滑な運営のための支援を行う。

###### ア グラウンドゴルフ大会

【対象】沿岸地区在住概ね60歳以上の県民160人程度

【期日 | 参加者数】

- ① 5月28日 | 137人
- ② 9月2日 | 125人
- ③ 10月29日 | 127人

###### イ ゲートボール大会

【対象】沿岸地区在住概ね60歳以上の県民100人程度

【期日 | 参加者数】

- ① 5月19日 | 115人
- ② 1月29日 | 63人

##### (14) 親子Deチャレンジ!!

【目的】3青少年の家の連携により、体験活動を通して、親子のふれ合いや家族同士の親睦を深める。

【内容】カーリング体験、スケート、プラネタリウム鑑賞

【対象】8家族 30名程度

【期日 | 参加者数】 11月21日～22日 | 9人

##### (15) 親子Deチャレンジ!!

【目的】施設を開放し陸中海岸青少年の家に対する理解を図る。

【内容】創作、ニュースポーツ、ウォークラリー、各種体験活動等

【期日 | 参加者数】 10月4日 | 276人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立県北青少年の家 平成21年度主催事業及び自主事業】

##### (1) 野外活動セミナー

【目的】 野外活動プログラムの展開に必要な実技研修を行うことにより、当施設におけるより円滑な活動に資する。

【内容】 野外活動技術、施設見学、利用説明、プログラム相談

【対象】 5月から10月までの利用団体の担当者

【期日 | 参加者数】 ①5月1日 | 16人 ②5月27日 | 21人

##### (2) ボランティア研修会

【目的】 高校生等のボランティア活動への参加意欲を高め、当施設におけるボランティア育成を図る。

【内容 | 対象】 講義及び実習等 | 高校生等、一般 定員なし

【期日 | 参加者数】 ①5月8日～10日 | 13人 ②9月25日～27日 | 13人

##### (3) ジュニアフォレスト大作戦

【目的】 各季節における森林に関する学習や体験活動等を行うことにより、自然を大切にする心を育み、環境保全へ向かおうとする実践意欲を育てる。

【内容】 森林学習、自然観察、野外炊事、環境保護活動体験等

【対象】 小学校4年生～小学校6年生30人

【期日 | 参加者数】 ①5月9日～10日 | 70人

②10月3日～4日 | 59人 ③1月23日～24日 | 50人

##### (4) わんぱく広場

【目的】 体験活動をととして、思いやりの心を育てるとともに、友だちや親子のふれあいを深める。

【内容】 うどん打ち体験、流しうどん等

【対象 | 期日 | 参加者数】 子どもから大人まで60人 | 6月6日 | 117人

##### (5) プラネ鑑賞デー

【目的】 季節の星座の紹介など、プラネタリウム鑑賞を通して、天文やファンタジックな宇宙への興味を喚起する。

【内容 | 対象】 プラネタリウム投影等 | 子どもから大人まで60人

【期日 | 参加者数】 ①7月5日 | 71人 ②9月20日 | 32人

##### (6) サマースクール

【目的】 各種の野外活動等を通して、自然を大切にする心、豊かな感性や思いやりの心、リーダーの育成を育むとともに、活動意欲に満ちた青少年の育成を図る。

【内容】 自然体験、野外活動、創作活動等

【対象】 小学校3年生～4年生 30人

【期日 | 参加者数】 7月18日～19日 | 68人

##### (7) 夏休みなんでも教室

【目的】 自然環境の中で、異年齢集団での中期にわたる多彩な活動を通して、自主性、忍耐や思いやりの心を育むとともに、活動意欲に満ちた青少年の育成を図る。

【内容】 自然体験、野外活動、野外炊事、キャンプ体験等

【対象】 小学校5年生～6年生 30人

【期日 | 参加者数】 ①《初級》7月27日～30日 | 22人

②《中級》8月7日～11日 | 29人

##### (8) あつまれキッズランド

【目的】 自然等を介した学びの場において、自立心や協調性を育むとともに、参加者同士の交流を図る。

【対象】 5、6歳児、小学校1年生～2年生 20人

【内容】 レクリエーション、自然探索等

【期日 | 参加者数等】 9月26日～27日 | 28人

##### (9) 星友の日

【目的】 青少年の家等における活動を通して、学校不適応児童・生徒が生活範囲を広げる機会を提供することにより、参加者

の行動意欲を高める。

【内容】 創作活動、自然観察、ニュースポーツ等

【対象】 小・中学校学校不適応児童・生徒

【期日 | 参加者数】 10月21日～23日 | 5人

##### (10) スケート実技セミナー

【目的】 スケート利用団体の指導者の各技能別による技術の向上を図るとともに、各技能別指導法を研修する。

【内容】 スケート教室の展開（実技・説明）、プログラム相談等

【対象】 11月から3月までのスケート利用団体担当者

【期日 | 参加者数】 11月9日 | 10人

##### (11) スケート場感謝デー

【目的】 「いわて教育の日」の趣旨を踏まえて、県北青少年の家のスケート場を開放し、家庭・地域のふれあいを促進するとともに、健全育成を図る。

【内容】 スケート場無料開放、氷上スポーツ体験等

【対象】 子どもから大人まで

【期日 | 参加者数】 11月8日 | 495人

##### (12) だれでも氷上スポーツ

【目的】 冬季スポーツの技術の向上を図るとともに、青少年の健全育成を図る。

【内容】 ①～③技能別スケート教室等

④カーリング教室等、 ⑤氷上綱引き

【対象】 ①～④子どもから大人まで50人

⑤小学生の部、大人の部（中学生以上）合計24チーム

【期日 | 参加者数】 ①11月7日 | 0人（11月8日オープンのため中止）

②11月28日 | 64人 ③12月5日 | 79人 ④2月6日 | 105人

⑤3月6日 | 182人

##### (13) 【自主事業】 県北さくらまつり

【目的】 桜の開花時期に合わせて屋外施設を一般開放し、日頃の利用に感謝するとともに、当青少年の家の本格的な活動時期の到来を広く県民に周知する。

【内容 | 対象】 仲間づくり、創作活動等 | 子どもから大人まで

【期日 | 参加者数】 5月17日～23日 | 44人（イベントは17日のみ）

##### (14) 【自主事業】 県北フェスティバル

【目的】 県北青少年の家を開放し、生涯学習の拠点としての青少年の家への理解と親しみを深め、各種活動を通して参加者相互の交流を図る。

【内容】 創作等体験、ステージ発表等

【対象 | 期日 | 参加者数】 子どもから大人まで | 8月23日 | 822人

##### (15) 【自主事業】 親子deチャレンジ！

【目的】 県南青少年の家、陸中海岸青少年の家、県北青少年の家の三つの施設が互いに連携を取り合って企画するもので、体験活動を通して、親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。

【内容】 スケート、カーリング、情報交換会等

【対象】 小学校以上の子どもの持つ家族 10家族程度30人

【期日 | 参加者数】 11月21日～22日 | 53人

##### (16) 【自主事業】 スケート場キッズ感謝デー

【目的】 スケートを初めとした氷上スポーツの普及と冬季における体力・健康増進を図るとともに、今年度の利用に感謝し小学生以下にスケート場靴代、入場料を無料とし開放することにより利用促進を図る。

【内容】 スケート教室等

【対象】 小学生以下の子ども

【期日 | 参加者数】 3月21日 | 343人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

## 5 社会教育施設の整備充実（4 市町村の社会教育施設：公民館）

### (1) 施設

県内の市町村が設置する公民館数は365館と前年より1館減少した。公民館未設置市町村は、田野畑村、普代村及び野田村の3村であり、それぞれコミュニティセンター等の関連施設を活用して社会教育諸活動を実施している。

本館		中央館	25
		地区館	193
		小計	218
分館		147	
計		365	

### (2) 職員

社会教育活動の中心的役割を果たす公民館職員は、本務・兼務合わせて386人と前年より80人減少した。また、兼務職員が本務職員数を上回る傾向が続いている。

		館長			補佐・係長			社会教育主事			主事等			計		
		本務	兼務	計	本務	兼務	計	本務	兼務	計	本務	兼務	計	本務	兼務	計
本館	中央館	4	16	20	14	13	27	0	6	6	27	23	50	45	58	103
	地区館	6	46	52	41	29	70	3	15	18	51	37	88	101	127	228
	小計	10	62	72	55	42	97	3	21	24	78	60	138	146	185	331
分館		0	20	20	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	21	21
計		10	82	92	55	43	98	3	21	24	78	60	138	146	206	352

### (3) 第57回岩手県公民館大会

生涯学習社会の構築が求められ、公民館の果たすべき役割がますます重要になってきている今日、広く県内の公民館関係者や社会教育関係者が一堂に会し、今後の公民館のあり方や具体的な運営方策など今日的な課題について話し合い、研究を深めることにより、本県公民館活動の新たな展開を図るため、次のとおり開催した。

ア 期日・会場 平成21年7月9日～10日（9日：宮古市民文化会館 10日：宮古市磯鶏公民館）

イ 記念講演 「海から生み出す地域の活力～ニシン・花見カキ養殖の取り組み～」  
講師 岩手県指導漁業士・沿岸広域振興経営委員会委員 山根幸伸 氏

ウ 分科会 第1分科会 多様な学習課題に対応した学習機会の提供  
第2分科会 住民参画・協働等による公民館活動  
第3分科会 地域の人材を活かした社会教育事業の展開

### (4) 第62回優良公民館表彰（平成21年度文部科学大臣表彰）

#### ア 一関市立小梨公民館

自然体験活動や異年齢間での活動に積極的に参加し、広い視野を持った心身ともに逞しい青少年の育成することを目指す事業を実施している。PALPAL（パルパル）交流事業では、東京都世田谷区太子堂地区と小梨地区の子どもたちが互いの地区を訪れ、ホームステイや合同キャンプをしながら農業体験や民俗芸能体験等を提供している。地域住民による地域づくりを目指し公民館活動を展開していることが評価された。

#### イ 一戸町立小鳥谷地区公民館

いちのへ文化スポーツNPO・地域包括支援センターの関係者で企画・運営について話し合い、高齢者を対象に健康相談・軽運動・ゲーム等を通して健康維持と参加者間の交流を図るいきいき教室を展開している。地域課題の解決に向けた取組を積極的に実施しており、現代的な課題をテーマに取り入れた学習機会の提供をしている点が評価された。

5 社会教育施設の整備充実（5 県立博物館）

岩手県立博物館は、本県における教育、学術及び文化の発展と、新しい郷土を築く県民意欲の高揚に寄与することを基本姿勢として運営に努めている。平成21年度は、企画展、テーマ展、移動展の開催、各種講演会、セミナーの開催など、館の内外にわたる積極的な活動を展開した。

(1) 博物館協議会開催状況

ア 平成21年度岩手県立博物館協議会

- ① 期日 平成21年10月27日
- ② 会場 岩手県立博物館会議室

③ 協議事項

- a 平成21年度博物館事業実施状況について
- b 平成22年度博物館事業計画(案)について

(2) 平成21年度利用状況

総利用者数：60,850人  
 入館者数……………41,340人  
 教育普及事業参加者数……16,581人  
 移動展入館者数…………… 2,929人

【平成21年度入館者数】

[単位：人、日]

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用				総利用人員				開館 日数	1日平 均利用 人数
	一般	高 大 学 生	小 中 学 生	計	一般	高 大 学 生	小 中 学 生	計	一般	高 大 学 生	小 中 学 生	計	一般	高 大 学 生	小 中 学 生	計		
4	1,279	26	571	1,876	247	0	0	247	431	10	467	908	1,957	36	1,038	3,031	26	116
5	1,877	85	722	2,684	146	80	0	226	761	3	654	1,418	2,784	168	1,376	4,328	27	160
6	675	41	406	1,122	66	0	34	100	531	65	791	1,387	1,272	106	1,231	2,609	25	104
7	947	32	578	1,557	229	0	75	304	658	110	240	1,008	1,834	142	893	2,869	26	110
8	1,624	89	946	2,659	152	2	132	286	500	126	252	878	2,276	217	1,330	3,823	28	136
9	1,251	46	929	2,226	188	0	0	188	3,895	47	3,353	7,295	5,334	93	4,282	9,709	17	571
10	1,106	43	522	1,671	113	0	0	113	506	183	534	1,223	1,725	226	1,056	3,007	27	111
11	971	69	465	1,505	158	0	8	166	863	15	485	1,363	1,992	84	958	3,034	25	121
12	533	36	309	878	1	0	0	1	321	76	177	574	855	112	486	1,453	24	60
1	849	22	486	1,357	32	0	47	79	718	4	111	833	1,599	26	644	2,269	24	94
2	803	22	441	1,266	80	0	0	80	975	10	244	1,229	1,858	32	685	2,575	24	107
3	999	36	680	1,715	104	0	78	182	421	1	314	736	1,524	37	1,072	2,633	26	101
計	12,914	547	7,055	20,516	1,516	82	374	1,972	10,580	650	7,622	18,852	25,010	1,279	15,051	41,340	300	138

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

(ア) 資料の収集整理

平成20年度は、右の6,070点の資料についての受け入れ、登録事務を行った。

【収集資料数】 [単位:点]		地質	生物	考古	歴史	民俗	計
平成20年度末	累計	8,610	93,143	39,000	36,549	16,808	194,110
平成21年度	登録点数	31	5,367	0	387	285	6,070
	計	8,641	98,510	39,000	36,936	17,093	200,180

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- a 地 質 マエサワクジラ椎骨ほか 36点
- b 生 物 エゾシカ剥製標本ほか 32点
- c 考 古 平泉町柳之御所遺跡出土折敷ほか 228点
- d 歴 史 黒漆五枚胴具足ほか 58点
- e 民 俗 電気洗濯機ほか 189点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。

また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

第2章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の各分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

平成21年度は32テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分野	調査研究テーマ
地質	「北上山地、奥羽山脈ならびに北上低地帯における地質学的資料に関する基礎的研究」 ほかに2テーマ
生物	「北東北三県のブナ林を中心とした森林生態系の生物相に関する研究」 ほかに5テーマ
考古	「小田島コレクションについての研究」 ほかに3テーマ
歴史	「霊松院と志和観音堂の研究」 ほかに3テーマ
民俗	「漆に関連する生業及び道具に関する研究」 ほかに7テーマ
文化財科学	「環境に配慮した文化財の湿度環境保全方法の開発」 ほかに6テーマ

ウ 展示活動

(ア) 常設展示の充実

「総合展示」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」等の展示替え  
 「いわて自然史展示室」に「地球史の中の岩手の自然」コーナーを新設  
 「移動展」を埋蔵文化財センターと合同開催

(イ) 特別展示等の開催

種別	名称	会期
テーマ展	いわての女性展 結婚・子育て・山里のくらしー昭和のかあちゃんー	平成21年3月14日～5月10日
地域展	九戸地方の自然と文化 ～久慈市とその周辺～	平成21年5月30日～7月5日
テーマ展	岩手の遺跡を守った人たちー小田島禄郎を中心にー	平成21年7月18日～8月30日
第61回企画展	野生動物と生きる ～岩手のシカとクマ～	平成21年10月3日～12月6日
テーマ展	旅の記憶 ～江戸時代から現代まで	平成21年12月19日～平成22年2月28日
第62回企画展	病をいやす ～くすり・まじない・神だのみ～	平成22年3月27日～5月5日
移動展	いわての宝をみよう～自然と文化、藤沢の縄文(藤沢町文化交流センター)	平成21年11月18日～11月21日
いわての女性展 移動展	①葛巻町 ②葛巻町江刈地区 ③岩泉町 ④紫波町 ⑤花巻市	①平成21年6月4日～6月8日 ②平成21年10月31日～11月1日 ③平成21年11月21日～11月23日 ④平成22年1月16日～1月17日 ⑤平成22年2月9日～2月11日

(ウ) 解説会

以下のとおり、計164催し、2,215人の参加があった。

a 特別展示・展示解説会(12回開催、延べ192人参加)

期日	場所	担当	テーマ
平成21年4月5日	特別展示室	民俗	企画展「いわての女性展」展示解説会③
平成21年4月29日	特別展示室	民俗	企画展「いわての女性展」展示解説会④
平成21年5月6日	特別展示室	民俗	企画展「いわての女性展」展示解説会⑤
平成21年5月31日	特別展示室	各部門	地域展「九戸地方の自然と文化」展示解説会①
平成21年6月21日	特別展示室	各部門	地域展「九戸地方の自然と文化」展示解説会②
平成21年7月20日	特別展示室	考古	テーマ展「岩手の遺跡を守った人たち」展示解説会①
平成21年8月16日	特別展示室	考古	テーマ展「岩手の遺跡を守った人たち」展示解説会②
平成21年10月4日	特別展示室	生物	企画展「野生動物と生きる」展示解説会①
平成21年11月1日	特別展示室	生物	企画展「野生動物と生きる」展示解説会②
平成21年12月19日	特別展示室	歴史	テーマ展「旅の記憶」展示解説会①
平成22年2月11日	特別展示室	歴史	テーマ展「旅の記憶」展示解説会②
平成22年3月27日	特別展示室	民俗	企画展「病をいやす」展示解説会①

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

##### b 移動展展示解説会（3回開催、167人参加）

期 日	場 所	担当	テーマ
平成21年6月6日	葛巻公民館	民俗	移動展「いわての女性展」解説会①
平成21年6月7日	葛巻公民館	民俗	移動展「いわての女性展」解説会②
平成21年11月21日	藤沢町文化交流センター	各部門	合同移動展「いわての宝をみよう」解説会

##### c 常設展示・展示解説会（151回開催、延べ1,856人参加）

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
定時解説	54回（日曜日を除く毎日）	延べ122人	総合展示室	学芸第三課 （解説員）	総合展示室の展示資料に ついての展示解説会
通覧解説	97回（随時）	延べ1,734人			

## エ 教育普及活動

### 【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	県博日曜講座	19回	536人
2	女性展関連講演会	1回	37人
3	博物館秋期セミナー	4回	244人
4	文化講演会	1回	188人
5	冬期文化講演会	1回	64人
6	考古学セミナー講演会・現地見学会	2回	79人
7	第57回自然観察会	1回	21人
8	第58回自然観察会	1回	17人
9	第57回地質観察会	1回	34人
10	第58回地質観察会	1回	31人
11	国際博物館の日「県博バックヤードツアー」	1回	43人
12	チャレンジ！博物館	57回	1,388人
13	博物館どよう探偵団	6回	42人
14	ミュージアムシアター	10回	238人
15	女性展上映会	1回	97人
16	体験教室「みんなでためそう！」	50回	1,417人
17	やってみ体験	8回	250人
18	第2回博物館まつり	1回	6,862人
19	伝統芸能鑑賞会	2回	602人
20	古文書入門講座	10回	260人
21	古文書初・中級講座	10回	316人
22	博物館実習	1回（7日）	63人
23	文化財等取扱講習会	1回（3日）	78人
24	冬の写生会	22回（22日）	21人
25	県博出前講座・とびだせ博物館	25回	1,233人
26	「いわての博物館交流セミナー」	7回	205人
	計	—	14,366人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

##### 1 県博日曜講座（19回開催、延べ536人参加）

期 日	場 所	テ ー マ
4月12日	講堂	いわての女性史～お産の歴史と母子保健～
5月10日	教室	祈りと願いのかたち～岩手の安産・子育て信仰の諸相～
5月24日	教室	縄文土器からわかること
6月14日	教室	岩手山を描く～絵図から風景画へ～
6月28日	教室	観音に秘めた母の愛～紫波土館沢口観音堂から～
7月12日	教室	旧暦は暮らしやすいか～旧暦にみる民俗行事と現代～
7月26日	教室	大正から昭和初期に岩手の考古学～小田島コレクションから～
8月9日	教室	ホテルとウミホテル
8月23日	教室	企画展の舞台裏～開幕前から開幕後までのものがたり水晶展・三県展を例として～
9月13日	教室	小田島緑郎こぼれ話
9月27日	講堂	江刺の古代末期の遺跡について
12月13日	教室	ようこそ地球科学学習室へ～岩手地質案内～
12月27日	教室	後三年合戦絵巻を読む
1月10日	講堂	岩手の鳥類目録と野鳥
1月24日	教室	修学旅行今昔物語
2月14日	教室	花巻のトルストイ・斎藤宗次郎の『二茨自叙伝』を読む
2月28日	教室	長生きする草の一生～多年草の生活史～
3月14日	教室	みちのくの鉄器・銅器・漆器製作を考える～奥州藤原氏および関連遺跡出土資料の調査結果を通して～
3月28日	講堂	岩手の地名に日本語の源流をたどる

##### 2 女性展関連講演会（37人参加）

【期日】4月26日 【場所】講堂

【テーマ】日本のスイス岩泉が教えてくれた母の心

##### 3 博物館秋期セミナー（4回開催、延べ244人参加）

期 日	場 所	テ ー マ
10月11日	講堂	日光に生きる野生動物ツキノワグマとシカなど
10月25日	講堂	駆除か保護か？ クマとシカの生態と岩手における保護管理の現状～
11月8日	講堂	岩手ののけものたち ～嫌われる動物クマとシカの生態を追って～
11月22日	講堂	北上山地の人々の暮らしと野生動物の利用

##### 4 文化講演会（188人参加）

【期日】11月3日 【場所】講堂

【テーマ】岩手のクマとシカ～共存の道をさぐる～

##### 5 冬期文化講演会（64人参加）

【期日】2月4日 【場所】講堂

【テーマ】大塚初重が語る徒然考古学

##### 6 考古学セミナー（2回開催、延べ79人参加）

期 日	場 所	テ ー マ
8月8日	講堂	講演会「岩手の考古学のあゆみ」
8月22日	県北部各所	現地見学会「体感縄文遺跡」

##### 7 第57回自然観察会（21人参加）

【期日】6月7日 【場所】川井村

【テーマ】水と森のサイエンス

##### 8 第58回自然観察会（17人参加）

【期日】10月18日 【場所】大窪山

【テーマ】繁殖期のシカウォッチング

##### 9 第57回地質観察会（34人参加）

【期日】7月5日 【場所】一関市

【テーマ】巖美鉱山の第三紀貝化石  
～竜の口の海の豊かな生物たち～

##### 10 第58回地質観察会（31人参加）

【期日】10月4日 【場所】大船渡市

【テーマ】花こう岩から北上山地の変動

##### 11 国際博物館の日「県博バックヤードツアー」（43人参加）

【期日】5月17日 【場所】館内

【内容】収蔵庫等のバックヤード見学ツアー

##### 12 チャレンジ！博物館（57回開催、延べ1,388人参加）

【期日】第二・第三土曜日と日曜日

【場所】展示室

【内容】月ごとにテーマを設定し、オリエンテーリング形式のワークシートによる資料探索

##### 13 博物館どう探偵団（6回開催、延べ42人参加）

期 日	場 所	テ ー マ
5月23日	館内	花は虫のレストラン
6月13日	館内	お菓子の火山大噴火
6月27日	盛岡城跡	盛岡城たんけん
10月24日	館周辺	博物館周辺の遺跡をめぐる
11月14日	館内	干し柿づくり
11月28日	館内	色の科学実験

##### 14 ミュージアムシアター（10回開催、延べ238人参加）

【期日】第一土曜日 【場所】講堂

【内容】博物館資料や展示、季節等に関連する16ミリ映画上映

##### 15 女性展上映会（97人参加）

【期日】5月5日 【場所】講堂

【内容】葛巻の保健福祉の歴史

##### 16 体験教室「みんなのためそう！」（50回開催、延べ1,417人参加）

【期日】毎週日曜日 【場所】実技室ほか

【内容】年中行事や昔の暮らしの体験、自然観察等、博物館に親しむためのプログラム

##### 17 やってみ体験（8回開催、延べ250人参加）

期 日	場 所	内容及び体験団体
7月25日	実技室	石のオリジナルはんこ・西青山2丁目1区子ども会
8月5日	実技室	土偶づくり・いわて生協やさしいtotoro
9月26日	実技室	石のオリジナルはんこ・松園小学校
10月29日	実技室	石のオリジナルはんこ・城南小学校特別支援学級
11月11日	実技室	偏光フィルターの万華鏡・岩手県立盛岡となん支援学校
1月13日	実技室	まが玉ネックレス・学童保育クラブくろみ子ども会
1月14日	実技室	石のオリジナルはんこ・くじら子ども会
3月27日	実技室	土偶づくり・JSLA仙台

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 18 第2回博物館まつり (6,862人参加)

【期日】9月23日 【場所】館内、芝生広場、民家ほか  
 【内容】土器や化石のレプリカづくり、火おこし、石臼、昔遊びなどの体験コーナーを実施

#### 19 伝統芸能鑑賞会 (2回開催、延べ602人参加)

期日	場所	テーマ
1月11日	民家・玄関	小軽米えんぶり
2月20日	講堂	人形芝居

#### 20 古文書入門講座 (10回開催、延べ260人参加)

【期日】5月～6月 【場所】教室  
 【内容】基礎的なかな文字・崩し字を学ぶ

#### 21 古文書初・中級講座 (10回開催、延べ316人参加)

【期日】7月～8月 【場所】教室  
 【内容】入門講座程度修了者を対象に古文書の形式を学ぶ

#### 22 博物館実習 (7日間開催、延べ63人参加)

【期日】8月20日～8月27日 【場所】館内  
 【内容】学芸員資格取得を希望する学生への館務実習を実施

#### 23 文化財等取扱講習会 (3日間開催、延べ78人受講)

【期日】2月3日～2月5日 【場所】教室他  
 【対象】県内市町村の文化財担当職員及び博物館等職員

#### 24 博物館写生会 (22日間開催、延べ21人参加)

【期日】12月19日～1月17日 【場所】館内  
 【内容】松園地区周辺の小学生、幼稚園・保育園児を対象に実施

#### 25 県博出前講座・とびだせ博物館

(25回開催、延べ1,233人参加)

期日	場所	テーマ
5月7日	大迫町ほか	「トランヴェール」取材対応
5月11日	盛岡市玉山区ほか	北東北、宮沢賢治に学ぶコスモロジー
5月29日	江刈中学校	郷土理解講演会
6月14日	アイーナ	湿原の花と虫たちのゆるやかな関係
6月23日 ～ 6月26日	高岡市ほか	現地説明
7月3日	滝沢中学校	職業講座 (学芸員の魅力)
7月4日	浄法寺総合支所	瀬戸内寂聴記念館展示解説
7月7日	大田小学校	水生昆虫による水質調査
7月12日	館内	たくましく生き抜きたいわたの母ちゃん
7月22日	本宮地区活動センター	教養講座・仏さまと向き合う
8月19日	総合教育センター	博物館資料・史料の活用講座
8月19日	大船渡市カメラアホール	ホテルとウミホテル
9月18日	沼宮内病院	白神山地と北東北の自然について
10月2日	千厩公民館	たくましく生き抜きたいわたの母ちゃん
10月7日	当館	岩手のどぶろく秘話
10月7日	前沢中学校	夢を実現させるためのライフプランニング
10月14日	遠野市	P T A 研修旅行
10月16日	当館	野生動物と生きる～岩手のクマとシカ～
10月18日	奥州市水沢区ほか	奥州史跡散歩
10月21日	八幡平市西根地区市民センター	たくましく生き抜きたいわたの母ちゃん
10月29日	志和公民館	沢口観音堂と霊松院
11月29日	繫温泉愛真館	佐比内と金山
3月8日	繫温泉山いち	平泉の栄華
3月19日	北松園老人福祉センター	たくましく生き抜きたいわたの母ちゃん
3月24日	盛岡地方振興局	たたら図・鍛冶神図に描かれた神々

#### 26 「いわての博物館交流セミナー」 (7回、延べ205人参加)

(岩手県内博物館等連携事業)

期日	場所	テーマ
5月31日	奥州市牛の博物館	マエサワクジラの発見 ～鯨と鯨化石の世界～
8月2日	当館	考古学の黎明期と岩手
9月6日	奥州市牛の博物館	大船渡市立博物館バスツアーガイドほか
9月12日	盛岡市先人記念館	民俗芸能と先人たち ～森口多里、もうひとつの視点～
10月31日	花巻市立博物館	早池峰山の自然と植物
12月20日	一関市立博物館	鍛冶神さま
2月7日	当館	新渡戸稲造と旅

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

### [参考] 博物館等設置状況

#### 1 博物館法第2条の登録博物館（平成22年3月31日現在）

名称	設置者	登録年月日	所在地
陸前高田市立博物館	陸前高田市	昭和34年1月20日	陸前高田市高田町字砂畑61-1
大船渡市立博物館	大船渡市	昭和41年8月1日	大船渡市末崎町大浜221-86
北上市立博物館	北上市	昭和50年10月7日	北上市立花14-59
遠野市立博物館	遠野市	昭和55年6月13日	遠野市東館町3-9
岩手県立博物館	岩手県	昭和55年10月1日	盛岡市上田字松屋敷34
宗教法人碧祥寺立博物館	宗教法人碧祥寺	昭和57年1月20日	和賀郡西和賀町沢内太由3-32
盛岡市子ども科学館	盛岡市	昭和58年7月1日	盛岡市本宮字蛇屋敷13-1
盛岡市先人記念館	盛岡市	昭和62年12月4日	盛岡市本宮字蛇屋敷2-2
萬鉄五郎記念美術館	花巻市	平成2年12月11日	花巻市東和町土沢5区135
北上市立鬼の館	北上市	平成7年10月30日	北上市和賀町岩崎16-131
奥州市牛の博物館	奥州市	平成8年8月30日	奥州市前沢区南陣場103-1
社団法人深澤紅子野の花美術館	社団法人深澤紅子野の花美術館	平成9年9月5日	盛岡市紺屋町4-8
一関市博物館	一関市	平成11年3月1日	一関市巖美町字押野々215
岩手県立美術館	岩手県	平成13年12月4日	盛岡市本宮字松幅12-3
御所野縄文博物館	一戸町	平成15年3月24日	二戸郡一戸町岩館字御所野2
花巻市博物館	花巻市	平成16年6月22日	花巻市高松26-8-1
盛岡市遺跡の学び館	盛岡市	平成16年9月17日	盛岡市本宮字荒屋13-1

#### 2 博物館法第29条の博物館相当施設（平成22年3月31日現在）

名称	設置者	登録年月日	所在地
宮沢賢治記念館	花巻市	平成3年6月26日	花巻市矢沢1-1-36
久慈琥珀資料館	久慈琥珀株式会社	平成4年3月31日	久慈市小久慈町19-56-133
陸前高田市海と貝のミュージアム	陸前高田市	平成16年12月24日	陸前高田市高田町字下宿55
早池峰山岳博物館	花巻市	平成17年12月27日	花巻市大迫町大迫3-39

## 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

### 第1 文化振興基金を活用した支援等

#### 1 創作・発表・鑑賞機会の拡充

文化振興基金を活用した支援等により、各地域において優れた芸術芸能に触れ、鑑賞する機会の拡大を図ったほか、若い世代の活動や発表を行う機会の拡大を推進した。

また、優れた芸術文化を広く県民に鑑賞する機会を提供するため、各種の舞台芸術事業を開催した。

さらに、創作活動を奨励するため、県人作家の文芸作品、美術活動等の奨励を行い、芸術活動の振興と水準の向上を図った。

#### (1) 財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業

##### ア 既存事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
文化活動成果発表事業	7	4,093	岩手のマンガ家作品展示事業ほか
文化活動研修事業	6	1,590	芸術文化講座ほか
文化団体備品整備事業	15	3,430	「乙部さんさ踊り保存会」備品整備事業ほか
刊行物発行业	2	1,080	古文書読み下し「巡検記」出版事業ほか
参加する文化活動推進事業	4	2,130	いしがきMUSIC FESTIVAL'09ほか
特認事業	1	630	岩手県芸術文化活動記録集刊行
計	35	12,953	

##### イ 新規特別枠事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
芸術情報化事業	3	2,276	岩手県高等学校総合文化祭記録DVD作成事業ほか
受賞記念活動支援事業	1	300	戸田智子受賞記念パティスリ演奏会
新進・若手芸術家等派遣事業	2	1,800	(社)岩手県芸術文化協会新進・若手芸術家等派遣事業ほか
アートマネージャー育成事業	2	150	「(財)盛岡市文化振興事業団」アートマネージメント研修会参加事業
計	8	4,526	

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

(2) 第62回岩手芸術祭

ア 開幕式典・開幕フェスティバル

【期日】平成21年10月3日（土） 【会場】岩手県民会館大ホール 【鑑賞者数】1,600人

イ 美術展

種目	期間	会場	入選点数／応募点数	鑑賞者数
日本画	平成21年10月3日～10月6日	岩手県民会館	58点 / 58点	5,583人
版画			31点 / 32点	
水墨画			148点 / 162点	
デザイン	平成21年10月9日～10月12日		96点 / 96点	
写真			156点 / 170点	
現代美術			34点 / 34点	
洋画	平成21年10月15日～10月18日		235点 / 240点	
彫刻			16点 / 17点	
工芸	平成21年10月22日～10月25日		74点 / 86点	
書道		243点 / 246点		

ウ 巡回美術展

期間	会場	鑑賞者数
平成21年11月14日～11月15日	久慈市文化会館展示室	2,617人
平成21年11月17日～11月19日	一戸町コミュニティセンター	
平成21年11月21日～11月23日	岩泉町民会館	
平成21年12月2日～12月3日	釜石市民文化会館中ホール	
平成21年12月5日～12月6日	宮古市民文化会館展示室	
平成21年12月8日～12月9日	山田町中央公民館	
平成21年12月14日～12月20日	奥州市文化会館展示室	

エ 小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	入賞・入選点数／応募点数	鑑賞者数
平成21年11月13日～11月15日	岩手県民会館展示室	1,505点 / 8,170点	2,852人

オ 巡回小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	展示点数	鑑賞者数
平成21年12月11日～平成22年2月25日	9市町村12会場	306点	3,916人

カ 映像フェスティバル

【期日】平成21年10月25日 【会場】久慈市文化会館視聴覚室 【鑑賞者数】48人

キ 演劇

[単位：人]

内容	期日	会場	鑑賞者数
「劇団帯の会」公演	平成21年10月10日	岩手県民会館 中ホール	1,031
「劇団我夢」公演	平成21年11月29日	奥州市文化会館 中ホール	302
「劇団青い海」公演	平成21年11月22日	釜石市民文化会館中ホール	72
「二戸演劇協会 The雲人」公演	平成21年11月22日	二戸市文化会館 中ホール	400

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ク 伝統芸能

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
茶会	平成21年10月4日	盛岡市中央公民館	800
吟詠剣詩舞道祭	平成21年10月11日	岩手県民会館大ホール	1,251
華道展	平成21年10月30日～11月2日	岩手県民会館展示室	2,067
謡と仕舞の会	平成21年10月25日	岩手県民会館中ホール	400
邦楽のつどい	平成21年11月8日	岩手県民会館中ホール	317

ケ 音楽

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
ソロと室内楽の調べ	平成21年10月11日	岩手県民会館中ホール	300
ピアノ演奏会	平成21年10月17日	岩手県民会館中ホール	300
三曲演奏会	平成21年10月18日	岩手県民会館大ホール	650
声楽演奏会	平成21年11月7日	岩手県民会館中ホール	220
ギター音楽の夕べ	平成21年11月21日	岩手県民会館中ホール	280
吹奏楽演奏会	平成21年11月22日	盛岡市民文化ホール大ホール	1,080
合唱祭	平成21年12月6日	二戸市民会館大ホール	1,274

コ 舞踊

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
モダンダンス公演	平成21年10月25日	岩手県民会館大ホール	1,800
日本舞踊公演	平成21年11月15日	岩手県民会館大ホール	1,081

サ 演芸

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊発表会	平成21年11月1日	奥州市民文化会館大ホール	1,500
岩手民謡まつり	平成21年11月22日	岩手県民会館大ホール	1,000

シ 文芸祭

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
戯曲大会	平成21年10月3日	盛岡劇場（盛岡市）	22
俳句大会	平成21年10月10日	岩手県公会堂（盛岡市）	107
短歌大会	平成21年10月10日	共済ビル（盛岡市）	100
文芸評論大会	平成21年10月11日	岩手大学図書館（盛岡市）	9
小説大会	平成21年10月18日	サンセール盛岡（盛岡市）	12
川柳大会	平成21年10月18日	なはんプラザ（花巻市）	79
詩の大会	平成21年10月25日	なはんプラザ（花巻市）	24
随筆大会	平成21年10月25日	サンセール盛岡（盛岡市）	23
児童文学大会	平成21年11月29日	日本現代詩歌文学館（北上市）	13

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ス 県民文芸作品集第39集刊行

【発行日】平成21年12月12日

【掲載点数】146点

【応募点数】443点

セ 移動公演

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊	平成21年12月5日	岩泉町民会館 大ホール	640
新舞踊	平成21年12月6日	サンホテル衣川荘（奥州市）	281

(3) 創作活動奨励事業

ア 芸術選奨

分 野	受 賞 者	受 賞 作 品
文芸（短歌）	斎 藤 いさ子（盛岡市）	歌集「れんげう」
音 楽	寺 崎 巖（盛岡市）	『弦楽合奏団バディヌリ・スペシャルコンサート「伊藤奏子のシェヘラザード」オーケストラ・アンサンブル2009演奏会』の指揮
文芸（評論）	松 田 十 刻（盛岡市） [本名：高橋文彦]	評伝「26年2か月啄木の生涯」

イ 美術選奨

受 賞 者	分 野	受 賞 対 象 活 動
安 藤 郁 子（青森市）	窯芸	グループ展（旧石井県令邸 8月）
伊 藤 自（盛岡市）	造形	個展（ギャラリーla vie 7月）
黒 沢 笑 子（大船渡市）	絵画・銅版 画・平面	いわてアートバトル展（いわてアートサポ ートセンター 風のギャラリー 9月）
村 田 とも子（盛岡市）	絵画	個展（アートステーションギャラリー 5月）
八重樫 理 彦（花巻市）	絵画	個展（ギャラリー彩園子 4月）

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

2 拠点施設の機能の充実

文化活動の拠点施設として、岩手県民会館、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。県民会館においては自主文化事業の充実、県立博物館においては展示内容等の充実（⇒P120～124）、県立美術館において地元作家の作品収集と企画展の充実、及び県立埋蔵文化財センターにおいては発掘調査等を推進した（⇒P133～134）。

(1) 県民会館

ア 施設利用状況

芸術文化普及振興の拠点施設として、県民の活動発表や鑑賞等の芸術文化関係の催し物のほか、学会、大会等に利用されるとともに、演奏会、展示会、講演会等に数多く利用されている。

【県民会館の利用状況】[単位：日、%]

	大ホール		中ホール		第1展示室		第2展示室		会議室（5室）	
	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率
4月	14	48.3	20	69.0	21	72.4	13	44.8	18	62.0
5月	16	57.1	11	39.3	25	86.2	21	72.4	16	57.1
6月	20	71.4	18	66.7	19	67.9	18	64.3	18	64.3
7月	25	83.3	26	86.7	27	90.0	24	80.0	21	70.0
8月	28	96.6	20	71.4	30	100.0	30	100.0	18	62.1
9月	18	62.1	21	72.4	15	51.7	9	31.0	21	72.4
10月	23	79.3	29	100.0	24	80	24	80	23	79.3
11月	19	65.5	25	86.2	26	89.7	25	86.2	20	69.0
12月	16	66.7	20	83.3	24	100.0	21	87.5	15	62.5
1月	4	100.0	4	100.0	27	100.0	27	100.0	2	100.0
2月	5	100.0	4	100.0	20	100.0	20	100.0	1	23.1
3月	20	95.2	21	100.0	29	100.0	29	100.0	22	75.9
計	208	73.0	219	77.7	287	85.9	261	77.9	195	67.5

イ 自主文化事業の実施状況

(ア) 参加型・育成型事業

[単位：人]

期日(回数)	公 演 名	主 な 出 演 者 等	会 場	入場者数
7月26日	弦楽合奏団パディヌリ演奏会	指揮：寺崎 巖 ヴァイオリン：伊藤奏子	大ホール	877
9月12日	いわてJAZZ2009	出演者：上原ひろみ、マンハッタン・ジャズ・クインテット他	大ホール	1069
9月20日	ざ・CLASSIC'09 新人オーディション	審査員：ざ・CLASSIC実行委員会	中ホール	30
11月1日	岩手っ子大地に舞う	演目：菅窪鹿踊、二子鬼剣舞、外山駒踊り、原体剣舞保存会他	大ホール	600
11月28日	能楽 喜多流 (会場：盛岡市民文化ホール)	出演者：野村万作 (人間国宝)、友枝昭世 (人間国宝) 他	大ホール	1,242
12月12日	ざ・CLASSIC'09	出演者：森 知英、斎藤 行、黒木香里、柳澤崇史 他	中ホール	366
1月24日	岩手県民オーケストラ演奏会 (会場：盛岡市民文化ホール)	演目：ベートーヴェン交響曲第7番イ長調作品92 他	大ホール	984
1月31日	岩手の民謡をたずねて	出演者：藤沢東清、佐々木利男、千葉栄人、漆原栄美子 他	大ホール	1,004
5月19日他13回	ロビーコンサート	出演者：藤岡泰子 (フルートの調べ) 他	ロビー	1,450
6月22日他2回	バックステージツアー	参加者：岩手大学教育学部、岩泉小学校、東和中学校		44
3月19日～21日	オペラワークショップ	講師：米谷毅彦 他	リハーサル室	31

(イ) コンサートサロン

[単位：人]

期 日	公 演 名	会 場	入場者数
6月11日	第175回 前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル	中ホール	330
9月10日	第176回 齋藤雅広&三船優子ピアノデュオ・リサイタル	中ホール	298
12月3日	第177回 藤原真理 チェロ・リサイタル	中ホール	357

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

(ウ) 鑑賞サービス事業

[単位：人]

期日(回数)	公 演 名	主 な 出 演 者 等	会 場	入場者数
5月30日	ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2009	演目：W. A モーツァルトディヴェルティメントへ長調 他	大ホール	1,023
7月1日	ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団	指揮：アントニ・ヴィット 演目：ドヴォルザーク 他	大ホール	1,295
9月26日	バレエ「ドン・キ・ホーテ」全幕	出演者：齊藤亜紀、佐々木陽平 他	大ホール	1,418
10月21日	錦秋特別公演 ～芯～	主演者：中村勘太郎、中村七之助、林英哲、高橋竹童 他	大ホール	1,809
10月28日(2回)	細雪	主演者：高橋恵子、賀来千香子、壇れい、中越典子 他	大ホール	3,000
11月3日(2回)	宝塚歌劇 星組公演	出演者：柚希礼音、夢咲ねね 他	大ホール	2,427

(2) 県立美術館

ア 岩手県立美術館協議会の開催状況

	期 日	場 所	内 容
第1回	平成21年9月16日	岩手県立美術館会議室	① 平成21年度美術館事業実施状況 ② 平成22年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館友の会活動状況 ④ 美術館運営
第2回	平成22年2月24日	岩手県立美術館会議室	① 平成21年度美術館事業実施状況 ② 平成22年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館友の会活動状況 ④ 美術館運営

イ 利用状況

[単位：人、日]

	常設展					企画展					観覧者数の計
	観覧者数				開催日数	観覧者数				開催日数	
	小・中・高生	大学生等	一 般	小 計		小中学生	高・大生等	一 般	小 計		
4月	72	5	285	362	23	235	620	6,337	7,192	17	7,554
5月	410	83	357	850	27	646	1,738	14,826	17,210	27	18,060
6月	278	18	575	871	25	115	171	3,905	4,191	15	5,062
7月	127	30	534	691	25	557	253	7,367	8,177	19	8,868
8月	174	20	425	619	26	295	388	6,075	6,758	26	7,377
9月	129	11	493	633	26	241	295	8,221	8,757	24	9,390
10月	379	13	831	1,223	23	10	222	550	782	11	2,005
11月	69	3	262	334	25	540	261	3,087	3,888	25	4,222
12月	106	17	326	449	24	19	26	553	598	14	1,047
1月	165	88	144	397	20	46	71	1,234	1,351	24	1,748
2月	128	11	322	461	24	46	50	2,100	2,196	14	2,657
3月	38	9	221	268	26	90	98	2,762	2,950	19	3,218
計	2,075	308	4,775	7,158	294	2,840	4,193	57,017	64,050	235	71,208

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ウ 展示事業

(ア) 常設展の開催

[単位：人]

区分	会期	観覧者数
第4期展示	平成21年1月24日～4月19日	279(4月1日以降)
第1期展示	平成21年4月24日～7月5日	1,965
第2期展示	平成21年7月10日～10月25日	2,967
第3期展示	平成20年10月25日～平成21年1月18日	961
第4期展示	平成21年1月24日～4月19日	986(3月31日まで)

(イ) 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会期	観覧者数
蜷川実花展 -地上の花、天井の色-	平成21年4月11日～5月31日	24,402
国立トレチャコフ美術館展	平成21年6月13日～7月21日	12,368
京都 細見美術館展	平成21年8月1日～9月27日	15,515
日本の表現主義	平成21年10月20日～11月29日	4,670
千葉 勝展	平成21年12月12日～2月14日	3,131
アートフェスタいわて2009-岩手芸術祭推薦作家展	平成22年2月27日～3月22日	3,964

(ウ) ワンデイ・ミュージアム・ツアー

県北・沿岸地域に居住する県民を対象に無料バスツアーを実施し、美術鑑賞の機会を提供。

【期間】平成21年6月27日～7月19日

【参加者数】486人

エ 教育普及事業

(ア) 展示関連事業

a 企画展教育プログラム

○ギャラリートーク………学芸員による企画展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催

【参加者数】754人

企画展関連講座

[単位：人]

内容	講師	期日	参加者数
「蜷川実花展 アーティスト・トーク」	蜷川 実花 氏 松井 みどり氏	平成21年4月11日	155
「蜷川実花展 ギャラリストトーク」	小山 登美雄氏	平成21年4月26日	50
「蜷川実花展 トーク+シネマ」	岩城 南海子氏	平成21年5月17日	135
「国立トレチャコフ美術館展 開館記念講演会」	スヴェトラナ 氏	平成21年6月13日	54
「国立トレチャコフ美術館展 わたしの忘れえぬロシア」	亀山 郁夫 氏	平成21年6月28日	220
「細見美術館展 スペシャル・ギャラリートーク」	細見 良行 氏	平成21年8月1日	80
「細見美術館展 講演会 - 絵画の暮らしと江戸絵画 -」	安村 敏信 氏	平成21年8月8日	62
「日本の表現主義展 講演会 - 日本の表現主義とは? -」	森 仁志 氏	平成21年10月24日	30
「日本の表現主義展 - 語りとピアノで楽しむ表現主義映画 -」	澤登 翠 氏 柳下 美恵 氏	平成21年11月7日	40

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

#### 第1 文化振興基金を活用した支援等

内 容	講 師	期 日	参加者数
「日本の表現主義展 コンサート」	丸岡 千奈美氏 小笠原 宣子氏	平成21年11月15日	140
「千葉勝展 開催記念スペシャル対談」	千葉 郁世 氏 佐々木 英也氏	平成21年12月12日	92
「千葉勝展 ガラスの魅力 - 高井啓司ワークショップ - 」	高井 啓司 氏	平成22年1月9日	20

#### b 常設展教育プログラム

- コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説  
【期日】毎月第2・第4土曜日に、年間24回開催 【参加者数】 176人
- 常設展関連講座……常設展関連のワークショップ  
【期日】平成21年9月19日～21日 【講師等】渡辺 忍 氏 【参加者数】 31人  
【期日】平成22年2月6日～7日 【講師等】戸村 茂樹氏 【参加者数】 30人
- 夏・冬鑑賞講座  
【期日】平成21年7月22日～8月23日 【参加者数】 10人
- 子ども向け鑑賞カードの作成
- 音声ガイドの更新

#### (イ) 美術普及事業

##### a スタジオプログラム

- 油絵体験講座  
【期日】平成21年6月20日、6月27日、7月4日、7月11日  
平成22年2月20日、2月27日、3月6日、3月11日 【参加者数】 95人
- オープンスタジオ  
【期日】平成21年11月3日 【参加者数】 70人
- アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ。  
【期日】毎月実施 【対象】3～6歳児と保護者 各10組 【参加者数】 371人
- 子供向けワークショップ  
・ジュニアワークショップ 夏「“みやび”な遊びー貝合わせー」  
【期日】平成21年8月8日～9日 【参加者数】 37人  
・ジュニアワークショップ 冬「ガラスの魅力 高井啓司ワークショップ」  
【期日】平成22年1月10日 【参加者数】 20人

##### b 教育プログラム

- ・教員講座（年1回） 【参加者数】 8人
- ・学生サポートスタッフの育成 【参加者数】 220人

##### c 美術プログラム

[単位：人]

内 容	期日	参加者数
館長講座 (年4回)	平成21年9月5日、11月3日、1月16日、3月6日	184
学芸普及課長講座(年3回)	平成21年10月4日、12月6日、2月21日	74
学芸員講座 (年4回)	平成21年11月23日、1月24日、2月7日、3月20日	107

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

d 映像プログラム

○ アートシネマ上映会……美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映 [単位:人]

期 日	内 容	鑑賞者数
平成21年4月19日	アウグスト・ザンダー	25
平成21年5月17日	さくらん	130
平成21年6月14日	人間の運命	74
平成21年7月19日	誓いの休暇	127
平成21年8月23日	美の巨人たち 速水御舟 土田麦僊	18
平成21年9月27日	美の巨人たち 東山魁夷 奥村土牛	46
平成21年10月25日	カリガリ博士	50
平成21年11月22日	メトロポリス	47
平成21年12月20日	ブルーベの恋人	75
平成22年1月31日	スプレンドール	42
平成22年2月28日	邂逅	52
平成22年3月21日	市民ケーン	61

(ウ) 来館者対応事業

a 美術館探検「てくてくツアー」 【期日】 毎月開催（年6回） 【参加者数】 65人

b 団体対応 【期日】 随時 【利用者数】 1,865人

c 美術相談

ライブラリー管理運営（日常美術相談、デジタルビジョン、レファレンス含む）

オ 広報事業

(ア) 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回

(イ) 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度

(ウ) 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度

(エ) 美術館スケジュール等……年4回

カ 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

[修復作品] 高橋 忠彌《鴉がカオスカオスと啼いている》

	油彩、画布	145.0×113.0cm
熊谷 登久平《千厩警察署》	油彩、画布	60.7×72.5cm
橋本 八百二《富士》	油彩、画布	40.4×70.0cm
佐々木精治郎《風景》	油彩、板	26.5×35.0cm
佐々木精治郎《風景》	油彩、板	25.8×35.0cm
松本 竣介《議事堂のある風景》	油彩、画布	60.8×91.3cm
松本 竣介《風景》	油彩、板	24.3×33.4cm
松本 竣介《丘の風景》	油彩、板	24.0×33.0cm
松本 竣介《自画像》	墨等、紙	38.3×28.4cm
松本 竣介《建物》	鉛筆等、紙	38.1×45.7cm

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

松本 竣介《風景》	鉛筆等、紙	27.2× 36.5cm
松本 竣介《少女》	鉛筆等、紙	34.7× 28.0cm

3 文化交流・連携の促進

本県文化の全国への発信及び出演団体の資質の向上を図るため、国民文化祭への派遣団体に対し、交通費の一部を補助した。

○ 国民文化祭参加推進事業

【期 日】平成21年10月24日～11月8日

【場 所】静岡県

【参 加】9団体、計172人

【補助額】1,396千円

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

中学生・高校生の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

1 青少年劇場

(1) 本公演 [単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
声 楽	ビバ! ムジカ!	平成21年6月1日～6月26日	大船渡市ほか7市町村	13	4,588
器 楽	日本のしらべ	平成21年6月29日～7月1日	遠野市ほか4市町村	6	2,597
児童劇	大ひょうげんをめざせ	平成21年6月1日～6月15日	九戸村ほか9市町村	12	4,818

(2) 小公演 [単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
語り芝居	青と緑と茶色のおはなし	平成21年9月1日～9月4日	盛岡市ほか2町	4	73

2 本物の舞台芸術体験事業（学校公演） [単位：公演、人]

種目・演目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
オーケストラ、児童劇、音楽劇、演劇、人形浄瑠璃、邦楽・邦舞、演芸	平成21年9月5日～平成22年1月20日	盛岡市立仙北小学校ほか19校	20	4,882

3 第32回岩手県高等学校総合文化祭 [単位：人]

部 門	期 日	会 場	参加校数等	入場者数
総合開会式	平成21年10月2日	宮古市民文化会館	約1,000人	234
書 道	平成21年11月18日～11月24日	岩手県民会館展示室	50校 1,221点	506
美術工芸	平成21年11月6日～11月9日	岩手県民会館展示室	65校 928点	2,162
合 唱	平成21年7月14日	岩手県民会館大ホール	35校36団体780人	1,000
	平成21年8月22日	岩手県民会館大ホール	28校 700人	1,000
吹奏楽	平成21年8月1日	奥州市文化会館	8校 187人	2,000
	平成21年8月9日	岩手県民会館大ホール	20校 1,003人	2,000
演 劇	平成21年10月16日～10月18日	盛岡劇場	11校 130人	300

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

#### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

文芸	平成21年10月9日	日本現代詩歌文学館	47校	7,006作品	—
囲碁	平成21年10月9日～10月10日	岩手県高校教育会館	17校	104人	—
将棋	平成21年10月23日～10月24日	岩手県高校教育会館	28校	295人	—
器楽	平成21年10月23日	岩手県民会館中ホール	5校	70人	53
写真	平成21年9月25日～9月29日	岩手県民会館展示室・中ホール	14校	304作品	419
放送	平成21年6月5日	岩手県民会館中ホール 他	20校	140人	262
	平成21年11月13日	岩手県民会館中ホール 他	18校	190人	190
郷土芸能	平成21年10月10日	岩手県民会館大ホール	17校	357人	1,100
新聞	平成21年10月8日	岩手県産業会館	11校	15作品	23
自然科学	平成21年12月17日	岩手県立総合教育センター	12校	21発表	163
英語	平成21年10月6日	岩手県民会館中ホール	21校	35人	200
吟詠剣詩舞	平成21年10月13日	岩手県民会館中ホール	5校	16人	50
日本音楽	平成21年10月4日	岩手県民会館中ホール	6校	118人	80
国際理解	平成21年8月25日	盛岡市勤労福祉会館	4校	7人	60
	平成21年10月9日	岩手県赤十字会館	15校	73人	—
マーチングバンド・ バトントワリング	県北 平成21年9月23日	岩手産業文化センター		160人	1,100
	県南 平成21年10月11日	水沢総合体育館		125人	1,600
小倉百人一首かるた	平成21年10月12日	二戸市民文化会館	5校	12人	—
軽音楽	平成21年9月4日	岩手県民会館中ホール	11校	150人	100

#### 4 第33回全国高等学校総合文化祭

平成21年7～8月に三重県で開催された全国高等学校総合文化祭に計386人の高校生を派遣した。

部門	期日	会場	派遣学校名（派遣生徒数）
パレード	平成21年7月29日	伊勢市内	盛岡市立高等学校 [吹奏楽部] (33) 岩手女子高等学校 [バトントワリング部] (10)
演劇	平成21年7月31日～8月2日	四日市市文化会館	盛岡第一高等学校 (1)
合唱	平成21年8月2日	三重県文化会館	盛岡第二高等学校 [音楽部] (39)
吹奏楽	平成21年7月30日～31日	三重県文化会館	黒沢尻北高等学校 [吹奏楽部] (74)
器楽・管弦楽	平成21年7月30日～31日	桑名市民会館	久慈高等学校 [マンドリン部] (14)
日本音楽	平成21年8月1日～2日	鈴鹿市民会館	盛岡第二高等学校 (25) 遠野高等学校 (10)
吟詠剣詩舞	平成21年8月1日	亀山市文化会館	盛岡第二高等学校 (3) 岩手女子高等学校 (6) 大迫高等学校 (2) 久慈高等学校 (2) 福岡高等学校 (2)
郷土芸能	平成21年7月31日～8月2日	伊賀市文化会館	葛巻高等学校 (11) 大船渡東高等学校 (25)
マーチングバンド・ バトントワリング	平成21年7月31日	三重県営サンアリーナ	盛岡市立高等学校 [吹奏楽部] (50) 岩手女子高等学校 [バトントワリング部] (15)
美術・工芸	平成21年7月29日 ～8月2日	三重県立美術館	水沢商業高等学校 (1) 一関第一高等学校 (1) 宮古商業高等学校 (1) 盛岡第二高等学校 (1) 不来方高等学校 (1) 沼宮内高等学校 (1) 前沢高等学校 (1)

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

書道	平成21年7月29日 ～8月2日	三重県文化会館 ギャラリー	盛岡第三高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 盛岡北高等学校(1) 千厩高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1) 一関第二高等学校(1) 福岡高等学校(1)
写真	平成21年7月29日 ～8月2日	三重県営総合競技場体育館	盛岡第三高等学校(1) 盛岡南高等学校(1) 不来方高等学校(2) 盛岡農業高等学校(1) 水沢高等学校(1) 一関第一高等学校(1) 宮古高等学校(1)
放送	平成21年8月1日～2日	松阪市民文化会館、松阪 コミュニティ文化センター	盛岡第一高等学校(4) 黒沢尻北高等学校(2) 盛岡白百合学園高等学校(1) 宮古高等学校(1) 盛岡市立高等学校(1)
囲碁	平成21年8月1日～2日	志摩市阿児アリーナ	盛岡第一高等学校(1) 遠野高等学校(1) 宮古高等学校(1) 久慈東高等学校(1) 種市高等学校(1)
将棋	平成21年7月30日～31日	賢島宝生苑	岩手高等学校(6) 釜石高等学校(1) 東和高等学校(3) 花巻南高等学校(1) 盛岡青松支援学校(1)
弁論	平成21年8月1日～2日	尾鷲市立中央公民館	水沢農業高等学校(1)
小倉百人一首 かるた	平成21年7月30日～8月1日	ゆめドームうえの	一関第一高等学校(5) 盛岡第一高等学校(1) 福岡高等学校(2)
新聞	平成21年7月29日～31日	メッセ・ウィングみえ	盛岡白百合学園高等学校(2)
文芸	平成21年7月31日～8月2日	伊勢市生涯学習センター いせトピア	一関第二高等学校(1) 盛岡第三高等学校(2) 盛岡中央高等学校(1) 岩手高等学校(1)

5 平成21年度 セミナーサポート事業

以下の各部門の延べ413校、3,710人の高校生を対象とした技術講習会を開催する経費を補助した。

部門	期日	会場	参加者数等
書道	平成21年11月24日	岩手県民会館中ホール	50校 200人
美術工芸	平成21年11月9日	岩手県民会館中ホール	65校 620人
合唱	平成21年6月4日～7日	一関文化センター、釜石市民文化会館、盛岡市文化会館、花巻市文化会館	28校 700人
	平成21年6月23日～25日	二戸市民文化会館、盛岡市民文化ホール、奥州市Zホール	
演劇	平成21年5月27日～28日	岩手県民会館	31校 400人
文芸	平成21年10月9日	日本現代詩歌文学館	47校 250人
囲碁	平成21年7月3日	岩手県高校教育会館	16校 107人
将棋	平成21年7月11日	岩手県高校教育会館	28校 202人
器楽	平成21年7月10日	盛岡劇場	5校 70人
写真	平成21年9月25日	岩手県民会館中ホール	14校
放送	平成21年7月14日	NHK盛岡放送局	5校 18人
	平成21年9月27日	盛岡第一高等学校	24校 129人
	平成21年10月8日	岩手県民会館、テレビ岩手	17校 182人
	平成21年12月25日	盛岡第一高等学校	8校 43人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

#### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

	平成21年1月9日	テレビ岩手	9校 55人
郷土芸能	平成21年10月10日	岩手県民会館中ホール	17校 357人
新聞	平成21年10月8日	岩手県産業会館	6校 23人
自然科学	平成21年8月5日～7日	国立天文台水沢VERA観測所 ほか	4校 10人
	平成21年8月6日	岩手県立博物館	5校 9人
吟詠剣詩舞	平成21年10月13日	岩手県民会館中ホール	5校 16人
日本音楽	平成21年7月2日	奥州市文化会館	6校 123人
国際理解	平成21年11月8日	岩手日報社	3校 10人
マーチングバンド・ バトントワリング	平成21年5月30日、8月30日	岩手女子高校	5校 25人
小倉百人一首かるた	平成21年6月20日～21日	サンセール盛岡	3校 11人
軽音楽	平成21年9月4日	岩手県民会館中ホール	12校 150人

### 6 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】第8回岩手県中学校総合文化祭

[開催日] 平成21年11月27日……………開会式、舞台部門：参加者数1,460人  
平成21年11月27日～11月30日………展示部門：入場者数1,250人

[会場] 岩手県民会館

【補助額】1,400千円

### 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う窓口の設置により、県民が気軽に紹介、アドバイス等を受けることができる体制づくりと芸術芸能活動を行う団体、企業、行政等のネットワーク構築を地域振興部と連携して推進した。

#### 1 文化芸術ネットワークの設置

文化芸術活動者が必要とする支援をタイムリーに提供できるよう、支援を必要とする者と支えようとする者のマッチングを行いうる「文化芸術ネットワーク」を4広域圏に設置することを目指しており、平成21年12月に盛岡広域圏のネットワークが設立された。その概要は以下のとおり。

##### (1) 名称及び役員等

名称：盛岡広域文化芸術ネットワーク

会長：中村光紀（特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長）

副会長：林 義明（葛巻文化協会 会長）

：藤澤清美（盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会 会長）

##### (2) 活動範囲

盛岡広域圏8市町村

(3) ネットワーク参加団体

文化芸術関係団体、伝統芸能関係団体、商工観光団体、行政機関など、盛岡広域圏内の様々な分野の29団体で構成。

事務局は、県（NPO・文化国際課、盛岡広域振興局、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課、同盛岡教育事務所）。

(4) 活動内容

様々な分野の団体が持つ多様な情報や知識等を活用し、地域で文化芸術活動を行っている者、これから始めようという者、鑑賞など文化芸術に触れてみたいという者等を支援するため、以下のような取組みを行う。

○情報の共有・活用…ネットワーク参加団体が持つ多様な情報を集め、共有し、活用する。

○相談窓口の設置 …圏内の文化芸術に関する相談窓口を設置し、コーディネーター（調整役）が相談に応じ、調整やアドバイス等を行う。

(5) コーディネーターによる相談対応

盛岡広域圏内の文化芸術に関する相談に対応し、調整やアドバイス等を行う。

「特定非営利活動法人 いわてアートサポートセンター」が対応。

## 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

### 第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくため、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組みを着実に推進した。また、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」について、関係道県や関係市町と連携を図りながら、世界遺産登録に向けた取組を推進した。

柳之御所遺跡については、史跡公園としての整備活用を推進した。

#### 1 世界遺産登録の推進

##### (1) 世界遺産登録推進事業

「平泉の文化遺産」は、平成20年7月にカナダのケベックで開催された第32回世界遺産委員会において審査が行われ、世界遺産一覧表への記載延期が決議されたことから、平成23年の再審査を求めるため、昨年度に引き続き4月から11月にかけて「平泉の文化遺産世界遺産登録推薦書作成委員会」を4回開催のうえ改めて推薦書を作成し、「平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」として、平成22年1月に文化庁からユネスコ世界遺産センターに提出した。

また、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向け、平泉文化に対する県民の理解と関心を促し、登録の機運の醸成を図るため、県内の小中学校、高校等における「平泉授業」（20校）や巡回パネル展などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】 45,613千円

○ 平泉授業

実施校数：小学校13校、中学校2校、高等学校5校

○ 巡回パネル展

	会 期	会 場	入場者数
秋田県	平成21年10月10日～10月25日	イオンモール秋田	8,786
宮城県	平成21年12月5日～12月20日	イオン仙台大沢ショッピングセンター	53,624

##### (2) 縄文世界遺産登録支援事業

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県に所在する縄文遺跡群は、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、平成21年1月5日にユネスコ世界遺産センターの世界遺産暫定一覧表に記載された（本県では一戸町の御所野遺跡が構成資産）。

この「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を推進するため、専門家委員会を開催し、構成資産及び縄文時代・縄文文化についての定義づけ等の検討を行った。

併せて、4道県共通のリーフレットを作成及びイギリスの大英博物館において縄文文化説明会等を行い、縄文文化等の普及啓発・情報発信を行った。

【総事業費】 4,958千円

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

#### 第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

#### (3) 九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、産業遺産分野におけるシリアル・ノミネーションによる世界遺産登録を目指しており、平成21年1月に世界遺産暫定一覧表に追加記載され、10月の専門家委員会において「橋野鉦山と製鉄遺跡（釜石市）」などが構成資産候補として提言された。

県では釜石市と協議し、平成22年度から共に世界遺産登録推進協議会にオブザーバー参加し、協議会総会、幹事会等に参加し、九州・山口の関係自治体と協力しながら、世界遺産登録に向けた取組を行った。

【総事業費】 1,815千円

## 2 柳の御所遺跡の整備活用

#### (1) 柳之御所遺跡整備調査事業

世界遺産登録を目指す「平泉の文化遺産」の構成資産の一つである柳之御所遺跡の史跡整備に着手し、内容確認のための発掘調査を行った。あわせて調査整備指導委員会を開催した。

【総事業費】 184,699千円

#### (2) 柳之御所遺跡土地公有化事業

史跡の恒久的な保全を図るため、柳之御所遺跡内の民有地の公有化を推進した。

【総事業費】 83,550千円

#### (3) 平泉文化研究機関整備推進事業

平泉文化の研究成果を公開する場として、平泉文化フォーラムを開催した。また、共同研究を推進し、平泉文化研究年報「第10号」として、その成果をまとめた。

【総事業費】 2,676千円

## ○ 平泉文化フォーラム

【期日】 平成21年12月5日

【会場】 平泉小学校体育館

【入場者数】 420人

【内容】 基調講演、パネルディスカッション、調査成果報告

第2章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取組を支援した。

1 文化財の保存と管理

(1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回岩手県文化財保護審議会	平成21年9月11日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定について(1件)
第2回岩手県文化財保護審議会	平成22年2月10日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定について(3件)

(2) 文化財の指定

【有形文化財の指定】

平成21年10月2日 岩手県教育委員会告示第3号

指定番号	種別	名 称	員数
有第237号	考古資料	藤沢狄森古墳群出土品	1390点

平成22年3月2日 岩手県教育委員会告示第1号

指定番号	種別	名 称	員数
有第238号	歴史資料	漁具類聚	1帖

【有形民俗文化財の指定】

平成22年3月2日 岩手県教育委員会告示第2号

指定番号	名 称	員数
有民第31号	安比川上流域の木地師関係資料	259点

【天然記念物の指定】

平成22年3月2日 岩手県教育委員会告示第3号

指定番号	種別	名 称	員数
天第34号	植物	田鎖神社のブナ・イヌブナ林	1件

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・指定有形文化財修理防災事業	中尊寺ほか1件	20,428	5,107
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか1件	23,000	5,750
県指定文化財・指定有形文化財修理・防災事業	奥州市ほか7件	8,581	4,288
県指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	九戸村	738	369

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
食害対策	大船渡市ほか4市町	5,820	2,910

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種 別	名 称	実施期日
史 跡	栗木鉄山跡	平成21年7月1日
有形文化財	藤沢狄森古墳群出土品	平成21年8月25日
有形文化財	漁具類聚	平成21年12月25日

イ 文化財パトロール事業

【総事業費】2,000千円

ウ カモシカ特別調査事業

【総事業費】328千円

エ カモシカ通常調査事業

【総事業費】1,374千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【平成21年度登録件数】149件

【総登録件数】32,928件

第2章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名	調査地区
一般国道4号渋民バイパス建設事業（芋田沢田Ⅴ遺跡・芋田沢田Ⅵ遺跡）	盛岡市
一般国道4号石鳥谷バイパス改築事業（白幡林遺跡）	花巻市
野田村下水道事業（中平遺跡）	野田村
東北横断自動車道釜石秋田線（日影遺跡）	遠野市
一般国道45号上荒川登坂車線（荒川和山遺跡）	釜石市
経営体育成基盤整備事業（八幡遺跡）	奥州市
中山間地域総合整備事業 中居地区（下中居Ⅱ遺跡）	花巻市
花巻空港整備滋養（上ノ山遺跡・石持Ⅰ遺跡）	花巻市
経営体育成基盤整備事業 古城2期地区（古城方八丁遺跡）	奥州市

イ 試掘調査

事業名	調査地区
経営体育成基盤整備事業 南下幅北部地区	奥州市
北上川中流部治水対策事業	北上市
東北横断自動車道釜石秋田線	花巻市
城内二又線改良舗装事業	野田村
盛岡地方家庭裁判所庁舎増築工事	盛岡市
一般国道4号渋民バイパス建設事業	盛岡市
経営体育成基盤整備事業 古城2期地区	奥州市
経営体育成基盤整備事業 徳田第2地区	矢巾町
経営体育成基盤整備事業 下矢次地区	矢巾町
経営体育成基盤整備事業夏川3期地区	一関市
一般国道106号梁川道路起点部改良工事	盛岡市
一般県道釜石住田線金ノ倉～山脈地地区道路改良工事	住田町
経営体育成基盤整備事業 白山地区	奥州市
中山間地域総合整備事業 大清水地区	軽米町
中山間地域総合整備事業 広田地区	陸前高田市
経営体育成基盤整備事業 下糠塚地区	北上市
経営体育成基盤整備事業 都鳥地区	奥州市
一般国道45号尾肝要道路	田野畑村

ほか102件

ウ 分布調査

事業名	調査地区
緊急地方道路整備事業	奥州市
北上川中流部治水対策事業	北上市
地域用水環境整備事業	洋野町
新農業水利システム保全整備事業	奥州市 一関市
中山間地域総合整備事業 西風高瀬地区	住田町
基幹水利施設ストックマネジメント事業	一関市
農業貯留関連基盤整備実験事業	普代村
農地集積加速化基盤整備事業	一関市
一般国道45号尾肝要道路	田野畑村

第2章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域活力基盤創造交付金事業	八幡平市 宮古市 一関市
県単急傾斜地崩壊対策事業	八幡平市 花巻市 奥州市
一関遊水地事業（磐井川堤防改修事業）	一関市
林業地域総合整備事業	一戸町
国営猿ヶ石川土地改良事業	花巻市
畑地对総合整備事業 藤崎2期地区	藤沢町
北上川上流土地利用一体型水防災事業	一関市
八幡地区治水対策事業	花巻市
一般国道46号盛岡西バイパス建設事業	盛岡市
一般国道4号盛岡北道路改築事業	盛岡市
地方特定道路整備事業	陸前高田市
道路改築事業	住田町
地域づくり緊急改善事業	一戸町 八幡平市
ため池等整備事業	西和賀町

(2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

- 発掘調査等 10市5町1村で実施

(3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用を図るなど、管理運営や教育普及活動事業を充実した。

【埋蔵文化財センター受託事業】

ア 発掘調査【計52遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	盛岡市	武道V遺跡 芋田沢田IV遺跡 川目A遺跡
	北上市	滝ノ沢遺跡 立花館遺跡
	遠野市	向III遺跡 新田II遺跡
	花巻市	落合2区I遺跡
	宮古市	金浜I遺跡 八木沢野来遺跡 八木沢駒込II遺跡 八木沢駒込I遺跡
	奥州市	下嵐江I・II遺跡 大平野II遺跡 平根原I遺跡
独立行政法人 都市再生機構	盛岡市	細谷地遺跡 向中野館遺跡 矢盛遺跡
岩手県	盛岡市	大宮北遺跡 小屋野遺跡
	一関市	五輪堂遺跡
	奥州市	八幡遺跡 水尻遺跡 古城方八丁遺跡 四反田I・II遺跡 鶉ノ木台地南遺跡 堤遺跡
	北上市	舟渡I・II遺跡 野沢II遺跡
	大船渡市	高屋敷II遺跡 子飼沢I・II遺跡
	花巻市	西部遺跡
	紫波町	南日詰小路口I・II遺跡
	宮古市	宮古市 佐原II遺跡
盛岡市	盛岡市 台太郎遺跡 細谷地遺跡 飯岡才川遺跡	

イ 報告書の発刊【計33遺跡】

22冊、各450部発刊

委託元	所在地	遺跡名	
国土交通省	花巻市	中嶋遺跡 羽黒田遺跡	
	奥州市	衣の関道遺跡 坪淵II遺跡	
	遠野市	向II遺跡	
	宮古市	八木沢II遺跡 隠里VIII遺跡 金浜I・II遺跡	
	独立行政法人 都市再生機構	盛岡市	矢盛遺跡 向中野館遺跡 細谷地遺跡
	岩手県	盛岡市	戸仲遺跡
北上市		斉羽場館遺跡 田代遺跡 境遺跡 野沢I・II遺跡	
二戸市		雨滝遺跡	
奥州市		牡丹野遺跡 尼坂遺跡 作屋敷遺跡 合野遺跡 小林繁長遺跡	
宮古市		松山大地田沢遺跡	
一関市		中村遺跡	
軽米町		駒板3遺跡	
盛岡市		盛岡市 矢盛遺跡 向中野館遺跡 細谷地遺跡	

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

#### 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

#### ウ 調査報告書

平成21年度発掘調査略報 450部

#### エ 普及事業

##### (ア) 第31回埋蔵文化財展

【期日】平成21年11月18日～21日

【場所】藤沢町文化交流センター

【テーマ】「いわての宝をみよう」

【内容】遺物の展示、展示解説会など

##### (イ) 第30回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】平成21年12月4日

【場所】岩手県工業技術センター

【内容】「デジタル写真撮影の基礎知識」

講師 カメラマン 福士 昭夫 氏

「デジタル印刷の工程と入稿時の注意点」

講師 川口印刷工業株式会社 佐藤 隆 氏

##### (ウ) 第32回埋蔵文化財公開講座

【期日】平成22年2月13日

【場所】岩手県民会館中ホール

【内容】「鉄器を最初に作ったのは誰か」

講師 (財)中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所長 大村 幸弘氏

##### (エ) 所報「わらびて」の発行

年2回発行(120号～121号)

### 3 文化財の積極的な活用

#### (1) 遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

ア 遺跡台帳の改訂(電算化)

イ 遺跡基本図の改訂(電算化)

ウ 台帳、基本図の複製配布

エ 現地確認調査等の事前協議

オ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言

カ 文化財保護法関連諸書類処理

#### (2) 伝統芸能伝承活動促進事業

民俗芸能団体のネットワーク組織である県民俗芸能団体協議会において、団体相互の情報交換や共通課題の解決に取り組んでいる(平成22年3月31日現在35団体加入)。

また、公演機会を確保し後継者の育成を図るため、次の事業を委託実施した。

ア 岩手県青少年民俗芸能フェスティバル

【期日】平成21年11月1日

【会場】岩手県民会館

【鑑賞者数】600人

イ 岩手県民俗芸能大会

【期日】平成21年7月12日

【会場】リアスホール(大船渡市)

【鑑賞者数】1,000人

## 第11節 生涯スポーツの振興

県民のだれもがそれぞれのライフステージにおいて、興味関心、目的や適性等に応じて、「する、みる、支える」スポーツに親しみ、スポーツが生活の一部として日々の暮らしに定着していくことを目指し各事業を展開した。

### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

「する・みる・支える」といった多様なスポーツ参加を推し進め、県民のだれもが、生涯にわたって、自主的にスポーツに親しむ生涯スポーツの振興を図った。

#### 1 「生涯スポーツ推進月間」の充実

「生涯スポーツ推進月間」を設定し広く県民に周知したことにより、各市町村において、それぞれの地域の特色ある各種スポーツ大会等が多数開催され、多くの県民が参加した。

事業名	事業件数	参加人数
生涯スポーツ推進月間	236件	128,596名

#### 2 全国スポーツ・レクリエーション祭への選手派遣

宮崎県で開催された第22回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレク滋賀2009）に、選手を派遣し、各種目別団体及び市町村におけるスポーツ・レクリエーション活動への促進を図った。

事業名	参加種目数	参加者数
全国スポレク祭参加推進事業	8種目	54名

## 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

生涯スポーツ振興の拠点となる総合型等の地域スポーツクラブの創設・育成を図るとともに、県民の多様なニーズに対応できるよう、専門的知識と実践力を持った生涯スポーツ指導者の養成や資質向上を図った。

### 1 総合型地域スポーツクラブの創設・育成

県広域スポーツセンターが中心となり、関係機関と連携をとりながら巡回指導等を行い、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図った。

【総合型地域スポーツクラブ創設状況（平成21年7月1日現在）】 [単位：クラブ、人]

市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計	市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計
	クラブ数	加入者数				クラブ数	加入者数		
盛岡市	2	383	3	5	陸前高田市	—	—	—	—
八幡平市	—	—	—	—	住田町	—	—	1	1
雫石町	1	3,503	1	2	釜石市	2	296	—	2
葛巻町	—	—	1	1	大槌町	1	44	—	1
岩手町	—	—	1	1	宮古市	1	643	—	1
滝沢村	1	335	—	1	山田町	—	—	—	—
紫波町	—	—	1	1	岩泉町	—	—	—	—
矢巾町	1	223	—	1	田野畑村	—	—	1	1
花巻市	—	—	1	1	久慈市	1	138	3	4
遠野市	9	4,405	—	9	洋野町	—	—	—	—
北上市	5	11,997	—	5	野田村	—	—	—	—
西和賀町	—	—	1	1	普代村	—	—	1	1
奥州市	4	6,215	—	4	二戸市	2	312	—	2
金ケ崎町	7	470	—	7	軽米町	—	—	2	2
一関市	—	—	6	6	九戸村	—	—	—	—
平泉町	—	—	1	1	一戸町	2	242	—	2
藤沢町	—	—	—	—					
大船渡市	—	—	—	—	計	39	29,206	24	63

### 2 指導者の養成確保及び資質向上

各種講習会、研修会等を開催し、指導者の養成確保及び資質の向上を図った。

#### 【生涯スポーツ関係事業等実施状況】

- (1) 総合型地域スポーツクラブ運営・連絡協議会並びにスポーツ交流会  
 【期日】平成21年5月30日～31日 【場所】山田町・宮古市 【参加者数】16人
- (2) 生涯スポーツ指導者講習会  
 【期日】平成21年8月5日 【場所】盛岡市 【参加者数】86人
- (3) 岩手県体育指導委員研修会  
 【期日】平成21年8月21日～22日 【場所】盛岡市 【参加者数】270人
- (4) 生涯スポーツ推進研究大会兼体育施設関係者講習会  
 【期日】平成21年11月6日 【場所】盛岡市 【参加者数】65人

### 3 施設の整備充実

#### (1) 県営体育施設の状況

県営体育施設は、本県の中心的スポーツ施設として、全国規模の大会をはじめ、全県的な各種競技会の開催を通じて、本県スポーツの振興に大きな役割を果たしている。

県教育委員会で所管する体育施設、野外活動センターは、次の8施設であり、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図るため、指定管理者制度を導入している。

県営運動公園ほか6施設は財団法人岩手県スポーツ振興事業団が、県営スキージャンプ場は八幡平市が指定管理者に指定されている。

ア 県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、登はん競技場、交通公園）

イ 県営体育館

ウ 県営野球場（グラウンド、屋内練習場、トレーニング室）

エ 県営スケート場

オ 県営武道館（大道場、柔道場、剣道場、弓道場、相撲場、トレーニング室）

カ 県立御所湖広域公園艇庫

キ 県立高田松原野外活動センター

ク 県営スキージャンプ場

#### (2) 県営体育施設設備の整備

利用者が安全に楽しく利用できるよう、平成21年度は、次の施設・設備の改修工事等を行った。

ア 県営運動公園日本庭園橋梁改修工事

イ 県営運動公園タイヤローラ保管庫改築工事

ウ 県営運動公園ラグビー場他照明安定器取替工事

エ 県営体育館メインアーチ他防水及び漏水修理工事

オ 県営体育館非常用発電機取替工事

カ 県営体育館冷暖房設備増設工事

キ 岩手県営野球場駐車場（第2、第3）他舗装工事

ク 岩手県営野球場内外野グラウンド改修工事

ケ 県営野球場メッセージボード改修工事

コ 県営野球場トイレ改修工事

サ 県営野球場屋内練習場排煙窓改修工事

シ 県営スケート場ターボ冷凍機オーバーホール工事

ス 県営スケート場機械棟屋根塗装工事

セ 県営武道館大道場安定器交換工事

ソ 県営武道館監視カメラ取替工事

タ 県営武道館弓道場巻藁場改修工事

チ 県営武道館空調設備工事

ツ 県営武道館非常照明用蓄電池交換工事

テ 県営スキージャンプ場ポンプ室減圧弁修繕

ト 県立高田松原野外活動センター管理宿泊棟・体育館雨漏り他修繕

第2章 教育施策の推進状況  
 第11節 生涯スポーツの振興  
 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

(3) 県営体育施設の利用状況

[単位：日、件、人]

施設名	区分	開館日数	利用件数	利用人数
県営運動公園		365	11,543	595,608
県営体育館		337	1,095	92,921
県営野球場		326	1,738	173,519
県営スケート場		289	635	32,225
県営武道館		314	3,425	225,935
県立御所湖広域公園艇庫		160	1,198	9,694
県立高田松原野外活動センター		359	3,182	110,132
県営スキージャンプ場		344	57	473
計		—	22,873	1,240,507

4 財団法人岩手県スポーツ振興事業団の事業

財団法人岩手県スポーツ振興事業団は、県教育委員会等から指定管理者の指定及び業務委託を受け、施設管理及び各種事業を行っている。

県立青少年の家3施設における開催事業は、104～107ページのとおり。

それ以外の県営体育施設等における開催事業は、以下141ページまでのとおり。

【財団法人事業団事務局 平成21年度受託事業及び自主事業】

1 キッズテニス教室

【期日】4月29日

【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】78人

2 クライミング無料体験会

期日	場所	参加者数
4月29日	県営運動公園登はん場	204人
7月19日		41人
10月12日		292人

3 武道教室

	期日	場所	参加者数
柔道	月・火・金曜日124回	県営武道館柔道場	5,713人
剣道	月・金曜日87回	県営武道館剣道場	2,036人
なぎなた	木・土曜日84回	県営武道館剣道場	859人
弓道	火・木・金曜日129回	県営武道館弓道場	1,073人
相撲	土曜日7回	県営武道館相撲場	85人
空手道	火・木曜日87回	県営武道館剣道場	891人
少林寺拳法	土・日曜日87回	県営武道館柔道場・剣道場	1,840人
合気道	木・日曜日92回	県営武道館柔道場	1,239人
鏡開き	1月11日	県営武道館	225人

4 キッズかけっこ教室

【期日】5月5日

【場所】県営運動公園陸上競技場 【参加者数】164人

5 指導者派遣事業

【期日】5月～2月 計72回

【場所】各市町村施設等 【参加者数】4,019人

6 第21回湖上フェスティバル

【期日】7月26日

【場所】県立御所湖広域公園艇庫 【参加者数】中止

7 夏休み・冬休み親子スポーツ教室

	期日	場所	参加者数
夏休み	8月2日	県営体育館	66人
冬休み	1月9日	県営武道館	39人

8 高齢者健康・体づくり指導者セミナー

【期日】9月17日

【場所】県営武道館 【参加者数】142人

9 スポーツフェスティバル2009

【期日】10月12日（体育の日）

【場所】県営体育施設・花巻広域公園他 【参加者数】14,653人

10 スケート場オープニング事業（平成21年度新規事業）

【期日】11月1日

【場所】県営スケート場 【参加者数】477人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第11節 生涯スポーツの振興

#### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

- 11 スケートキッズonサタデー  
【期日】11月～2月の土曜日 計16回  
【場所】県営スケート場 【参加者数】8,863人
- 12 第4回岩手県キッズドッチビー交流大会  
【期日】11月7日  
【場所】県営体育館 【参加者数】中止
- 13 6thエアロビックレッスンin IWATE  
【期日】11月8日  
【場所】県営武道館 【参加者数】84人
- 14 第23回氷上フェスティバル  
【期日】12月12日  
【場所】県営スケート場 【参加者数】108人
- 15 健康・体づくりの指導プログラムに関する研究  
【期日】通年
- 16 【自主事業】健康さくら祭り（平成21年度新規事業）  
【期日】4月19日・20日  
【場所】県営運動公園 【参加者数】348人

17 【自主事業】健康歩き方教室

期 日	場 所	参加者数
4月25日	県営運動公園～岩手牧場	44人
10月12日		22人

- 18 【自主事業】すまいるグラウンド・ゴルフ練習会  
【期日】5月21日～11月11日の水曜日 計20回  
【場所】県営運動公園補助競技場 【参加者数】1,363人
- 19 【自主事業】すまいるソフトテニス教室（平成21年度新規事業）  
【期日】5月29日～7月17日の金曜日 計8回  
【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】120人

20 【自主事業】理事長杯グラウンド・ゴルフ交流会

期 日	場 所	参加者数
6月17日	県営運動公園陸上競技場、 県営運動公園補助競技場	138人
8月26日		129人
10月7日		107人

21 【自主事業】スポーツフェスティバル2009

- 【内容】フリーマーケット、屋台村  
【期日】10月12日（体育の日）  
【場所】県営運動公園 【参加者数】235人

22 【自主事業】親子で雪っこ体験教室（平成21年度新規事業）

- 【期日】1月30日  
【場所】県営運動公園 【参加者数】66人

### 【県立高田松原野外活動センター 平成21年度受託事業及び自主事業】

1 合同事前研修会

- 【期日】4月20日～3月23日（計12回）  
【参加者数】247人

2 高田野活グラウンド・ゴルフ記録会・交流会

	期 日	参加者数
記録会	5月9日	218人
交流会	11月1日	325人

3 カヤック教室

	期 日	参加者数
第1回	6月28日	28人
第2回	7月12日	25人
第3回	8月9日午前	40人
第4回	8月9日午後	
第5回	8月30日	32人
第6回	9月6日	33人

4 ドラマチック海遊塾

- 【期日】7月28日～8月1日 【参加者数】15人

5 親子ふれあいキャンプin高田

- 【期日】8月15日・16日 【参加者数】25人

6 高田野活スポーツフェスティバル

- 【期日】10月4日 【参加者数】841人

7 親子海釣り教室（平成21年度新規事業）

- 【期日】10月17日・18日 【参加者数】7人

8 親子創作活動のつどい

	期 日	参加者数
第1回	12月6日	55人
第2回	12月13日	52人

9 やかつキッズクラブ

	期 日	参加者数
第1回	1月16日	9人
第2回	1月30日	49人
第3回	2月13日	18人
第4回	2月27日	14人

10 高田野活創作まつり

- 【期日】2月7日 【参加者数】491人

11 利用者調査

12 【自主事業】高田野活・春まつり

- 【期日】4月25日・26日 【参加者数】262人

13 【自主事業】高田野活あおぞら市

- 【期日】4月25日・26日 【参加者数】120人

第2章 教育施策の推進状況  
 第11節 生涯スポーツの振興  
 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

【県営体育館 平成21年度自主事業】

1 ぶらんちスポーツクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月21日～7月16日 計7回	393人
第2回	8月20日～10月22日 計8回	392人

2 スポーツナイト on Tuesday

【期日】6月2日～8月25日の火曜日 計11回  
 【参加者数】670人

3 スポーツフェスティバル2009ビーチボール交流会  
 【期日】10月12日（体育の日） 【参加者数】165人

4 第5回岩手県スポーツ振興事業団理事長杯フットサル大会  
 【期日】10月29日～12月23日 計8回 【参加者数】2,165人

5 スポーツカフェ2010盛年ソフトテニスミックスダブルス大会  
 【期日】1月17日、2月10日、2月17日 【参加者数】79人

【県営武道館 平成21年度自主事業】

1 ぶらんちスポーツクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月19日～7月24日 計32回	1,124人
第2回	8月18日～10月23日 計32回	1,098人
第3回	11月16日～2月18日 計32回	1,117人

2 弓道教室

【期日】6月22日～7月23日の月・木曜日 計10回  
 【参加者数】260人

3 スポーツフェスティバル2009

【内容】武道交流会 ちびっこ相撲大会  
 【期日】10月12日（体育の日） 【参加者数】672人

4 武道指導者講習会（平成21年度新規事業）  
 【期日】12月6日 【参加者数】53人

5 少年柔道教室  
 【期日】12月26日～28日 【参加者数】283人

6 武道館フェスティバル（平成21年度新規事業）  
 【期日】1月11日 【参加者数】225人

7 少年剣道教室  
 【期日】1月6日～8日 【参加者数】176人

【県営野球場 平成21年度自主事業】

1 県営野球場バランスボール教室

【期日】5月21日～2月16日 計22回  
 【参加者数】192人

2 スポーツフェスティバル2009

【内容】学童軟式野球交流試合  
 【期日】10月12日（体育の日） 【参加者数】1,160人

3 中学生野球教室  
 【期日】11月15日 【参加者数】43人

4 室内グラウンド・ゴルフ練習会、記録会  
 【期日】11月20日～2月26日の火・金曜日 計26回  
 【参加者数】1,848人

【県立御所湖広域公園艇庫 平成21年度自主事業】

1 御所湖探検カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	5月31日	11人
第2回	6月14日	14人

2 親子カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	7月31日	5人
第2回	8月1日	12人

3 第21回湖上フェスティバル  
 【内容】夏のカヤック体験  
 【期日】7月26日 【参加者数】中止

4 スポーツフェスティバル2009  
 【内容】秋のカヤック体験  
 【期日】10月12日（体育の日） 【参加者数】47人

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第11節 生涯スポーツの振興

#### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

#### 【県営スケート場 平成21年度自主事業】

##### 1 スケート教室

【期日】12月～2月の日曜日 計10回

【参加者数】117人

##### 2 氷上フェスティバルスケートレッスンタイム

【期日】12月12日 【参加者数】中止

##### 3 スケートキッズonサタデー感謝祭（平成21年度新規事業）

【期日】2月14日 【参加者数】210人

#### 【県立花巻広域公園 平成21年度自主事業】

##### 1 ぎんがのもり自然観察会（平成21年度新規事業）

	期 日	参加者数
第1回	4月26日	中止
第2回	7月11日	30人
第3回	10月25日	12人
第4回	1月14日	14人

##### 2 ちびっこ写生会（平成21年度新規事業）

【期日】7月26日～11月30日 【参加者数】7人

##### 3 すまいるグラウンド・ゴルフ練習会（平成21年度新規事業）

【期日】5月8日～10月23日 【参加者数】149人

##### 4 ゴルフ教室

	期 間	参加者数
第1回	5月12日～6月2日の火曜日 計4回	12人
第2回	7月7日～7月28日の火曜日 計4回	36人
第3回	9月1日～9月29日の火曜日 計4回	36人

##### 5 親子初心者ゴルフ教室

【期日】8月1日、8月8日・9日 【参加者数】43人

##### 6 ぎんがのもり春まつり

【期日】5月4日 【参加者数】2,081人

##### 7 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ大会

	期 日	参加者数
第1回	6月8日	136人
第2回	11月2日	95人

##### 8 親子体験工作小鳥の巣箱作り

【期日】7月26日 【参加者数】7人

##### 9 ぎんがのもり夏まつり

【期日】7月26日 【参加者数】1,493人

##### 10 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ世代間交流会

【期日】8月7日 【参加者数】36人

##### 11 ぎんがのもり写真展（平成21年度新規事業）

【期日】9月18日～11月30日 【参加者数】2人

##### 12 ぎんがのもり秋まつり

【期日】10月11日 【参加者数】1,953人

#### 【県勤労身体障がい者体育館 平成21年度自主事業】

##### 1 東北車椅子バスケットボール交流会（平成21年度新規事業）

【期日】4月11日・12日 【参加者数】120人

##### 2 けやきカーニバル

【期日】4月26日 【参加者数】31人

##### 3 ピンポン交流会

【期日】6月18日 【参加者数】20人

##### 4 バスケットボールフェスタ兼第2回けやき杯車椅子ツインバスケットボール大会

【期日】10月3日・4日 【参加者数】80人

##### 5 第4回ニュースポーツ交流会

【期日】12月13日、1月31日 【参加者数】84人

### 第3 ネットワークの広がり

生涯スポーツを推進する団体等の連携を充実させるため、広域スポーツセンター機能の拡大と充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるネットワークの構築を図った。

#### 1 生涯スポーツに関する情報提供

広域スポーツセンターホームページにより、県民に対し生涯スポーツに関する情報の提供を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等生涯スポーツを推進する団体間の連携強化を図った。

#### 2 平成21年度各種登録指導者数

- |                                |        |             |
|--------------------------------|--------|-------------|
| (1) 県スポーツリーダーバンク登録者……          | 669人   | (前年比 54人減)  |
| (2) 地域スポーツ指導者……                | 1,401人 | (前年比 399人増) |
| (3) 競技力向上指導者……                 | 249人   | (前年比 52人増)  |
| (4) 商業スポーツ施設指導者……              | 52人    | (前年比 8人増)   |
| (5) フィットネス系資格指導者……             | 156人   | (前年比 68人増)  |
| (6) メディカル・コンディショニング資格指導者……     | 58人    | (前年比 増減無)   |
| (7) 総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー…… | 37人    | (前年比 13人増)  |
| (8) レクリエーション関係指導者……            | 1,560人 | (前年比 10人増)  |
| (9) 県スポーツ少年団指導者……              | 5,586人 | (前年比 38人増)  |

## 第12節 競技スポーツの強化

### 第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成

#### 1 優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発

将来世界に羽ばたくアスリートの輩出を目指して、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を実施し、下記のプログラムを行うことにより、優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発を行った。

プログラム名	実施回数
知的能力開発プログラム	12回
身体能力開発プログラム	12回

#### 2 中学生・高校生の競技力向上

平成23年岩手インターハイや平成28年岩手国体を見据えて、その中心となる中学生や高校生を中心に強化合宿や講習会を行う「センチュリー21 ジュニア選手強化事業」や「未来のエース育成強化事業」を実施した。

事業名	対象
未来のエース育成強化事業	37競技団体
センチュリー21 ジュニア選手強化事業	高体連・中体連

#### 3 指導者の資質向上

最新の指導方法の研修を推進するため、岩手県スポーツ特別強化指定校や私立高校重点強化校の優秀指導者を国内トップレベルの強化合宿に派遣するとともに、各競技の日本を代表するトップコーチを県内に招聘し、ハイレベルな指導方法等の研修を行うなど、指導者の資質向上を図った。

事業名	対象
県内トップコーチ研修等派遣事業	20競技団体
国内優秀コーチ招聘事業	24競技団体

#### 4 多目的屋内練習施設整備に向けた取組

スポーツ医・科学センターを併設した多目的屋内練習施設の整備に向け、多目的屋内練習施設等整備基本構想検討委員会を設置して下記のとおり検討を行い、平成22年3月に「多目的屋内練習施設等整備基本構想」を策定した。

##### 【基本構想策定の経緯】

- ・平成21年7月31日 基本構想検討委員会の委員委嘱・設置
- ・平成21年8月25日 第1回基本構想検討委員会の開催
- ・平成21年9月24日 第2回基本構想検討委員会の開催
- ・平成21年10月28日 第3回基本構想検討委員会の開催
- ・平成22年2月12日 第4回基本構想検討委員会の開催

## 5 各種全国大会の結果

第64回国民体育大会の本県の成績は、ウエイトリフティング競技少年男子の内村、吉田（盛岡工業高校）、山岳競技少年男子の藤原（盛岡南高校）・三上（岩手高校）が優勝するなど18競技59種目に入賞し、男女総合成績（天皇杯）は744.5点を獲得し、39位であった。

大会名	入賞数
第64回国民体育大会	59
平成21年度全国高等学校総合体育大会	31
平成21年度全国中学校体育大会	11

## 第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実にに向けた支援

### 1 学校体育団体との連携強化

ジュニア期の強化のため、その母体となっている学校体育団体との連携を一層強化することとし、「センチュリー21 ジュニア選手強化事業」の拡充や中学校・高等学校の連携による継続指導等、選手強化の重点化を図った。

### 2 一貫指導システムの構築

系統的な選手育成を図るため、各中央競技団体の進めている一貫指導システムを積極的に取り入れ、各競技団体が本県の実態に即した小中高一貫指導プランを作成するために「一貫指導システム構築事業」「一貫指導担当者会議」を実施した。

事業名	対象
一貫指導システム構築事業	11競技団体

一貫指導担当者会議 平成22年1月20日 会場：サンセール盛岡

### 3 主要体育大会（県内開催）

体育大会名	期日	会場
第61回岩手県高等学校総合体育大会	平成21年5月20日～6月8日	盛岡市ほか
第56回岩手県中学校総合体育大会	平成21年7月18日～7月19日	盛岡市ほか
第59回岩手県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会	平成21年12月12日～12月13日	盛岡市
第42回岩手県中学校スケート大会	平成21年12月12日～12月13日	盛岡市
第59回岩手県中学校スキー大会	平成22年1月15日～1月18日	八幡平市

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第12節 競技スポーツの強化

#### 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援

#### 第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

第59回岩手県高等学校スキー大会	平成22年1月16日～1月18日	八幡平市
第47回全国中学校スキー大会	平成22年2月3日～2月6日	八幡平市

#### 4 学校体育団体助成

団体名	助成金額
岩手県中学校体育連盟	12,704千円
岩手県高等学校体育連盟	24,446千円

### 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援

平成28年に開催予定の岩手国体に向けて競技者等の裾野を広げ、広範なサポート体制を形成しながら、国体会場地市町村を中心としたスポーツ拠点化を推進するために、小・中学生を対象に「チャレンジスクール事業（体験教室）」を開催した。

事業名	対象
チャレンジスクール事業	6競技団体

### 第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

競技者の育成を組織的かつ戦略的に行うためには、スポーツ医・科学に基づいたトレーニング、コーチングの本格的実施が不可欠であるため、スポーツ医・科学サポートスタッフの養成やプログラムの研究や開発などを推進し、スポーツ医・科学体制の整備・拡充を図った。

事業名	実施回数	受講者数
いわてアスレティック養成セミナー	6回	47名

## [附] 私立学校

### 1 私立学校審議会

#### (1) 委員（平成21年7月1日現在、五十音順）

大 隅 英 喜	（元岩手県教育委員会教育長）
大 森 紀代美	（盛岡生活文化研究室幹事）
柏 眞喜子	（東北公営企業株式会社代表取締役専務）
坂 水 か よ	（聖パウロ幼稚園長）
咲 間 まり子	（岩手県立大学社会福祉学部准教授）
滝 澤 昭 弘	（協和学院水沢第一高等学校長）
田 代 高 章	（岩手大学教育学部准教授）
龍 澤 正 美	（学校法人龍澤学館理事長）
荻 原 禮 子	（盛岡白百合学園高等学校長）
横 田 大 樹	（学校法人宮古泉学園理事長）

#### (2) 審議の状況

私立学校審議会が知事の諮問により審議し、原案を可として答申した案件は次のとおり。

- ア 平成21年7月16日答申  
学校設置者の変更認可について  
一関経理専門学校
- イ 平成21年9月29日答申  
私立学校の設置認可について  
いわさき幼稚園  
専修学校の目的の変更認可について  
北日本医療福祉専門学校
- ウ 平成22年3月15日答申  
学校の廃止認可について  
盛岡聖心幼稚園  
東日本社会福祉専門学校

### 2 私立学校等認可の状況

平成21年度中に知事が認可した件数は次のとおり。

- (1) 学校の設置認可…………… 1 件
- (2) 学校の廃止認可…………… 2 件
- (2) 学校設置者の変更認可…………… 1 件
- (3) 専修学校の目的変更認可…………… 1 件

### 3 助成の状況（平成21年度最終予算）

#### (1) 県費補助

##### ア 私立学校運営費補助

幼稚園・小・中・高等学校補助	4,176,871千円
過疎地域私立高等学校補助（3校）	144,966千円
特別支援教育費補助（36幼稚園）	63,739千円
教育改革推進特別経費	232,486千円
特別支援学校補助（1校）	82,008千円
専修学校補助（15校）	61,602千円
イ 私立学校教職員退職金給付事業費補助	148,526千円
ウ 日本私立学校振興・共済事業団補助	47,070千円
エ 私立高等学校等授業料減免補助	104,871千円

#### (2) 岩手県私学教育振興会貸付金

施設整備・経営資金貸付	122,000千円
-------------	-----------

### 4 私学教育表彰の実施

岩手県私学教育表彰実施要綱（昭和58年岩手県告示第1076号）に基づき、本県の私学教育に関し功労のあった次の者に対し、平成21年11月10日知事表彰を行った。

○ 団体 専修大学北上高等学校

○ 個人 佐藤正樹（学校法人紫波学園 理事長）  
 佐藤章（岩手女子高等学校 教頭）  
 小山浩史（盛岡大学附属高等学校 副校長）  
 舟山治男（盛岡スコール高等学校 生活教育研究所長）  
 佐々木祥悟（盛岡中央高等学校 教諭）  
 佐藤悦子（一関学院高等学校 教諭）  
 小野タエ子（ゆもと幼稚園 教諭）  
 佐々木のり子（一関幼稚園 園長）  
 伊藤信子（一関市医師会附属一関看護専門学校・一関准看護高等専修学校  
 副学院長）  
 佐々木洋（花巻東高等学校 教諭）

[参考] 管理部門

第1 市町村立学校

1 教職員の人事異動

平成21年度公立小中学校教職員定期人事異動は、全県的視野に立った教職員の適正配置及び人事の刷新を図り、本県教育の一層の活性化と充実向上を期するため、公立小中学校教職員定期人事異動方針及び人事異動要領に基づき、以下のとおり、全県的視野に立った交流を進めるとともに、教職員の構成等にも配慮する適正な配置を行った。

- (1) 県内をA(盛岡・岩手)、B(花巻・遠野・北上・西和賀)、C(奥州・一関)、D(久慈・二戸)、E(宮古・宮古北)、F(釜石・大船渡)の6ブロック14地区とし、在任中に2ブロック3地区以上勤務することを原則とした。
- (2) ABCブロックとDEFブロック間の異動を積極的に行い、交流をより一層活発にした。
- (3) へき地学校とその他の学校との交流を行い、3級以上のへき地学校に3年以上勤務した者の配置換えを行った。
- (4) 小中学校併設校9校全校に副校長を置き(小中学校兼務を含む)、地域における学校運営体制の充実を図った。
- (5) 管理職については、広く有為な人材の発掘に努め、若手、女性を積極的に登用した。  
新たに77人の校長と74人の副校長を登用した。
- (6) 新採用教員については、7教育事務所に配置し、初任者研修の効果的な実施に配慮した。  
教諭の新規採用は69人であった。
- (7) 退職者は202人であり、校長は85人、教頭は16人であった。

【平成21年度公立小中学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	小学校			中学校			計		
	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計
校長	36	101	137	17	54	71	53	155	208
副校長	31	100	131	12	48	60	43	148	191
教諭	310	425	735	137	294	431	447	719	1,166
養護教諭	15	56	71	4	23	27	19	79	98
栄養教諭	6	6	12	1	2	3	7	8	15
学校栄養職員	4	3	7	0	2	2	4	5	9
事務職員	21	46	67	20	36	56	41	82	123
小計	423	737	1,160	191	459	650	614	1,196	1,810
市町村教委等転出者	11			12			23		
合計	1,171			662			1,833		

注：事務局及び県立学校への転出者（小学校32人、中学校31人、計63人）を含まない。

校種間異動者（中学校から小学校へ4人、小学校から中学校へ4人）を含んでいる。

【校長登用者】 [単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	1	0	1
同一教育事務所管外	52	24	76
計	53	24	77

【副校長登用者】 [単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	0	1	1
同一教育事務所管外	51	22	73
計	51	23	74

【新採用職員】 [単位：人]

	小学校	中学校	計
教諭	35	34	69
養護教諭	1	0	1
栄養教諭	1	0	1
事務職員	0	0	0

【退職者】 [単位：人]

	小学校	中学校	計
校長	61	24	85
教頭	10	6	16
教諭	38	29	67
養護教諭	10	4	14
学校栄養職員	0	0	0
事務職員	11	9	20
計	130	72	202

## 2 教育相談員

教育相談員は、公立小中学校の教育に関する事項について教職員の相談に応じ助言を与え、教育効果の向上を図るため、各教育事務所に配置している。

各相談員とも、年度当初訪問に計画を立て、積極的に学校訪問をし、一人当たりの平均訪問学校数は74.4校であった。

相談内容は多岐にわたるが、特に新任校長、新任教頭や、へき地学校の教職員に対しては貴重な相談機会となっている。

## 第2 県立学校

【平成21年度県立学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	退職	昇任、配置換、転出	転入、採用	計
高等学校教員	71	392	63	526
特別支援学校教員	18	166	22	206
実習助手	20	30	8	58
寄宿舍指導員	5	21	6	32
事務職員	25	121	10	156
栄養教諭・栄養士	0	0	0	0
技能労務・海事職員	17	35	0	52
計	156	765	109	1,030

このうち、校長は、退職が23人であり、任命換、昇任、転入及び採用が40人であった。

### 1 校長・副校長

学校・学科の別にとらわれることなく、適材を適所に配置する観点から、19人を校長に登用した。また、広く全県の視野に立って、13人の中堅教員を副校長に登用した。

### 2 一般職員

次の観点から交流を行い、組織の活性化を図った。

- (1) 東北新幹線沿線地域に勤務する教員と、それ以外の地域に勤務する教員との交流、特に、人事上のへき地及び県北地域に勤務する教員の異動に重点を置いた。
- (2) 全日制と定時制・通信制、また、普通高校と専門高校の間の教員の交流を図った。

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

平成21年度に各県営施設において開催された主な競技会・イベント等は以下のとおりであること。

[単位：人]

施設	競技会等の名称	期 日	参加者数 (入場者数)
県営運動公園	第10回東北地区大学サッカー大会	平成21年5月23日・5月24日	200
	第24回東北ベテランテニス選手権大会	平成21年8月10日～8月12日	200
	第9回全国障害者スポーツ大会東北・北海道ブロック予選 グランドソフトボール	平成21年6月13日・6月14日	300
	第24回全国盲学校野球大会グランドソフトボール	平成21年8月18日～8月21日	500
県営体育館	第77回全東北学生競技ダンス選手権大会	平成21年5月4日・5月5日	700
	第9回全国障害者スポーツ大会東北・北海道ブロック予選 バレーボール	平成21年6月27日・6月28日	350
	プロレスリング・ノア盛岡大会	平成21年7月15日	1,800
	第13回北東北三県ミニバスケットボール交歓大会	平成21年8月14日～8月16日	1,440
	第25回北海道・東北ブロックインディアカ大会	平成21年9月5日・9月6日	1,400
	内閣総理大臣杯争奪第39回日本車椅子バスケットボール選手権東北地区大会	平成21年9月11日～9月13日	600
	日本フットサルリーグ	平成21年9月20日	900
	第16回東北地区レディースバドミントン大会	平成21年10月25日	600
	日本フットサルリーグ	平成21年11月1日	1,200
	みちのくプロレス盛岡大会	平成21年11月8日	1,300
	第17回東北体操競技選抜大会	平成21年11月12日～11月14日	1,200
	第23回東北体操競技ジュニア大会	平成21年11月15日	850
	日本フットサルリーグ	平成21年12月5日・12月6日	1,350
	第34回日本ハンドボールリーグ盛岡大会	平成22年1月15日・1月16日	2,031
県営野球場	プロ野球パ・リーグ公式戦 楽天対西武	平成21年7月28日	14,784
	第31回東日本軟式野球大会	平成21年6月5日～6月8日	2,961
	日本女子ソフトボール1部リーグ戦	平成21年9月12日～9月14日	6,278
県営スケート場	第44回全日本選抜スピードスケート競技大会	平成22年2月25日～2月28日	280
県営武道館	第32回東北中学校柔道大会	平成21年8月6日～8月9日	6,500
	東北地区高等学校弓道錬成大会	平成21年8月10日～8月12日	2,030
	平成21年度全日本学生柔道体重別選手権大会東北予選会	平成21年9月4日～9月6日	1,920
	東北地区歯科医親善剣道大会	平成21年9月26日・9月27日	640
	平成21年度東北地区大学体育大会柔道競技	平成21年10月17日・10月18日	205
	東北北部三県連合審査会(弓道)	平成21年10月25日	230
	第22回東北高等学校剣道選抜優勝大会	平成22年2月12日～2月14日	3,110
	第9回東北中学校春季柔道大会	平成22年3月20日・3月21日	4,400
県立御所湖広域 公園艇庫	平成21年度第12回東北高等学校カヌースプリント選手権大会	平成21年6月18日～6月20日	535
	第36回東北総合体育大会・第28回東北カヌー選手権大会	平成21年7月17日～7月19日	606

### 第3章 厚生福利

#### 第1節 公立学校共済組合

##### 第1 短期給付事業

##### 第2 長期給付事業

## 第3章 厚生福利

### 第1節 公立学校共済組合

公立学校共済組合の事業には、短期及び長期の給付事業と、組合員の福利厚生事業、組合員に対する貸付事業並びに宿泊施設の経営等があり、これらに必要な費用は、組合員の掛金と地方公共団体の負担金をもって充てている。

#### 【組合員及び被扶養者数（平成21年度末）】 [単位：人]

区 分	組合員数	被扶養者数
一般	13,556	14,161
うち男	7,104	—
女	6,452	—
長期	0	0
船員	29	60
任意継続	417	242
計	14,002	14,463

#### 第1 短期給付事業

##### ○ 収支状況（平成21年度）

#### 【収入】 [単位：千円]

区 分	金 額
短期負担金	3,075,749
介護負担金	271,846
短期掛金	3,046,454
介護掛金	271,785
短期任意継続掛金	126,968
介護任意継続掛金	14,764
利息及び配当金	0
賠償金	2,786
計	6,810,352

#### 【支出】 [単位：千円]

区 分	金 額
法定給付	3,574,296
附加給付	84,687
一部負担金払戻金	58,019
短期任意継続掛金還付	4,081
介護任意継続掛金還付	439
計	3,721,522

収支差額（本部送金）	3,088,830
------------	-----------

#### 第2 長期給付事業

年金給付等の財源として本部へ送金した。

#### 【収入の状況（平成21年度）】 [単位：千円]

区 分	金 額
負担金	10,635,029
追加費用負担金	5,984,705
掛金	7,388,105
利息及び配当金	0
計	24,007,839

第3章 厚生福利

第1節 公立学校共済組合

第1 短期給付事業

第2 長期給付事業

第3 福利厚生事業

1 人間ドック

利用を希望する組合員798人を対象に、以下の9医療機関において、事業費37,275千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	196
県立中央病院	45
岩手医科大学附属病院	30
北上済生会病院	29
盛岡赤十字病院	138
松園第二病院	29
県予防医学協会 本所	251
県予防医学協会 県南センター	55
滝沢中央病院	25
計	798

2 脳ドック

脳疾患の早期発見、早期治療を目的として、45歳以上の希望する組合員495人を対象に、以下の6医療機関において、事業費18,804千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	100
県立中央病院	30
県立中部病院	89
盛岡赤十字病院	92
北上済生会病院	100
県予防医学協会 本所	84
計	495

3 ライフプラン総合講座

組合員の健康管理意識を高め、健康の保持・増進を図るため、健康管理講座を実施した。

【受講者数】 95人 【事業費】 1,145千円

4 メンタルヘルスサポート事業

こころの健康の保持・増進とこころの病気の早期発見・早期対応、再発予防を図るため、県教育委員会と共催で、メンタルヘルスに関する以下のセミナーを実施した。 [単位：人]

区分	目的	対象者	期日	会場	参加者数
教職員のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する基礎知識と理解を深め、相互支援できる職場環境の醸成を図る。	一般教職員	平成21年7月27日	奥州市民文化会館中ホール	143
			平成21年7月28日	岩手県医師会館	156
			平成21年8月7日	岩手県民情報交流センター	254
管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する知識や対応方法について習得を図る。	管理監督者	平成21年6月26日 平成21年6月29日	岩手県民会館中ホール	296
管理監督者メンタルヘルス実践セミナー	こころの病気を持った教職員に対する実践的な対応と職場の受け入れ態勢の構築方法について習得を図る。	こころの病気による療養者を抱える管理監督者	平成21年9月28日	サンセール盛岡	99

5 施設利用補助（サンセール盛岡利用補助）

組合員等によるサンセール盛岡の利用に対し、計62,090千円を補助した。

区分	利用人数等	補助額(千円)	補助の概要
宿泊	2,804人	5,608	宿泊利用1人につき、2,000円を補助
会食	16,993人	49,224	会食利用1人につき、利用額に応じ3,000円～1,000円を補助
婚礼	5組	750	婚礼披露宴利用1組につき、最高15万円を補助
法事・慶事	13組	992	法要・慶事利用1組につき、最高20万円を補助
その他	856件	5,516	会議室利用等に補助
計		62,090	

#### 第4 貸付事業

組合員が臨時に資金を必要とする場合に貸付を行っており、平成21年度における新規貸付の状況は次のとおりである。

【平成21年度新規貸付件数】

[単位：件、千円]

区分	件数	貸付金額	制度の概要
一般貸付	92	119,400	組合員が臨時に資金を必要とする場合 □限度額 200万円
住宅貸付	19	167,764	組合員が自己用の住宅の新築等をする場合 □限度額 1,800万円
住宅災害貸付	0	0	住宅に非常災害を受け、新築等をする場合 □限度額 1,900万円
教育貸付	14	24,800	組合員やその子弟が大学等に入学する場合 □限度額 550万円
医療貸付	5	4,200	組合員やその親族が医療を受ける場合 □限度額 120万円
結婚貸付	0	0	組合員やその子が結婚する場合 □限度額 200万円
葬祭貸付	0	0	組合員が親族の葬祭を行う場合 □限度額 200万円
高額医療貸付	1	29	組合員が高額療養費を支払う場合 □限度額：高額療養費相当額
災害貸付	0	0	組合員や被扶養者が非常災害を受けた場合 □限度額 200万円
出産貸付	0	0	組合員が出産費を支払う場合 □限度額：出産費相当額
計	131	316,193	

#### 第5 宿泊施設

岩手支部は、組合員等の福利厚生施設として、盛岡宿泊所「サンセール盛岡」を設置している。当該施設は、組合員に限らず広く一般県民に利用されており、その利用状況は次のとおりである。

区分等		利用状況	備考
宿泊部門	収容定員	79人	
	宿泊可能人数	28,835人	収容定員79人×営業日数365日
	宿泊延べ人数	9,454人	
	利用率	32.8%	9,454人÷28,835人
宿泊外部部門	収容定員	848人	
	利用可能人数	309,520人	収容定員848人×営業日数365日
	利用延べ人数	97,478人	
	うち会議利用	43,327人	
	宴会利用	40,869人	
	婚礼利用	810人	婚礼組数8組、披露宴数8組
	休憩利用	10人	
	グリル等	12,462人	
利用率	31.4%	97,478人÷309,520人	
計	106,932人	宿泊延べ人数9,454人+宿泊外利用延べ人数97,478人	

第3章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第1 短期給付事業

第2 長期給付事業

第3 厚生福利事業

第2節 教職員互助会

本県における教育文化の振興発展に寄与し、併せて教職員及び教育関係職員の福利増進と生活の安定を図ることを目的として、以下の諸事業を実施した。

第1 短期給付事業

区 分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
療養給付金	89,506,465	被扶養者 36,462件	被扶養者が療養を受けたとき給付
無給会員給付金	8,280,000	28条休職者 23人	会員が休職し無給となったとき給付 □28条休職者：3万円（平均12月）
出産保育費	9,540,000	会員…… 196人 配偶者… 122人	会員又は被扶養配偶者が出産したとき給付 □会員・配偶者：3万円
災害見舞金	400,000	1件	会員が火災等の災害を受けたとき損害の程度により給付 □3万円～60万円
弔慰金	7,600,000	会員……… 9人 配偶者…… 2人 被扶養者…27人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：50万円、配偶者：20万円、被扶養者：10万円
計	115,326,465		

第2 長期給付事業

区 分	給付額 (円)	人 数	制度の概要
生きがい対策 支援助成金	112,873,325	561人 うち定年退職………265人 勸奨退職……… 66人 死亡退職……… 7人 普通退職……… 66人 特別会員……… 40人 その他（異動）… 39人 その他（期限付） 78人	会員資格6か月以上の会員が退会したとき給付 □会員期間1年につき8,500円を乗じて得た額 （1人平均201,200円）

第3 厚生福利事業

区 分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
療養給付金	179,720,555	63,099件	会員が療養を受けたとき給付
入院見舞金	14,606,000	会員……… 11,896日 被扶養者… 17,316日	会員又は被扶養者が入院したとき給付 □会員・被扶養者：1日につき500円
介護休暇給付金	2,611,996	23件	会員が介護休暇を取得したとき給付。 □1日につき給料日額の100分の60に相当する額から 共済組合の介護休業手当金を控除した額。

第3章 厚生福利  
 第2節 教職員互助会  
 第3 厚生福利事業

区分	給付額(円)	件数等	制度の概要
小学校入学祝金	6,660,000	666人	会員の被扶養者、配偶者の被扶養者に認定されている子が小学校に入学したとき給付 □10,000円
弔慰金	200,000	1人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □被扶養者以外の配偶者：200,000円
施設利用補助	7,615,469	宿泊利用……5,791件 うち全教互指定旅館 5,775件 サンセール盛岡 16件 会食利用……392件 婚礼利用……5件	宿泊利用補助：会員及び被扶養者が指定施設を宿泊で利用したとき補助 □全教互指定旅館：1泊につき1,000円 □サンセール盛岡：1泊につき2,000円(特別会員) 会食利用補助：特別会員が会食でサンセール盛岡を利用したとき補助 □1人1回につき6千円以上の利用：3,000円 5千円以上6千円未満の利用：2,000円 3千円以上5千円未満の利用：1,000円 婚礼利用補助：会員及びその子が、結婚披露宴でサンセール盛岡を利用したとき補助 □150,000円を上限に1組の利用額の25%
退職慰労記念品費	32,030,000	旅行券……539人 香典料……7人	退職又は異動により退会したとき旅行券を交付 □会員年数1年以上10年未満：20,000円 10年以上20年未満：40,000円 20年以上30年未満：60,000円 30年以上：80,000円 死亡により退会したとき遺族に香典料を支給 □香典料：50,000円
遺児育英資金	3,500,000	7人	会員が死亡したとき、被扶養者のうち、当該年度末までの間に満18歳以下である遺児があるとき給付 □遺児1人 500,000円
ライフプランセミナー	939,162		□ライフプランを基本に「健康管理」「年金」「生涯生活設計」について基礎研修と選択研修の講座を実施 □退職予定者を対象に県内数か所で退職準備セミナーを開催(共済組合との共催事業)
公益文化事業費	7,334,787		□互助会報発行：年4回 □会報表紙写真募集 □岩手教育芸術祭開催(他団体と共催) □教職員囲碁大会(県大会・全国大会) □文化公演会(他団体と共催) □福祉のしおり
保険外医療給付金	3,434,370	マッサージ等…251件 妊婦検診……72件 歯科治療……74件 不妊治療……10件	会員が保険適用外医療(マッサージ等、歯科治療、妊婦検診及び不妊治療)を受けたとき給付 □1年度について10,000円以内
身体矯正器具等購入(修理)補助	20,231,407	眼鏡……2,030件 補聴器……2件 補装具……0件	眼鏡、補聴器、補装具のいずれかを購入(修理)したとき補助 □2年度に1回に限り10,000円以内
ホームヘルパー雇用補助	337,118	5件	会員、配偶者、会員又は配偶者の扶養家族、会員又は配偶者の父母(別居しているときは、同居者がいない場合に限る)が、在宅療養中に介助者及び家事援助者(3親等以外の者)を1年度に5日以上雇用して、その費用を負担したとき補助。 □1日2,000円以内(1年度に60日を限度) ただし、介護保険の在宅支給給付を受けている場合は、その自己負担額の範囲内とする。
心身リフレッシュ支援助成	45,110,100	15年……417人 25年……479人	会員の会員継続年数が15年、25年に達したとき助成 □会員年数15年：40,000円、25年：60,000円 □助成品目：旅行券又は図書カード
計	127,392,413		

第3章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第4 特別弔慰積立事業

第5 貸付事業

第4 特別弔慰積立事業

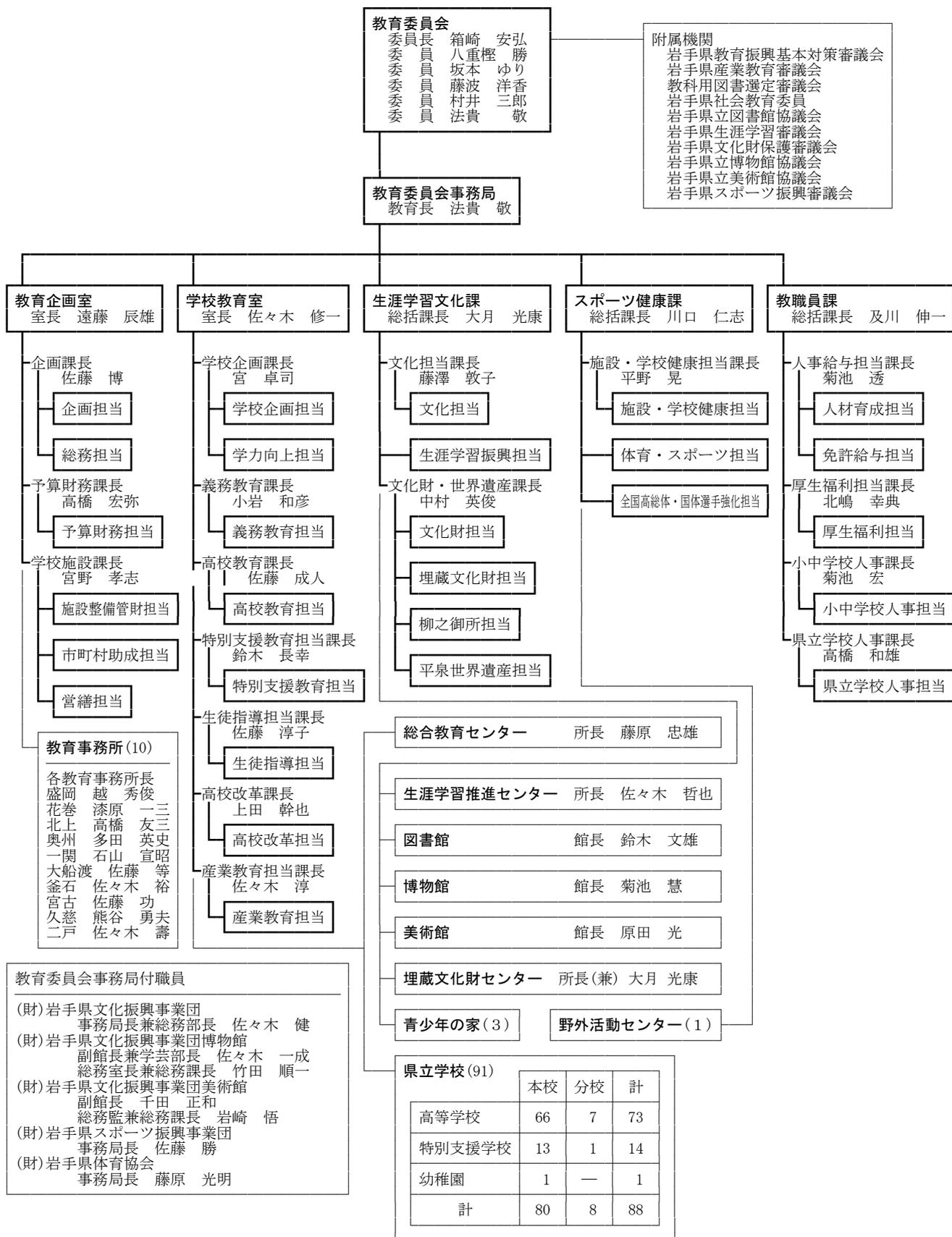
区 分	給付額（円）	件数(人数)	制度の概要
特別弔慰金	2,750,000	会員…………… 7人 配偶者…………… 2人 被扶養者…23人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：20万円、配偶者：10万円、被扶養者：5万円
積立給付金	32,339,300	積立金… 581人	退会により会員の資格を失ったとき、積立金を給付 □積立金・毎月200円積立の累計額
計	35,089,300		

第5 貸付事業

区 分	貸付額（円）	件 数	制度の概要
生活資金	337,400,000	218件	会員が臨時に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
奨学資金	85,100,000	47件	会員又はその子弟が高校、大学等に入学又は修学するため資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
海外旅行資金	0	0件	会員が海外旅行をする場合で旅行日前2か月以内に資金を必要とするとき □貸付限度額100万円
結婚資金	9,000,000	5件	会員又はその子が結婚する場合で婚姻の前後6か月以内に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
計	431,500,000	270件	

1 県教育委員会機構図

1 県教育委員会機構図（平成21年5月1日現在）



## 2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

### 岩手県教育振興基本対策審議会委員（平成21年7月1日現在）

野田 武 則（釜石市長）  
 川村 光 朗（矢巾町長）  
 菅原 皓 文（軽米町教育委員会委員長）  
 菅原 義 子（奥州市教育委員会教育長）  
 谷 藤 文 明（(財)岩手県体育協会理事）  
 佐藤 公 基（岩手県社会教育連絡協議会副会長）  
 佐藤 匡（(社)岩手県芸術文化協会理事）  
 佐々木 雅 博（岩手県高等学校PTA連合会幹事）  
 鈴木 祐 子（(社)岩手県PTA連合会副会長）  
 佐々木 壮 一（盛岡教育事務所教育相談員）  
 遠藤 洋 一（前盛岡第一高等学校長）  
 工藤 玲 子（滝沢村立柳沢小・中学校評議員）  
 高橋 寿 子（農事組合法人いさわ産直センターあじさい組長）  
 中村 美知子（有限会社アライブ代表取締役社長）  
 橋本 久 夫（特定非営利活動法人いわてマリフィールド理事長）  
 細川 恵 子（特定非営利活動法人紫波さぷり理事長）  
 三浦 光 子（臨床心理士）  
 谷村 久 興（谷村電気精機株式会社代表取締役社長）  
 （任期：平成21年7月1日～平成23年6月30日）

### 岩手県社会教育委員（平成21年7月1日現在）

新沼 敏 哉（盛岡市立桜城小学校長）  
 佐々木 貢（岩手県立盛岡となん支援学校長）  
 加藤 国 雄（岩手県青年団体協議会長）  
 寺崎 敏 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）  
 小野寺 明 美（(社)岩手県PTA連合会顧問）  
 松尾 弘 一（岩手県社会教育連絡協議会長）  
 阿部 智衛子（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご理事長）  
 甲山 知 苗（特定非営利活動法人アイディング常務理事）  
 近藤 英 一（特定非営利活動法人翔くつばさネット理事長）  
 藤田 公仁子（岩手大学地域連携推進センター准教授）  
 佐藤 利 明（岩手県立大学総合政策学部教授）  
 村里 洋 子（みちのくレディーススキークラブ会長）  
 柴田 孝 夫（二戸市教育委員会委員長）  
 亀谷 由美子（岩手県弦楽研究会会長）  
 高橋 好 子（公募委員）  
 （任期：平成20年7月1日～平成22年6月30日）

### 岩手県立図書館協議会委員（平成21年5月1日現在）

安 保 位 子（岩手県学校図書館協議会長）  
 及 川 典 子（奥州市教育委員会社会教育委員）  
 斎 藤 文 男（富士大学経済学部教授）  
 佐々木 るみ子（遠野市教育委員会委員）  
 一 戸 彦太郎（岩手日報社編集局学芸部長）  
 柏 葉 幸 子（作家）  
 丸 山 ちはや（子どもの芸術あそび教室「虹色の部屋」主宰）  
 玉 山 美紀枝（公募委員）  
 （任期：平成20年7月1日～平成22年6月30日）

### 岩手県生涯学習審議会委員（平成21年7月1日現在）

新沼 敏 哉（盛岡市立桜城小学校長）  
 佐々木 貢（岩手県立盛岡となん支援学校長）  
 加藤 国 雄（岩手県青年団体協議会長）  
 寺崎 敏 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）  
 小野寺 明 美（(社)岩手県PTA連合会顧問）  
 松尾 弘 一（岩手県社会教育連絡協議会会長）  
 阿部 智衛子（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご理事長）  
 甲山 知 苗（特定非営利活動法人アイディング常務理事）  
 近藤 英 一（特定非営利活動法人翔くつばさネット理事長）  
 藤田 公仁子（岩手大学地域連携推進センター准教授）  
 佐藤 利 明（岩手県立大学総合政策学部教授）  
 村里 洋 子（みちのくレディーススキークラブ会長）  
 柴田 孝 夫（二戸市教育委員会委員長）  
 亀谷 由美子（岩手県弦楽研究会会長）  
 高橋 好 子（公募委員）  
 （任期：平成20年7月1日～平成22年6月30日）

## 参考資料

### 2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

#### 岩手県文化財保護審議会委員（平成21年5月1日現在）

朝日田 卓（北里大学水産学部准教授）  
大 矢 邦 宣（盛岡大学教授）  
菅 野 文 夫（岩手大学教授）  
工 藤 紘 一（一戸町文化財調査専門委員）  
工 藤 雅 樹（福島大学名誉教授）  
熊 谷 常 正（盛岡大学教授）  
小井川 百合子（仙台市博物館主幹）  
越 谷 信（岩手大学准教授）  
酒 井 禰 生（岩手県立大学盛岡短期大学部准教授）  
澁 谷 美 紀（東北農業研究センター主任研究員）  
月 舘 敏 栄（八戸工業大学教授）  
中 屋 洋 子（盛岡簡易裁判所調停委員）  
根 本 智 行（石巻専修大学教授）  
（任期：平成20年5月1日～平成22年4月30日）

#### 岩手県立博物館協議会委員（平成21年5月1日現在）

佐々木 保 子（盛岡市立上田小学校長）  
作 山 雅 宏（盛岡市立見前中学校長）  
土 川 春 生（岩手県立盛岡第四高等学校長）  
岩 泉 美奈子（岩手県青年団体協議会常任理事）  
及 川 公 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会会長）  
藤 原 由美子（(社)岩手県PTA連合会顧問）  
吉 丸 蓉 子（盛岡市立先人記念館長）  
盛 川 通 正（滝沢村教育委員会教育長）  
松 田 美智子（岩手県立博物館友の会企画委員長）  
小 原 守 夫（(株)岩手日報社編集局編集委員室前委員）  
土 谷 信 高（岩手大学教育学部教授）  
平 塚 明（県立大学総合政策学部教授）  
春 日 菜穂美（盛岡大学教授）  
澤 口 たまみ（エッセイスト）  
野 沢 裕 美（小岩井農場展示資料館長）  
（任期：平成19年6月23日～平成21年6月22日）

#### 岩手県立美術館協議会委員（平成21年4月1日現在）

阿 部 裕 之（岩手大学教育学部教授）  
内 澤 英 明（岩手県立不来方高等学校校長）  
太 田 玲 子（公募委員）  
長 内 努（彫刻家・舞台美術家）  
工 藤 寿 夫（盛岡市立北松園中学校校長）  
齋 藤 純（小説家）  
佐々木 真理子（盛岡市立永井小学校校長）  
佐 藤 浩 子（岩手県立美術館友の会会長）  
菅 原 和 彦（(株)岩手日報社芸芸部次長）  
高 山 定 子（(社)岩手県PTA連合会副会長）  
豊 卷 智 子（公募委員）  
中 村 光 紀（盛岡市観光文化交流センター館長）  
平 塚 正 隆（(株)JTB東北取締役盛岡支店長）  
柳 橋 好 子（岩手県地域婦人団体協議会常務理事）  
吉 田 浩 次（(株)川徳常務取締役）  
（任期：平成20年3月1日～平成22年2月28日）

#### 岩手県スポーツ振興審議会委員（平成21年6月23日現在）

熊 坂 伸 子（普代村教育委員会教育長）  
熊 谷 祐 三（岩手県商工会議所連合会副会長）  
佐々木 正 春（(財)岩手県体育協会副会長兼理事長）  
石 川 幸 男（岩手県高等学校体育連盟理事長）  
佐々木 幸 彦（岩手県中学校体育連盟理事長）  
小 山 正 子（岩手県体育指導委員協議会副会長）  
佐々木 浮 子（岩手県小学校体育研究会常任理事）  
清 水 茂 幸（岩手大学教育学部准教授）  
松 浦 武 彦（(社)岩手県医師会常任理事）  
小 舘 操（トリノオリンピックバイアスロン競技日本代表監督）  
竹 村 馨（アトランタオリンピックシノーグノイズドスイミング団体編メダリスト）  
高 田 澄 子（公募委員）  
宮 野 るみ子（公募委員）  
（任期：平成20年6月23日～平成22年6月22日）

### 3 県教育委員会会議録抄（平成21年度）

#### 4月定例会（平成21年4月20日）

- 事務報告1 平成21年2月県議会定例会の概要について
- 議案第1号 岩手県立こまくさ幼稚園長の人事の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第2号 職員の懲戒処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第3号 県立学校長の人事に関し議決を求めることについて

#### 5月定例会（平成21年5月18日）

- 議案第4号から議案第6号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 6月定例会（平成21年6月15日）

- 議案第7号 岩手県立博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第8号 岩手県教育振興基本対策審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第9号 岩手県スポーツ振興審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて
- 議案第10号および議案第11号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 7月定例会（平成21年7月21日）

- 事務報告1 平成21年6月県議会定例会の概要について
- 議案第12号 これからの教育振興基本対策を諮問することについて
- 議案第13号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第14号 公立中学校長の人事に関し議決を求めることについて

#### 8月定例会（平成21年8月19日）

- 事務報告1 岩手県指定有形文化財の指定の解除について
- 議案第15号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて
- 議案第16号 県立学校の廃止並びに県立学校の分校及び学科の廃止に関し議決を求めることについて

#### 9月定例会（平成21年9月24日）

- 事務報告1 平成22年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学選抜実施要項について
- 事務報告2 平成21年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の結果について
- 議案第17号 文化財の指定に関し議決を求めることについて
- 議案第18号 学校職員の懲戒処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第19号から議案第21号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第22号 公立小学校長の人事の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- 議案第23号 公立小学校長の人事に関し議決を求めることについて

#### 10月臨時会（平成21年10月8日）

- 第1 委員長選挙
- 第2 委員長職務代理者の指定
- 第3 委員長職務代理者の順位の決定

#### 10月臨時会（平成21年10月21日）

- 第1 議席の決定

#### 10月定例会（平成21年10月21日）

- 事務報告1 平成21年度「いわて教育の日」について
- 事務報告2 第64回国民体育大会（トキめき新潟国体）の結果について
- 事務報告3 平成21年人事委員会勧告の概要について
- 議案第24号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて
- 議案第25号 岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第26号 平成22年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて
- 議案第27号 教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第28号 岩手県教育委員会公文例式規程の一部を改正する訓令
- 議案第29号から議案第32号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第33号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

## 参考資料

### 3 県教育委員会会議録抄

#### 10月臨時会（平成21年10月26日）

- 事務報告1 平成22年度岩手県立高等学校入学者選抜実施要項について
- 議案第34号 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

#### 11月定例会（平成21年11月16日）

- 事務報告1 平成21年9月県議会定例会の概要について
- 事務報告2 岩手県立高等学校入学者選抜学力検査に係るインフルエンザ対応（方針）について
- 議案第35号 教育事務所の再編計画に関し議決を求めることについて
- 議案第36号 教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第37号及び議案第38号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 12月定例会（平成21年12月21日）

- 事務報告1 平成21年12月県議会定例会の概要について
- 議案第39号 教科用図書採択地区の変更に関し議決を求めることについて
- 議案第40号 いわて特別支援教育推進プランの策定に関し議決を求めることについて
- 議案第41号から議案第45号まで 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第46号 公立中学校長の人事に関し議決を求めることについて

#### 1月定例会（平成22年1月18日）

- 議案第47号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 2月定例会（平成22年2月15日）

- 議案第48号 文化財の指定に関し議決を求めることについて
- 議案第49号 岩手県立美術館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第50号 教育職員等の勤務時間に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第51号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 3月臨時会（平成22年3月5日）

- 議案第52号 岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
- 議案第53号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第54号 公立小中学校長の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第55号 県立学校の校長及び事務長の人事に関し議決を求めることについて

#### 3月定例会（平成22年3月17日）

- 事務報告1 第65回国民体育大会冬季大会の結果について
- 議案第56号 岩手の教育振興の策定に関し議決を求めることについて
- 議案第57号 岩手県教育委員会が保有する行政文書の開示等に関する規則及び岩手県教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第58号 今後の高等学校教育の基本的方向の策定に関し議決を求めることについて
- 議案第59号 岩手県立美術館管理運営規則の一部を改正する規則
- 議案第60号 岩手県教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令
- 議案第61号 教科用図書選定審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第62号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて
- 議案第63号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

#### 4 県教育委員会関係主要行事（平成21年度）

- 4月8～9日 第1回代表指導主事会議〔県庁舎〕  
 9～10日 第1回岩手県社会教育主事会議〔サンセール盛岡〕  
 10日 公所長会議〔県庁舎〕  
 15～16日 岩手県指導主事等会議〔盛岡地区合庁等〕  
 16日 第1回県立学校長会議〔県庁舎〕  
 20日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 23日 県立学校副校長会議〔県庁舎〕  
 30日 第6回第二次県立高等学校長期構想検討委員会〔県庁舎〕
- 5月7～8日 県立学校等新任副校長研修講座〔盛岡地区合同庁舎〕  
 15日 教育振興運動市町村担当者研修会〔サンセール盛岡〕  
 13～15日 県立学校等新任校長研修講座〔清温荘〕  
 14日 平成21年度県立学校事務長会議〔県庁舎〕  
 18日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 23日 岩手県ユネスコ連盟総会〔サンセール盛岡〕  
 20日～6月8日 第61回岩手県高等学校総合体育大会〔盛岡市ほか〕
- 6月 5日 第1回道徳教育推進協議会〔盛岡地区合同庁舎〕  
 8日 第1回豊かな体験活動推進協議会〔盛岡地区合同庁舎〕  
 15日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 17日 第1回岩手県高等学校キャリア教育調査研究委員会〔県庁舎〕  
 17日 第1回「いわてキャリア教育」推進検討委員会〔県庁舎〕  
 18～19日 岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会専任職員研修会〔生涯学習推進センター〕
- 7月 4日 放課後子どもプラン指導者合同研修会①〔生涯学習推進センター〕  
 7日 第1回岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会〔サンセール盛岡〕  
 8日 第2回代表指導主事会議〔県庁舎〕  
 9日 第76回岩手県スポーツ振興審議会〔県庁舎〕  
 11～22日 全国高等学校野球選手権大会岩手大会〔盛岡市ほか〕  
 13日 県小・中学校教育課程説明会（総合教育センター）  
 18～20日 岩手県中学校総合体育大会〔盛岡市ほか〕  
 21日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 22日 教育振興運動推進幹事会〔県庁舎〕  
 23日 第7回第二次県立高等学校長期構想検討委員会〔県庁舎〕  
 23～24日 都市社会教育主管課長会議〔八幡平市〕  
 31日 第2回「いわてキャリア教育」推進検討委員会〔県庁舎〕  
 28日～8月20日 全国高等学校総合体育大会〔奈良県他〕
- 8月 5日 第1回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議〔サンセール盛岡〕  
 17～25日 全国中学校体育大会〔九州ブロック〕  
 19日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 21～23日 第36回東北総合体育大会〔青森県〕  
 31日 第3回「いわてキャリア教育」推進検討委員会〔県庁舎〕  
 31日 第8回第二次県立高等学校長期構想検討委員会〔県庁舎〕
- 9月3～4日 北海道・東北ブロック生涯学習・社会教育委主管課長会議〔仙台市〕  
 9日 第1回児童生徒表彰式（はばたき賞）〔県庁舎〕  
 13日 放課後子どもプラン指導者合同研修会②〔生涯学習推進センター〕  
 24日 教育委員会議定例会〔教育委員室〕  
 26日～10月6日 第64回国民体育大会〔新潟県〕  
 30日 第4回「いわてキャリア教育」推進検討委員会〔県庁舎〕

## 参考資料

### 4 県教育委員会関係主要行事

- 10月 3日 岩手芸術祭開幕フェスティバル [県民会館]  
7日 学習定着度状況調査の実施[各小中学校]  
15～16日 第2回岩手県社会教育主事会議 [生涯学習推進センター]  
8日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]  
18日 第50回北海道・東北ブロック民俗芸能大会 [北上市]  
21日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 11月 1日 岩手県青少年民俗芸能フェスティバル [県民会館]  
2日 第2回県立学校長会議 [盛岡地区合同庁舎]  
4日 「いわて教育の日」記念式典 [県民会館]  
13日 第2回道徳教育推進協議会 [盛岡地区合同庁舎]  
20日 教育表彰 [県民会館]  
16日 教育委員会議定例会 [教育委員室]  
17日 第77回岩手県スポーツ振興審議会 [盛岡地区合同庁舎]  
25日 第2回豊かな体験活動検討委員会 [県庁舎]  
26日 第3回代表指導主事会議 [県庁舎]
- 12月 4日 学力向上実践研究推進事業推進協議会 [県庁舎]  
12日 いわてスポーツコンベンション2009 [ホテルメトロポリタン盛岡]  
21日 教育委員会議定例会 [教育委員室]  
25日 高大連携ウィンターセッション [県内各大学]
- 1月 8日 第45回岩手県学校健康教育研究大会 [アイーナ]  
13日 小学校外国語活動フォーラム (盛岡市民文化ホール)  
18日 教育委員会議定例会 [教育委員室]  
22日 第2回県指導主事会議 (盛岡地区合同庁舎等)  
29日 幼稚園等新規採用教員研修運営協議会 [県庁舎]  
27日～31日 第65回国民体育大会冬季大会スケート競技会 [北海道]
- 2月 3～6日 平成21年度全国中学校スキー大会 [八幡平市]  
5日 第4回代表指導主事会議 [県庁舎]  
8日 第2回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議 [県庁舎]  
9～10日 岩手県生涯学習推進研究発表会 [生涯学習推進センター]  
10日 キャリア教育推進フォーラム in いわて [一関市立川崎公民館]  
10日 第2回児童生徒表彰式 (はばたき賞) [県庁舎]  
15日 教育委員会議定例会 [教育委員室]  
15日 第3回岩手県社会教育主事会議 [サンセール盛岡]  
15日 平成22年度国庫補助事業・委託事業等事務説明会 [サンセール盛岡]  
16日 第3回県立学校長会議 [サンセール盛岡]  
16日 第2回岩手県高等学校キャリア教育調査研究委員会 [県庁舎]  
16日 第5回「いわてキャリア教育」推進検討委員会 [県庁舎]  
17日 第2回岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会 [サンセール盛岡]  
19日 第2回岩手県文化財保護審議会 [県庁舎]  
25～28日 第65回国民体育大会冬季大会スキー競技会 [北海道]
- 3月 5日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]  
5日 教育振興運動推進幹事会 [県庁舎]  
6日 いわてスーパーキッズ認証式 [岩手大学]  
12日 岩手県子どもの読書活動推進委員会 [県庁舎]  
17日 教育委員会議定例会 [教育委員室]

参考資料

5 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託

5 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託

【特例民法法人（平成22年3月31日現在）】

番号	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
1	(社)達古袋農業教育協会	大正3年6月15日	農業教育の普及	一関市萩荘字八幡153-1
2	(財)大慈会	大正11年11月18日	大慈寺の維持経営	盛岡市大慈寺町5-6（大慈寺内）
3	(財)岩手育英会	大正14年9月10日	育英奨学	盛岡市津志田14-37-2（盛岡市教委内）
4	(財)盛岡菅公会	昭和2年5月14日	育英・天満宮維持経営	盛岡市南大通2-8-5
5	(社)繫報徳社	昭和2年10月3日	防貧、救貧事業	宮古市川井6-138-1
6	(財)福岡高等学校奨学会	昭和5年11月11日	育英奨学	二戸市福岡字上平10
7	(財)岩手教育会館	昭和27年8月18日	教育関係者の福利厚生	盛岡市大通1-1-16
8	(財)重茂教育振興会	昭和30年3月30日	奨学金貸与	宮古市大字重茂第1地割字西大館61
9	(財)岩手県学校給食会	昭和33年5月1日	学校給食関係事業	盛岡市流通センター北1-12-1
10	(財)岩手県高校教育会館	昭和34年11月6日	高校関係教職員の福利厚生	盛岡市志家町11-13
11	(財)高村記念会	昭和40年11月4日	高村光太郎記念館の管理	花巻市花城町4-28（総合花巻病院内）
12	(財)岩手県体育協会	昭和41年4月28日	県民体育の普及振興	盛岡市青山4-13-30
13	(財)二十五菩薩像保存委員会	昭和42年2月23日	二十五菩薩像の保存	一関市東山町松川字町裏64
14	(財)岩手育英奨学会	昭和42年7月14日	育英奨学	盛岡市内丸10-1（県教委教育企画室内）
15	(財)岩手日報労友会奨学基金	昭和43年3月23日	育英奨学	盛岡市内丸3-7（岩手日報労組内）
16	(社)岩手県文化財愛護協会	昭和44年7月1日	文化財愛護思想の普及	盛岡市上田字松屋敷34（県立博物館内）
17	(財)石川啄木記念館	昭和44年9月18日	石川啄木記念館の管理	盛岡市玉山区洪民字洪民9
18	(財)岩手県教育弘済会	昭和46年9月22日	研究団体への助成	盛岡市中央通3-3-1（ジブラルタ生命内）
19	(社)久慈学校給食協会	昭和47年3月24日	学校給食関係事業	久慈市寺里30-77
20	(財)岩手県教職員互助会	昭和47年4月1日	教育関係者の福利厚生	盛岡市大通1-1-16
21	(社)野田村学校給食協会	昭和47年3月24日	学校給食関係事業	九戸郡野田村野田22-114-13
22	(財)大船渡市体育協会	昭和47年4月24日	体育振興	大船渡市盛町字宇津野沢15（大船渡市教委内）
23	(財)岩手県退職教職員互助会	昭和48年7月3日	教育文化の振興	盛岡市大通1-1-16
24	(財)遠野市教育文化振興財団	昭和49年4月22日	教育文化の振興	遠野市新町1-10（遠野市教委内）
25	(財)大船渡市育英奨学会	昭和49年8月19日	育英奨学	大船渡市盛町字宇津野沢15（大船渡市教委内）
26	(財)岩手県青少年会館	昭和49年8月30日	社会教育の振興	盛岡市みたけ3-38-20
27	(財)軽米教育施設運営会	昭和50年4月1日	教育施設の管理	九戸郡軽米町大字軽米9-51-1
28	(社)岩手県芸術文化協会	昭和50年7月21日	芸術文化の振興	盛岡市内丸13-1（県民会館内）
29	(財)九戸教育施設運営会	昭和51年1月28日	教育施設の管理	九戸郡九戸村大字山根5-95
30	(財)宮沢賢治記念会	昭和51年5月28日	文化遺産の管理保全	花巻市鍛冶町4-13
31	(財)紫波社会体育振興会	昭和51年12月20日	社会体育の振興	紫波郡紫波町桜町字下川原100
32	(財)岩手県学校安全互助会	昭和52年4月1日	学校事故被災者救済	盛岡市中央通1-4-7
33	(財)三陸教育施設運営会	昭和52年4月18日	教育施設の管理	大船渡市三陸町越喜来字前田23
34	(財)岩手教育文化センター	昭和54年8月20日	教育文化の向上	盛岡市上田3-18-33（国立大学法人岩大教育学部内）
35	(社)奥州市体育協会	昭和54年10月22日	体育・スポーツの振興	奥州市水沢区秋葉町24-3

参考資料

5 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託

番号	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
36	(財)盛岡市体育協会	昭和55年5月19日	体育・スポーツの振興	盛岡市上田3-17-60
37	(財)滝沢村体育協会	昭和56年3月23日	体育・スポーツの振興	岩手郡滝沢村大字鶴飼字御庭田1-1
38	(社)一関市体育協会	昭和56年3月23日	体育・スポーツの振興	一関市狐禅寺字石ノ瀬25-3
39	(社)岩手囲碁センター	昭和56年3月23日	囲碁の普及	盛岡市大通1-1-16
40	(財)岩手町体育協会	昭和57年3月29日	体育・スポーツの振興	岩手郡岩手町大字子抱4-12
41	(財)農林会館育英奨学会	昭和57年10月19日	育英奨学	盛岡市菜園1-3-6
42	(財)紫波町体育協会	昭和58年3月23日	体育・スポーツの振興	紫波郡紫波町桜町字下川原100
43	(財)雫石町体育協会	昭和58年4月30日	体育・スポーツの振興	岩手郡雫石町第1地割字高前田104
44	(財)伊藤育英会	昭和58年9月19日	育英奨学	花巻市大通り1-12-14
45	(財)岩手県文化振興事業団	昭和60年4月8日	文化の振興	盛岡市内丸13-1 (県民会館内)
46	(財)岩手県スポーツ振興事業団	昭和60年3月26日	スポーツの振興	盛岡市みたけ1-10-1
47	(財)岩手県教育振興基金	昭和61年9月25日	教育研究団体等への助成	盛岡市菜園1-11-15
48	(財)小林奨学育英会	昭和62年12月21日	育英奨学	奥州市水沢区中町127 (株式会社マツヤ内)
49	(社)久慈市体育協会	平成元年1月23日	体育・スポーツの振興	久慈市新中の橋4-13-3
50	(財)三木育英会	昭和35年10月25日 (平成元年2月26日移管)	育英奨学	一関市川崎町薄衣字石畑37 (川崎コンクリート工業株式会社内)
51	(財)宮古市体育協会	平成元年5月22日	体育・スポーツの振興	宮古市小山田2-1-1
52	(財)日本ボーイスカウト岩手連盟維持財団	平成元年7月17日	ボーイスカウト運動の援助・普及啓蒙	盛岡市みたけ3-38-20 (岩手県青少年会館内)
53	(社)八幡平市体育協会	平成2年2月19日	体育・スポーツの振興	八幡平市大更37-105-12
54	(社)岩手県ピアノ音楽協会	平成3年3月20日	芸術文化の振興	盛岡市緑が丘2-2-11 カーサ・ヴェルデ102
55	(財)北上教育文化振興会	平成3年3月29日	社会教育・文化・スポーツの振興	北上市相去町小糠沢19
56	(財)奥州市文化振興財団	平成4年4月20日	文化の振興	奥州市水沢区佐倉河字石橋41
57	(財)岩手県スキー連盟	平成4年11月24日	スキーの振興	盛岡市大新町3-25
58	(財)金ヶ崎町生涯スポーツ事業団	平成5年11月22日	生涯スポーツの振興	胆沢郡金ヶ崎町西根森山31-2
59	(財)花巻市体育協会	平成6年3月22日	スポーツの振興	花巻市城内1-43
60	(財)北上市体育協会	平成7年3月17日	スポーツの振興	北上市相去町高前壇27-36
61	(社)深澤紅子野の花美術館	平成8年3月21日	画家深澤紅子の業績の公開展示	盛岡市紺屋町4-8
62	(財)盛岡市文化振興事業団	平成9年10月15日	文化の振興	盛岡市盛岡駅西通2-9-1
63	(社)岩手県PTA連合会	平成12年7月17日	PTA活動の振興	盛岡市みたけ3-38-20 (岩手県青少年会館内)
64	(財)北上市文化創造	平成15年2月13日	文化の振興	北上市さくら通り2-1-1
65	(社)岩手県サッカー協会	平成17年4月1日	サッカーの振興	盛岡市青山4-13-30

【公益信託（平成22年3月31日現在）】

名称	許可年月日	目的・事業	受託者	受託者
公益信託田村清蔵記念奨学基金	昭和57年8月25日	育英奨学	田村 清蔵	三菱UFJ信託銀行株式会社

参考資料

6 県教育関係諸団体

6 県教育関係諸団体（平成22年5月1日現在）

No.	団体名	事務局所在地	事務局電話番号	代表者
1	岩手県小学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-623-8955	阿部修志
2	岩手県中学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-622-0572	吉田道一
3	岩手県高等学校長協会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	千葉研二
4	岩手県副校長会	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-651-2858	砂田康裕
5	岩手県高等学校副校長協議会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	中村道典
6	岩手県小学校教育研究会	盛岡市本町通2-18-1 仁王小学校内	019-623-4214	阿部修志
7	岩手県中学校教育研究会	盛岡市上田2-1-1 上田中学校内	019-623-4237	伊藤好男
8	岩手県高等学校教育研究会	盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内	019-622-5101	酒井長治
9	岩手県小規模・複式学校教育研究連盟	盛岡市玉山区玉山字田畑19-1 城内小学校内	019-685-2301	小島勝美
10	岩手県高等学校定時制通信制教育協会	盛岡市上田2-3-1 杜陵高等学校内	019-652-1813	菅原完司
11	岩手県学校保健研究会	紫波町稲藤字牡丹野5-1 紫波第三中学校内	019-673-7305	西川勝夫
12	岩手県学校給食研究会	盛岡市長田町16-1 河北小学校内	019-622-6256	稲垣キツ子
13	岩手県公立小中学校事務職員研究協議会	二戸市福岡字下川又15 福岡小学校内	0195-23-6155	伊藤義幸
14	岩手県公立学校事務長会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	竹高昭
15	岩手県公立高等学校事務職員協会	盛岡市津市田26-17-1 盛岡第四高等学校内	019-636-0743	古山正明
16	岩手県特別支援学校連絡協議会	盛岡市北山1-10-1 盛岡視覚支援学校内	019-624-2986	千田光久
17	岩手県特別支援教育研究会	盛岡市本町通2-18-1 仁王小学校内	019-623-4214	阿部修志
18	岩手県国立幼稚園協議会	一関市滝沢字水口103-2 真滝幼稚園内	0191-21-2157	沖田誠子
19	(社)岩手県私立幼稚園連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	坂本洋
20	(社)岩手県私学協会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	小田島順造
21	岩手県市町村教育委員会協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会総務課内	019-651-4111	八巻恒雄
22	(社)岩手県専修学校各種学校連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	龍澤正美
23	(社)岩手県PTA連合会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-6444	松尾正弘
24	岩手県高等学校PTA連合会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-625-6386	工藤重信
25	岩手県特別支援学校PTA連合会	盛岡市北山1-10-1 盛岡視覚支援学校内	019-624-2986	村上直人
26	岩手県国立幼稚園PTA連絡協議会	奥州市胆沢区南都田字塚田214-4 南都田幼稚園内	0197-46-2322	鈴木貴之
27	岩手県私立幼稚園PTA連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	鈴木代美穂
28	岩手県私立小中高等学校保護者会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	澤口寿
29	岩手県子ども会育成会連絡協議会	矢巾町又兵衛新田7-214-7	019-697-4957	工藤勝則
30	岩手県生涯学習振興協会	花巻市北湯口2-82-13 生涯学習推進センター内	0198-27-4555	高橋寛
31	岩手県図書館協会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	鈴木文雄
32	岩手県青年団体協議会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-6412	加藤国雄
33	(特活)岩手県地域婦人団体協議会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-648-6620	及川公子
34	岩手県ユネスコ協会連盟	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	安藤厚
35	岩手県社会教育連絡協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会生涯学習スポーツ課内	019-651-4111	松尾弘一
36	岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	八巻恒雄
37	ボーイスカウト岩手県連盟	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-1995	内宮眞
38	ガールスカウト日本連盟岩手県支部	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-1153	平井ふみ子
39	(社)岩手県文化財愛護協会	盛岡市上田字松屋敷34 県立博物館内	019-661-9688	佐藤宏
40	岩手県読書推進運動協議会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	高橋和雄
41	岩手県中学校文化連盟	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-604-0126	熊谷雅英
42	岩手県高等学校文化連盟	盛岡市津志田26-17-1 盛岡第四高等学校内	019-635-1068	藤原正義
43	岩手県中学校体育連盟	盛岡市愛宕町1-1 下小路中学校内	019-651-1942	作山雅宏
44	岩手県高等学校体育連盟	盛岡市高松4-17-16 盛岡第三高等学校内	019-661-8115	山田市雄
45	(財)岩手県体育協会	盛岡市青山4-13-30	019-648-0400	達増拓也
46	岩手県生涯スポーツ推進協議会	盛岡市みたけ1-10-1 (財)岩手県スポーツ振興事業団内	019-641-1127	菊池秀一
47	岩手県学校保健会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局スポーツ健康課内	019-629-6193	石川育成
48	(財)岩手県学校安全互助会	盛岡市中央通1-4-7	019-654-3027	法貴敬
49	(財)岩手県学校給食会	盛岡市流通センター北1-12-1	019-638-9429	八巻恒雄
50	公立学校共済組合岩手支部	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教職員課内	019-629-6126	法貴敬
51	(財)岩手県教職員互助会	盛岡市大通1-1-16 岩手教育会館内	019-622-7762	法貴敬
52	(財)岩手育英奨学会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教育企画室内	019-623-2050	原久雄
53	(財)岩手県文化振興事業団	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-654-2235	池田克典
54	(社)岩手県芸術文化協会	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-626-1202	松本源蔵
55	(財)岩手県スポーツ振興事業団	盛岡市みたけ1-10-1	019-641-1127	菊池秀一
56	(社)岩手県私学振興会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-652-0960	龍澤正美

岩手県教育年報 平成21年度版

発行 岩手県教育委員会

編集 岩手県教育委員会事務局教育企画室

所在地 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県庁10階

電話番号 019-629-6106

ファクシミリ番号 019-629-6119

電子メールアドレス DB0001@pref.iwate.jp